

2018年度 医学部

学生生活・学修実態調査結果報告書

藤田医科大学 IR 推進センター

医学部 IR 分室

2018年 11月 12日

平成 30 年度 学生生活実態調査 報告書

平成 30 年 11 月 12 日
IR 推進センター医学部分室

概要

隔学年（2，4，6 年）調査のため、昨年と調査対象は異なるが、全体の傾向は昨年度から大きく変化はなかった。学修面が充実している～普通と回答した学生は全体の 87.5%に達し、昨年度の 83%から増加傾向となっている。

昨年度との大きな相違はアルバイトで、アルバイトをしていない学生が昨年度から大幅に増加していた（56.1%→75.8%）。特に 6 年で顕著（58.0%→84.5%）であった。後述する過密なカリキュラムと試験の難化を反映している可能性がある。

主な改善を要する事項

- カリキュラム・時間割・・・自修時間確保のためのカリキュラム効率化
- 自習室・・・教室の開放、利用時間の拡大
- 学生駐車場・・・環境整備・混雑の緩和
- 相談窓口の拡充・・・学修面・進路等の悩みの相談窓口

カリキュラムについて

教育で不十分な点は学年によらずカリキュラムと教務情報に回答が集中していた。カリキュラムが授業が多すぎる、厳しく余裕がほしい、自習時間が足りないなど、配当科目と講義時間数の見直しを求める声が圧倒的に多い。

教務情報としては試験日程や合否基準の再考、採点基準の公開を求める声が多かった。

これらの点については医学部教務委員会・カリキュラム委員会に報告し、さらに調査の上学修の効率化を図るべく検討すべきである。

講義・実習について

6 割以上の学生が講義・実習に満足していると回答する一方、講義・レジュメがわかりにくい、映像講義に切り替えてほしい、無理に難しい教科書が選定されているため選定基準を見直してほしい、などの意見があった。医学部として教務委員会で検討し、各科目・教員が講義の質向上を図る方策を検討すべきである。

設備

設備改善の要望では、駐車場と教室・実習室がいずれも全体の 39.7%を占め、学年差はみられなかった。自由記載では学生駐車場が遠く混雑していて駐車に時間がかかるという指摘が多く、講義への出席に支障をきたしている様子が窺える。教室・実習室については自習

場所としての教室開放の要望が多い。学年を問わず学生の半数が学内を自主学修場所としていることを考慮すると、学修効果を高める上でも検討すべき課題である。

次いで食堂・外食施設等で、学生食堂の充実、朝夕に食事ができる場所、電子レンジ・給湯・自販機の導入などの要望があった。朝食をとらない学生が全体の 2 割以上、夕食が外食・弁当中心となっていることを考えると、学生の健康面を考慮しても改善が望ましい。その他グラウンド・運動施設・図書館等に関する要望もみられた。

多くは医学部に限定されたものではなく、全学的に検討すべき課題である。

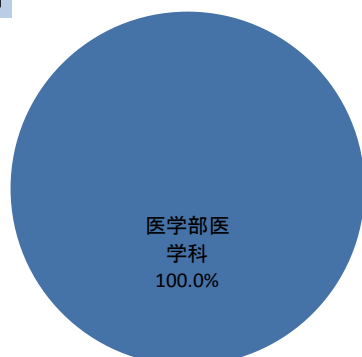
悩み事

悩み事については各学年で学修面がトップ、今年度は 4 年・6 年で就職・将来の進路の悩みが増加した。相談相手として教職員・保健室・カウンセラーと回答したのは 3.6% にすぎず、自由回答で「メンタルケア」の要望もある。大学側が精神面で配慮しながら学修面・進路等の悩みの相談を受けられる体制づくりが必要と考えられる。

F1～4. 【基本属性】

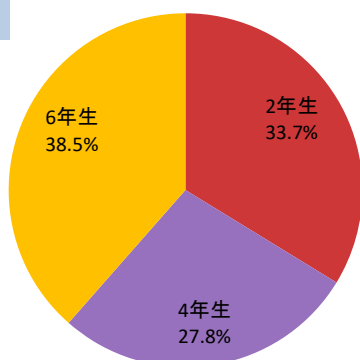
2年生、4年生、6年生を対象に実施。回収率は全体の94.5%（2年生90.3%、4年生93.5%、6年生100%）

所属



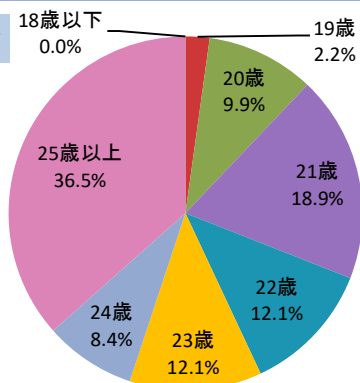
F1：所属	件数	割合
医学部医学科	335	100.0%
臨床検査学科	0	0.0%
看護学科	0	0.0%
放射線学科	0	0.0%
理学療法専攻	0	0.0%
作業療法専攻	0	0.0%
臨床工学科	0	0.0%
医療経営情報学科	0	0.0%
合計	335	100.0%

学年



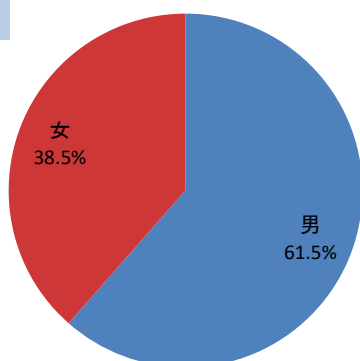
F2：学年	件数	割合	回収率
1年生	0	0.0%	
2年生	113	33.7%	90.3%
3年生	0	0.0%	
4年生	93	27.8%	93.5%
5年生	0	0.0%	
6年生	129	38.5%	100.0%
合計	335	100.0%	0.0%

年齢



F3：年齢	件数	割合
18歳以下	0	0.0%
19歳	7	2.2%
20歳	32	9.9%
21歳	61	18.9%
22歳	39	12.1%
23歳	39	12.1%
24歳	27	8.4%
25歳以上	118	36.5%
合計	323	100.0%

性別

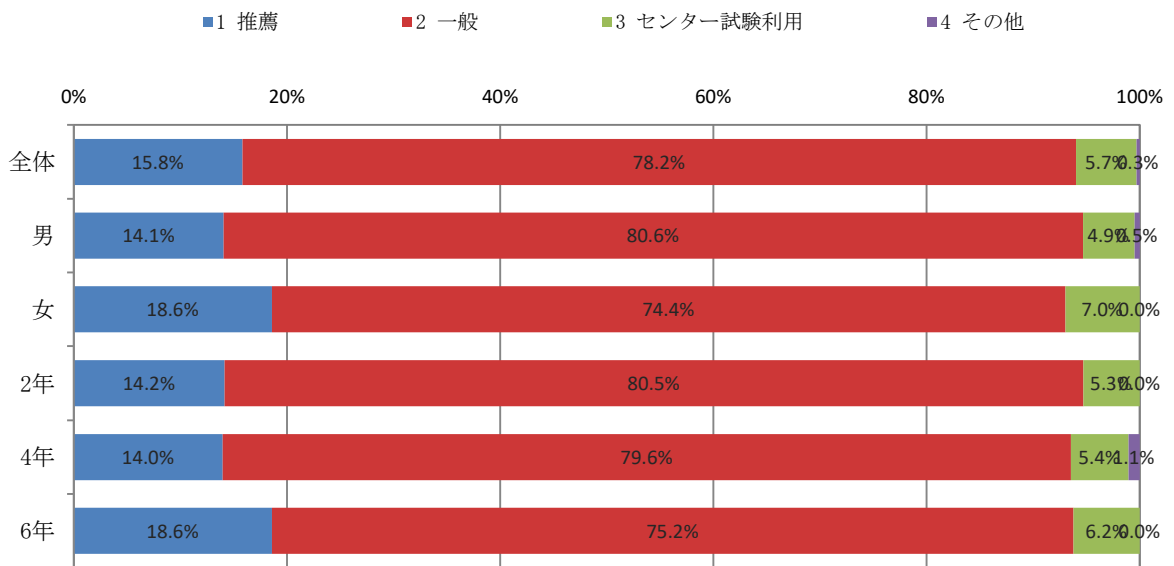


F4：性別	件数	割合
男	206	61.5%
女	129	38.5%
合計	335	100.0%

1. 入試区分

全体の78.2%が一般入試での入学者。

全体の78.2%が一般入試、15.8%が推薦入試での入学者です。



	有効回答者数	大学の入学方法は			
		推薦	一般	センター試験利用	その他
全体	335	53	262	19	1
		15.8%	78.2%	5.7%	0.3%
性別	男	29	166	10	1
		14.1%	80.6%	4.9%	0.5%
	女	129	96	9	0
		18.6%	74.4%	7.0%	0.0%
学年別	2年	113	91	6	0
		14.2%	80.5%	5.3%	0.0%
	4年	93	74	5	1
	14.0%	79.6%	5.4%	1.1%	
	6年	129	97	8	0
	18.6%	75.2%	6.2%	0.0%	

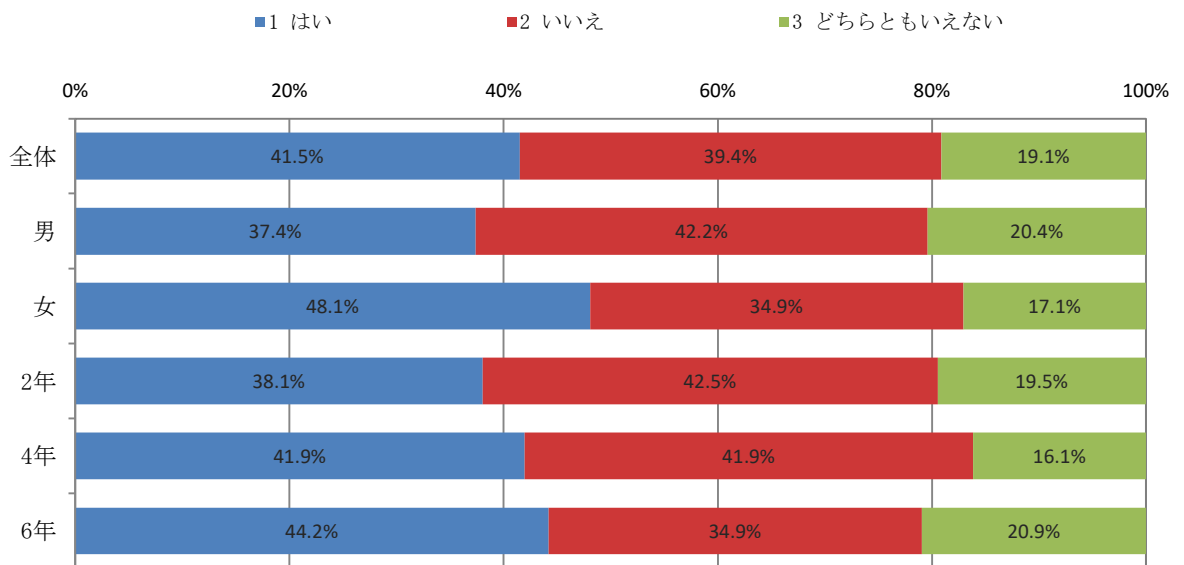
※「センター試験利用」は大学のみ回答

2. 入学時希望順位

41.5%の学生は「希望の大学に入学できた」と回答。

昨年度調査では33.7%で、今年度調査では希望の大学に入学できたとする学生が増加していました。

2年で31.3%→38.1%、4年で40.0%→41.9%、6年で30.7%→44.2%となっており、どの学年でも増加していることを反映しています。



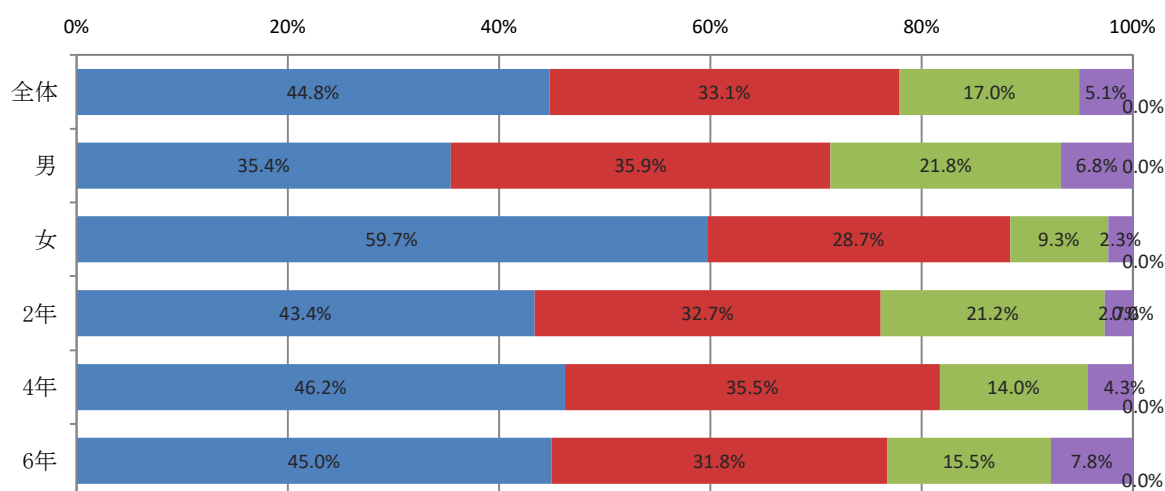
		有効回答者数	希望の大学へ入学できましたか		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		335	139	132	64
			41.5%	39.4%	19.1%
性別	男	206	77	87	42
			37.4%	42.2%	20.4%
	女	129	62	45	22
			48.1%	34.9%	17.1%
学年別	2年	113	43	48	22
			38.1%	42.5%	19.5%
	4年	93	39	39	15
			41.9%	41.9%	16.1%
	6年	129	57	45	27
			44.2%	34.9%	20.9%

3. 授業出席率

全体の77.9%は講義出席率が90%以上と回答

全体の77.9%は出席率が90%以上と回答していました。昨年度の73.1%よりも増加傾向にあります。

- 1 よく出席する
(出席率98%以上)
- 2 出席する方である
(出席率90%以上)
- 3 どちらともいえない
(出席率80%程度)
- 4 あまり出席しない
(出席率70%程度)
- 5 ほとんど出席しない
(無資格科目が散見)



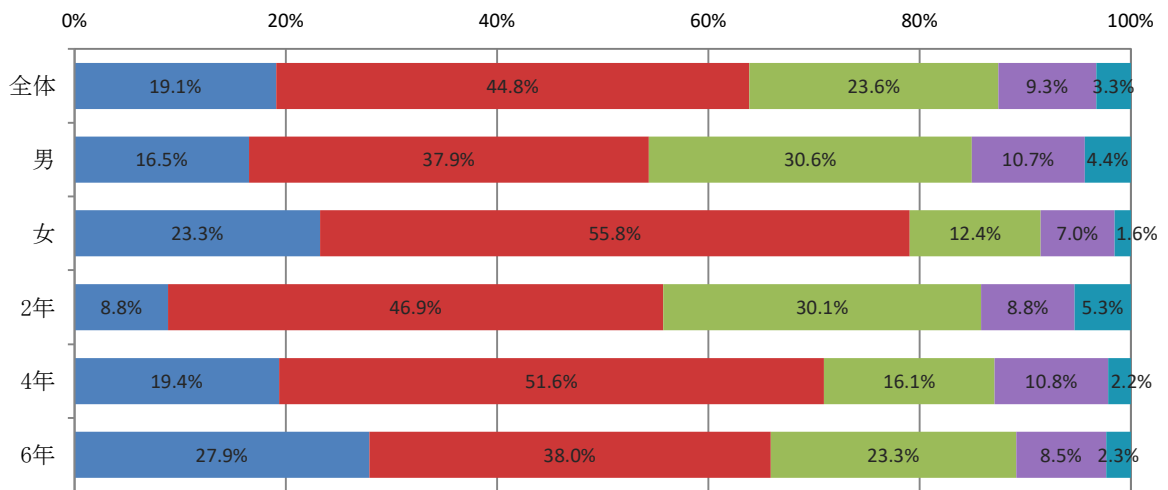
		有効回答者数	授業の出席状況について				
			(出席率98%以上)	(出席率90%以上)	(出席率80%程度)	(出席率70%程度)	(無資格科目が散見)
全体		335	150	111	57	17	0
			44.8%	33.1%	17.0%	5.1%	0.0%
性別	男	206	73	74	45	14	0
			35.4%	35.9%	21.8%	6.8%	0.0%
	女	129	77	37	12	3	0
			59.7%	28.7%	9.3%	2.3%	0.0%
学年別	2年	113	49	37	24	3	0
			43.4%	32.7%	21.2%	2.7%	0.0%
	4年	93	43	33	13	4	0
			46.2%	35.5%	14.0%	4.3%	0.0%
	6年	129	58	41	20	10	0
			45.0%	31.8%	15.5%	7.8%	0.0%

4. 学生生活充実度…学修面

学修面で充実している～普通と答えた学生は全体の87.5%。

学修面が充実している～普通と答えた学生は全体の87.5%に達します。昨年度の83%よりも増加傾向です。

■1 大変充実している ■2 充実している ■3 普通 ■4 あまり充実していない ■5 全く充実していない



有効回答者数	学生生活の充実度について…学修面では				
	大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない

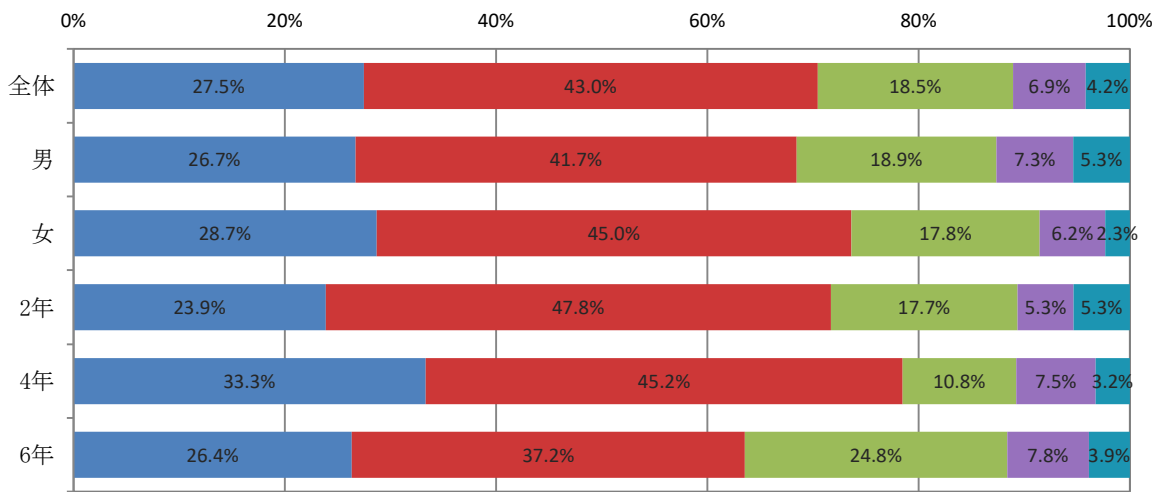
全体	335	64	150	79	31	11	
		19.1%	44.8%	23.6%	9.3%	3.3%	
性別	男	206	34	78	63	22	9
			16.5%	37.9%	30.6%	10.7%	4.4%
	女	129	30	72	16	9	2
			23.3%	55.8%	12.4%	7.0%	1.6%
学年別	2年	113	10	53	34	10	6
			8.8%	46.9%	30.1%	8.8%	5.3%
	4年	93	18	48	15	10	2
			19.4%	51.6%	16.1%	10.8%	2.2%
	6年	129	36	49	30	11	3
			27.9%	38.0%	23.3%	8.5%	2.3%

5. 学生生活充実度…クラブ等

クラブ活動等が充実している～普通と答えた学生は全体の89.0%。

学生生活（クラブ活動等）が充実している～普通と答えた学生は学修面同様全体の89.0%に達します。昨年度の83%よりも増加傾向です。

■1 大変充実している ■2 充実している ■3 普通 ■4 あまり充実していない ■5 全く充実していない



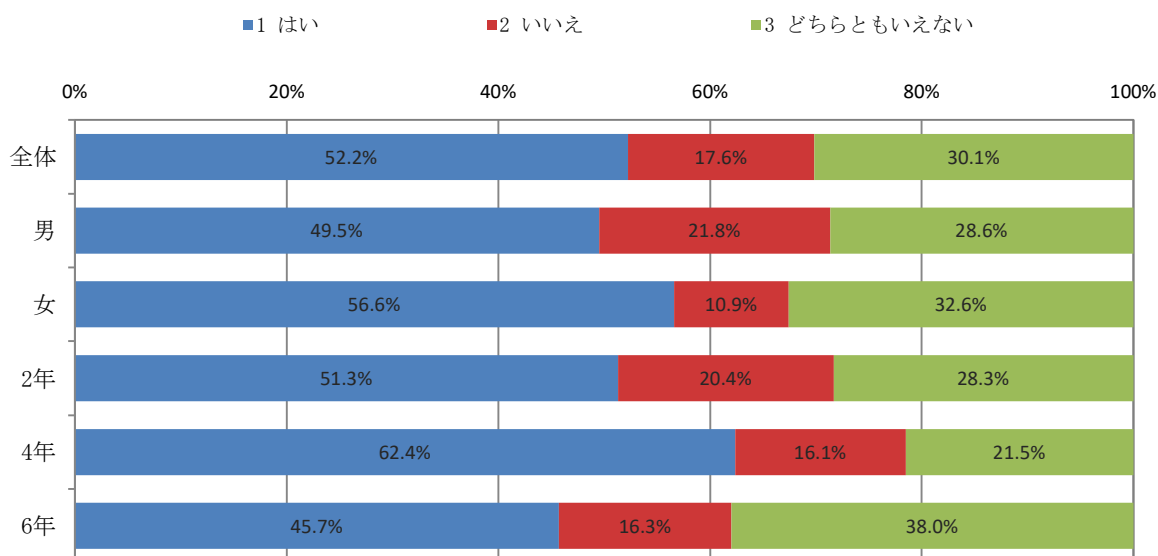
		学生生活の充実度について…クラブ・学外活動など				
		大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない

全体		335	92	144	62	23	14
			27.5%	43.0%	18.5%	6.9%	4.2%
性別	男	206	55	86	39	15	11
			26.7%	41.7%	18.9%	7.3%	5.3%
	女	129	37	58	23	8	3
			28.7%	45.0%	17.8%	6.2%	2.3%
学年別	2年	113	27	54	20	6	6
			23.9%	47.8%	17.7%	5.3%	5.3%
	4年	93	31	42	10	7	3
			33.3%	45.2%	10.8%	7.5%	3.2%
	6年	129	34	48	32	10	5
			26.4%	37.2%	24.8%	7.8%	3.9%

6. 学生生活充実度…総合

総合的には充実していると回答する学生が52.2%を占める。

学年別に見ても学生生活が総合的に充実していると回答した学生は45.7%~62.4%となっており、全体としては学生生活が充実しているとみられます。いずれの学年でも昨年度（42%~52%）よりも増加傾向です。

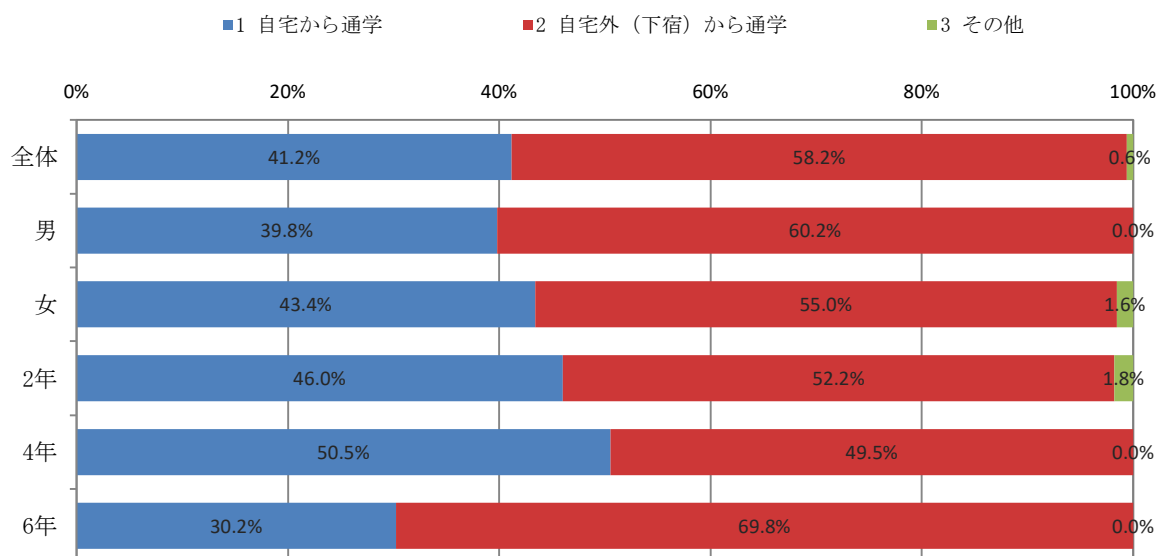


		有効回答者数	総合的にみて学生生活に満足していますか		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		335	175	59	101
			52.2%	17.6%	30.1%
性別	男	206	102	45	59
			49.5%	21.8%	28.6%
	女	129	73	14	42
			56.6%	10.9%	32.6%
学年別	2年	113	58	23	32
			51.3%	20.4%	28.3%
	4年	93	58	15	20
			62.4%	16.1%	21.5%
	6年	129	59	21	49
			45.7%	16.3%	38.0%

7. 通学形態

自宅生の比率は全体の41.2%。

全体では自宅生が41.2%を占めており、昨年度の34.7%より増加傾向です。これは特に4年生での自宅生割合の増加（32.0%→50.5%）を反映しています。6年生では30.2%と自宅生の比率が低下するのは、学修や実習の時間を確保するため、大学に通いやすい下宿に移動したものと考えられます。

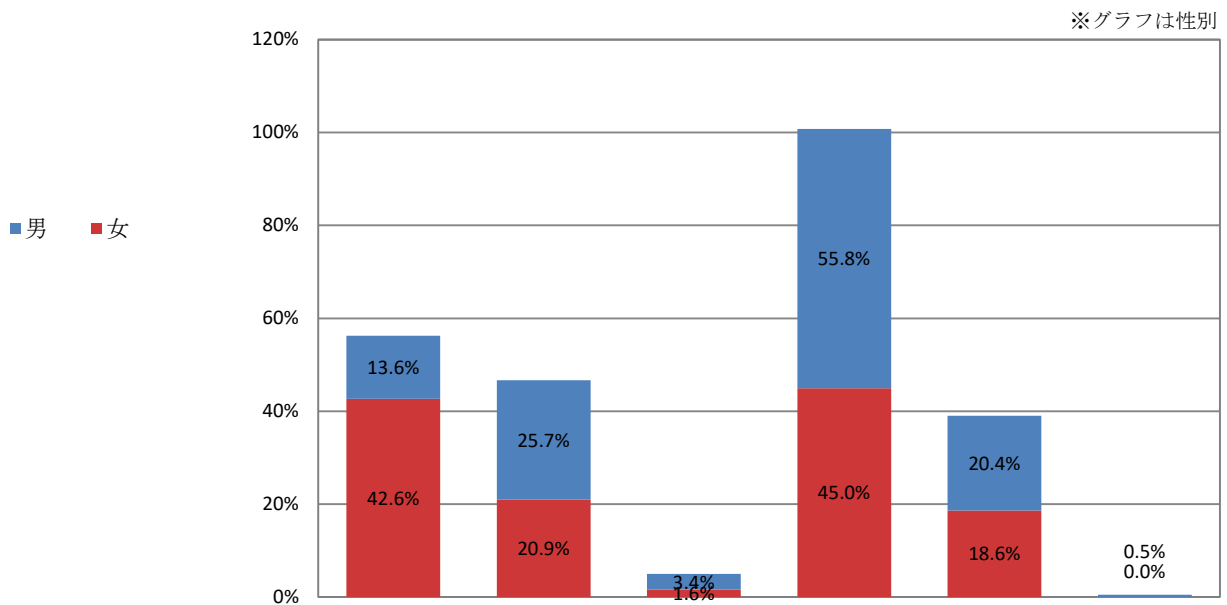


		有効回答者数	通学の住居について		
			自宅から通学	学自宅外（下宿）から通	その他
全体		335	138	195	2
			41.2%	58.2%	0.6%
性別	男	206	82	124	0
			39.8%	60.2%	0.0%
	女	129	56	71	2
			43.4%	55.0%	1.6%
学年別	2年	113	52	59	2
			46.0%	52.2%	1.8%
	4年	93	47	46	0
			50.5%	49.5%	0.0%
	6年	129	39	90	0
			30.2%	69.8%	0.0%

8. 通学手段（複数回答） - 性別 -

51.6%の学生が自動車通学。

全体の51.6%の学生が通学手段として自動車を挙げており、昨年度（48.0%）に比べて微増となっています。公共交通機関で通学している学生は女子に多く、この比率は昨年度に比べて大きく増加しています。



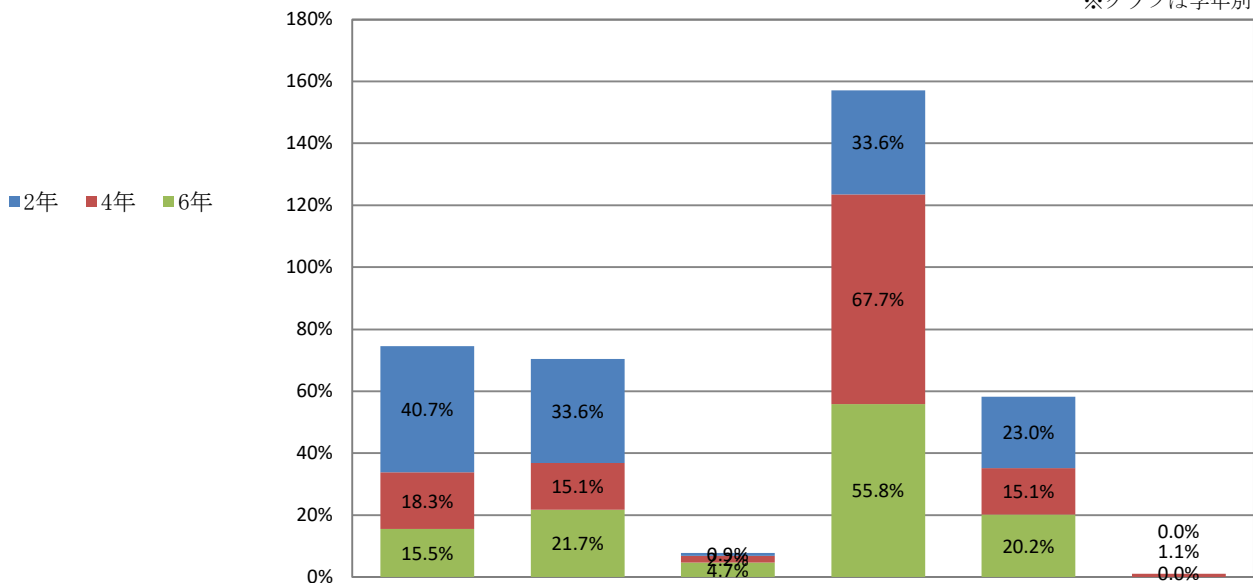
		有効回答者数	通学手段は何ですか					
			公共交通機関（バス等）	自転車	単車（バイク）	自動車	徒歩	その他
全体		335	83	80	9	173	66	1
			24.8%	23.9%	2.7%	51.6%	19.7%	0.3%
性別	男	206	28	53	7	115	42	1
			13.6%	25.7%	3.4%	55.8%	20.4%	0.5%
	女	129	55	27	2	58	24	0
			42.6%	20.9%	1.6%	45.0%	18.6%	0.0%
学年別	2年	113	46	38	1	38	26	0
			40.7%	33.6%	0.9%	33.6%	23.0%	0.0%
	4年	93	17	14	2	63	14	1
			18.3%	15.1%	2.2%	67.7%	15.1%	1.1%
	6年	129	20	28	6	72	26	0
			15.5%	21.7%	4.7%	55.8%	20.2%	0.0%

8. 通学手段（複数回答） - 学年別 -

自動車通学する学生の割合は全体の51.6%。4年生で増加、6年生で減少。

学生全体としてみると傾向は昨年度と大きく変わりませんが、学年別でみると自動車通学者が4年生で増加（50.0%→67.7%）、6年生では減少（68.1%→55.8%）していました。

※グラフは学年別

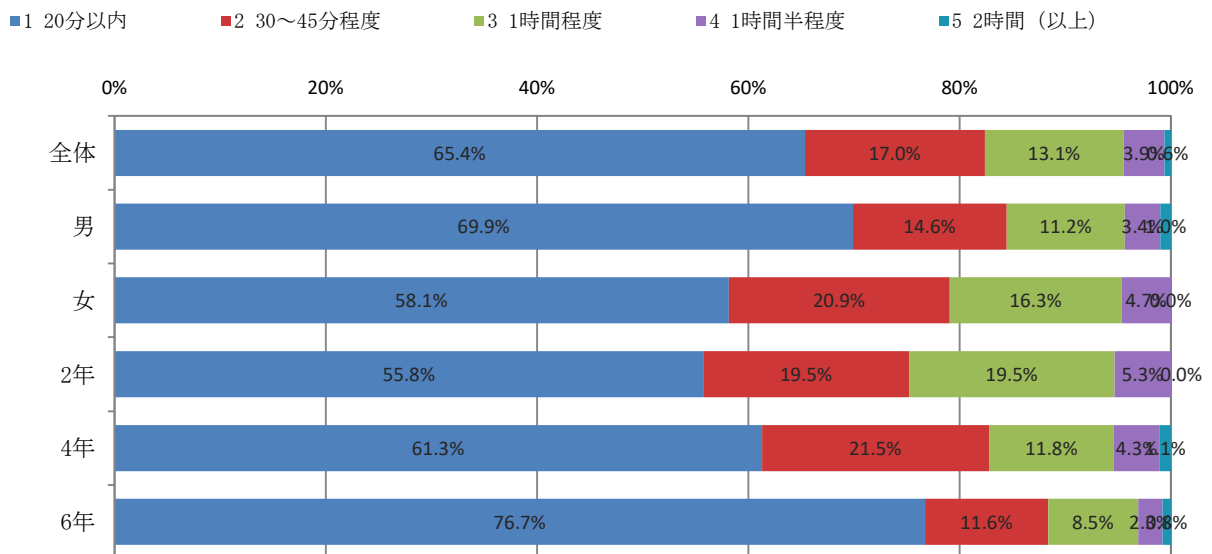


		有効回答者数	通学手段は何ですか					
			公共交通機関（バス・電車等）	自転車	単車（バイク）	自動車	徒歩	その他
全体		335	83	80	9	173	66	1
			24.8%	23.9%	2.7%	51.6%	19.7%	0.3%
性別	男	206	28	53	7	115	42	1
			13.6%	25.7%	3.4%	55.8%	20.4%	0.5%
	女	129	55	27	2	58	24	0
			42.6%	20.9%	1.6%	45.0%	18.6%	0.0%
学年別	2年	113	46	38	1	38	26	0
			40.7%	33.6%	0.9%	33.6%	23.0%	0.0%
	4年	93	17	14	2	63	14	1
			18.3%	15.1%	2.2%	67.7%	15.1%	1.1%
	6年	129	20	28	6	72	26	0
			15.5%	21.7%	4.7%	55.8%	20.2%	0.0%

9. 通学時間

65.4%の学生の通学時間は20分以内。

全体として95.5%の学生が通学時間は1時間程度までと回答しており、特に6年生では76.7%の学生が通学時間20分以内と回答しています。この傾向は昨年度と変わりません。高学年で学修・実習時間を確保するためと考えられます、現在学生駐車場は大学の講義室まで片道10分程度の場所となっており、今年度の自由記載でも駐車場の改善を求める声が多く出していました。昨年度に引き続き学生生活の質の向上を考える上で重要なポイントであり、より詳細な解析と対策が必要と考えられます。

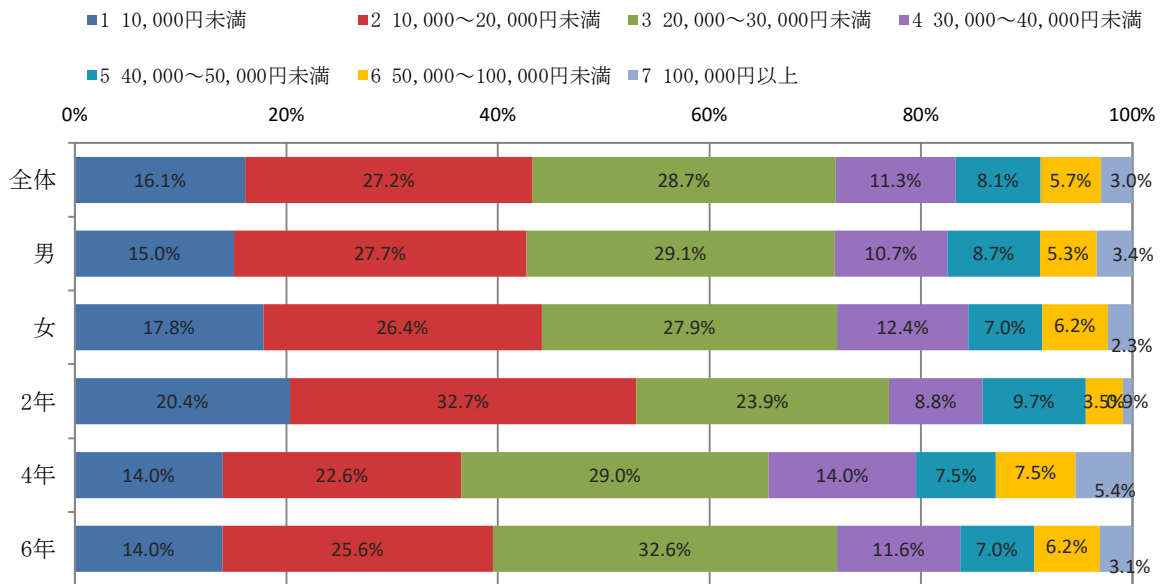


		有効回答者数	通学の所要時間(片道)について				
			20分以内	30~45分程度	1時間程度	1時間半程度	2時間(以上)
全体		335	219	57	44	13	2
			65.4%	17.0%	13.1%	3.9%	0.6%
性別	男	206	144	30	23	7	2
			69.9%	14.6%	11.2%	3.4%	1.0%
	女	129	75	27	21	6	0
			58.1%	20.9%	16.3%	4.7%	0.0%
学年別	2年	113	63	22	22	6	0
			55.8%	19.5%	19.5%	5.3%	0.0%
	4年	93	57	20	11	4	1
			61.3%	21.5%	11.8%	4.3%	1.1%
	6年	129	99	15	11	3	1
			76.7%	11.6%	8.5%	2.3%	0.8%

10. お小遣い

72.0%の学生のお小遣いは3万円未満。

お小遣いは学年とともに若干の上昇傾向にあります。どの学年でもお小遣いの金額は3万円未満の学生が6割以上です。これは昨年度と傾向は変わりません。



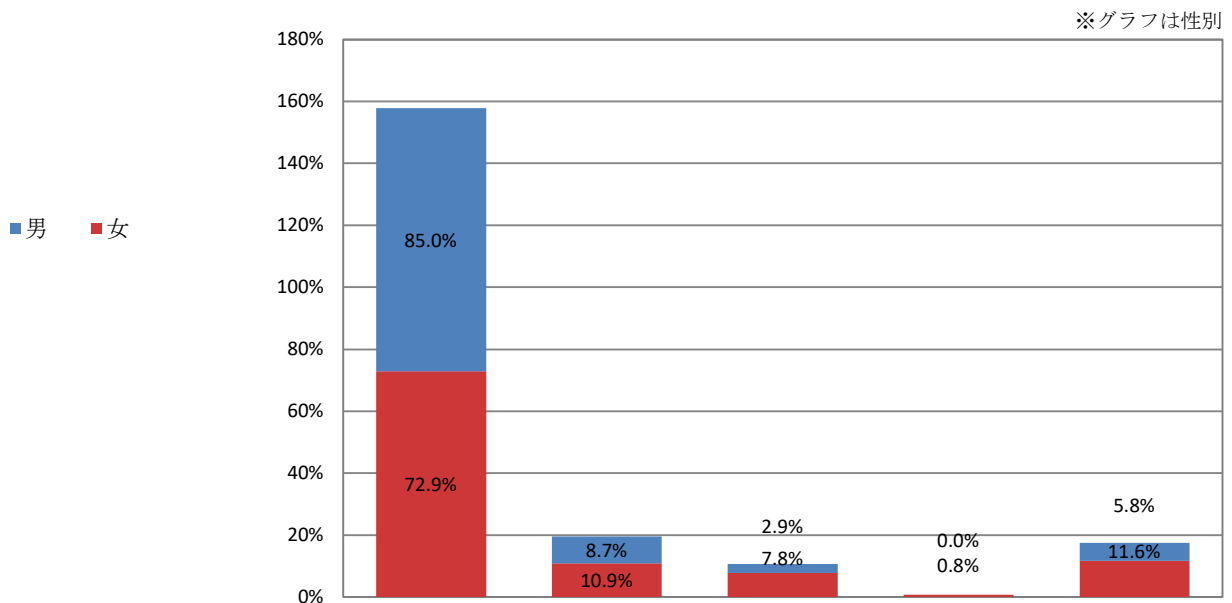
有効回答者数	1か月の趣味や娯楽費等に掛ける費用はいくらですか						
	1 0 , 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 , 0 0 円 未 満	3 2 0 0 , 0 0 円 未 満	4 3 0 0 , 0 0 円 未 満	5 4 0 0 , 0 0 円 未 満	6 5 0 0 , 0 0 円 未 満	7 1 5 0 0 , 0 0 円 未 満

性別	学年別	有効回答者数	1か月の趣味や娯楽費等に掛ける費用はいくらですか (%)						
			1 16.1%	2 27.2%	3 28.7%	4 11.3%	5 8.1%	6 5.7%	7 3.0%
男	2年	206	15.0%	27.7%	29.1%	10.7%	8.7%	5.3%	3.4%
			17.8%	26.4%	27.9%	12.4%	7.0%	6.2%	2.3%
女	4年	129	14.0%	22.6%	29.0%	14.0%	7.5%	7.5%	5.4%
			14.0%	25.6%	32.6%	11.6%	7.0%	6.2%	3.1%

11. 奨学金（複数回答） - 性別 -

奨学金を利用している学生は2割未満。

奨学金を受けていない学生が全体の80.3%で、昨年度（82.5%）から微減となっています。

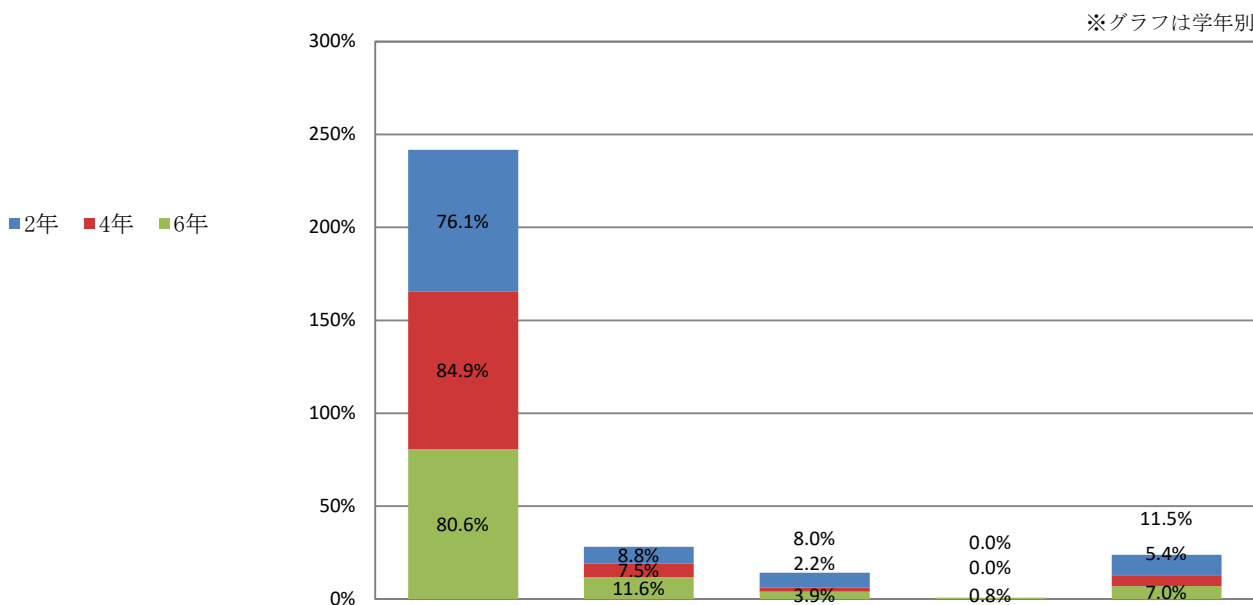


		有効回答者数	奨学金を受けていますか				
			受けていない	日本学生支援機構の奨学金を受けている	地方公共団体の奨学金を受けている	民間育英団体等の奨学金を受けている	その他
全体		335	269 80.3%	32 9.6%	16 4.8%	1 0.3%	27 8.1%
性別	男	206	175 85.0%	18 8.7%	6 2.9%	0 0.0%	12 5.8%
	女	129	94 72.9%	14 10.9%	10 7.8%	1 0.8%	15 11.6%
学年別	2年	113	86 76.1%	10 8.8%	9 8.0%	0 0.0%	13 11.5%
	4年	93	79 84.9%	7 7.5%	2 2.2%	0 0.0%	5 5.4%
	6年	129	104 80.6%	15 11.6%	5 3.9%	1 0.8%	9 7.0%

11. 奨学金（複数回答） - 学年別 -

低学年で奨学金利用率がやや高い。

昨年度に比べると2年生での「その他」の奨学金利用率が高くなっています。これは大学からの成績優秀者の奨学金・および地域枠によるものです。

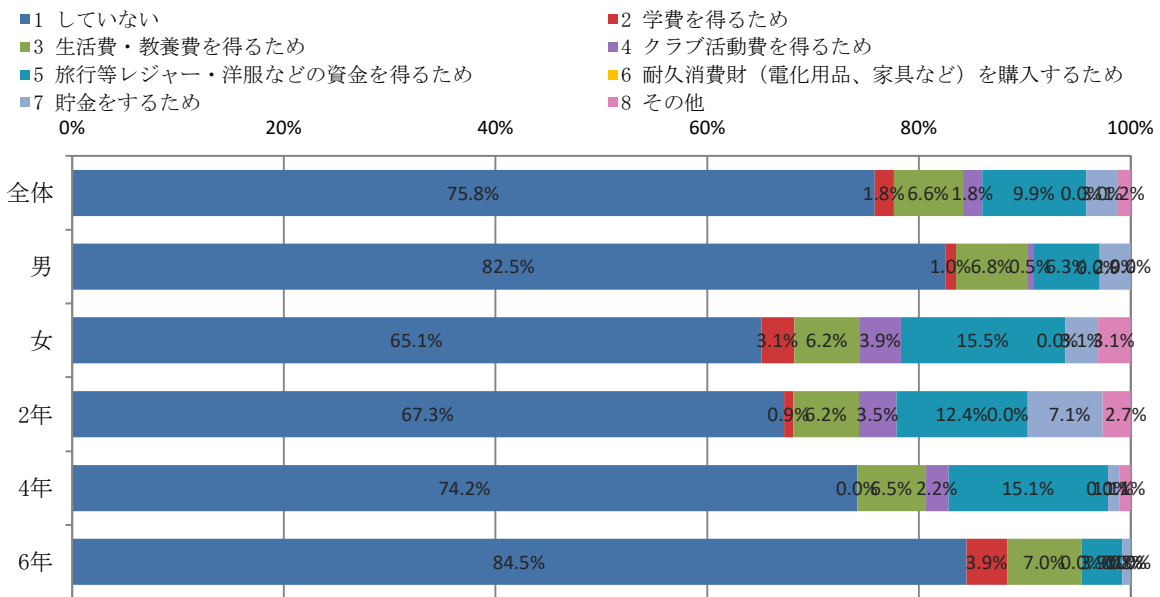


		有効回答者数	奨学金を受けていますか				
			受けていない	日本学生支援機構の奨学金	地方公共団体の奨学金	民間育英団体等の奨学金	その他
全体		335	269	32	16	1	27
			80.3%	9.6%	4.8%	0.3%	8.1%
性別	男	206	175	18	6	0	12
			85.0%	8.7%	2.9%	0.0%	5.8%
	女	129	94	14	10	1	15
			72.9%	10.9%	7.8%	0.8%	11.6%
学年別	2年	113	86	10	9	0	13
			76.1%	8.8%	8.0%	0.0%	11.5%
	4年	93	79	7	2	0	5
			84.9%	7.5%	2.2%	0.0%	5.4%
	6年	129	104	15	5	1	9
			80.6%	11.6%	3.9%	0.8%	7.0%

12. アルバイト有無と目的

アルバイトをしていない学生の比率が大幅に上昇。

アルバイトをしていない学生が全体の4分の3を超え（75.8%）、昨年度（56.1%）よりも大幅に増加していました。特に6年で顕著です（58.0%→84.5%）。

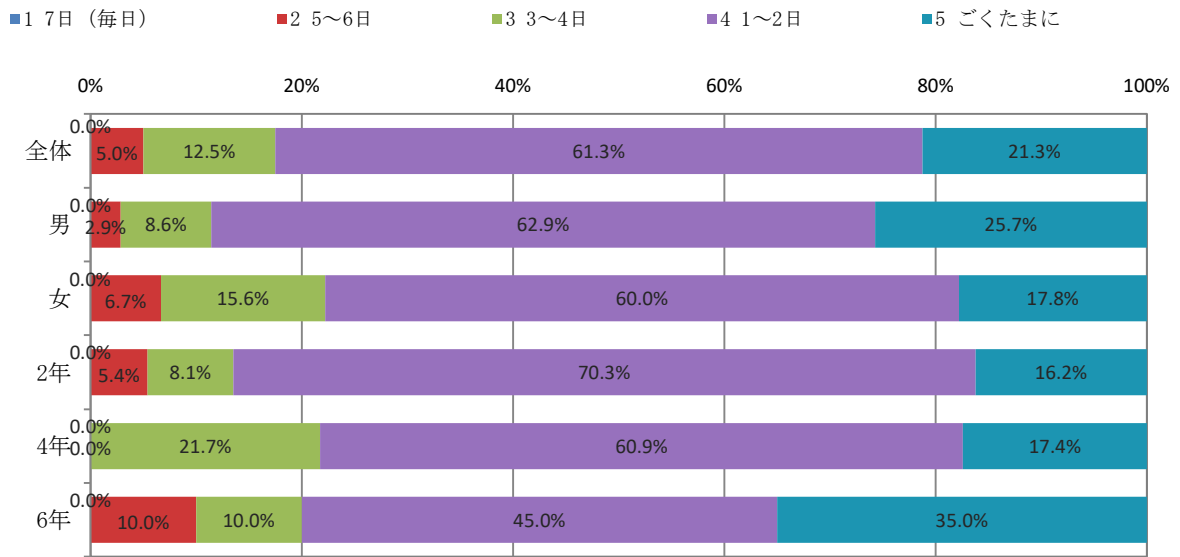


		有効回答者数	現在の学生生活におけるアルバイト経験の有無と目的について							
			していない	学費を得るため	生活費・教養費を得るため	クラブ活動費を得るため	旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため	耐久消費財（電化用品、家具など）を購入するため	貯金をするため	その他
全体		335	254	6	22	6	33	0	10	4
			75.8%	1.8%	6.6%	1.8%	9.9%	0.0%	3.0%	1.2%
性別	男	206	170	2	14	1	13	0	6	0
			82.5%	1.0%	6.8%	0.5%	6.3%	0.0%	2.9%	0.0%
	女	129	84	4	8	5	20	0	4	4
			65.1%	3.1%	6.2%	3.9%	15.5%	0.0%	3.1%	3.1%
学年別	2年	113	76	1	7	4	14	0	8	3
			67.3%	0.9%	6.2%	3.5%	12.4%	0.0%	7.1%	2.7%
	4年	93	69	0	6	2	14	0	1	1
			74.2%	0.0%	6.5%	2.2%	15.1%	0.0%	1.1%	1.1%
	6年	129	109	5	9	0	5	0	1	0
			84.5%	3.9%	7.0%	0.0%	3.9%	0.0%	0.8%	0.0%

13. アルバイト日数

アルバイト日数についても減少傾向。

アルバイトをしている学生の82.6%が週2日以下と回答しており、昨年度（78.6%）に比して増加しています。全体としてアルバイトを避ける傾向にあることが窺われます。



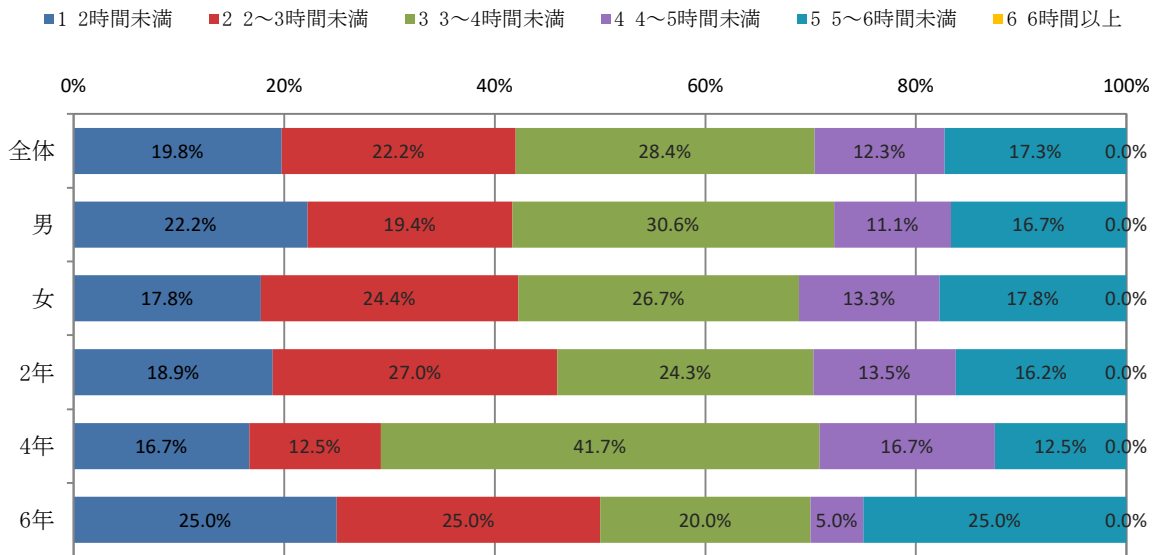
※アルバイトをしている人のみ回答

		有効回答者数	アルバイトは1週間に何日しますか（していましたか）				
			7日（毎日）	5~6日	3~4日	1~2日	ごくたまに
全体		80	0	4	10	49	17
			0.0%	5.0%	12.5%	61.3%	21.3%
性別	男	35	0	1	3	22	9
			0.0%	2.9%	8.6%	62.9%	25.7%
	女	45	0	3	7	27	8
			0.0%	6.7%	15.6%	60.0%	17.8%
学年別	2年	37	0	2	3	26	6
			0.0%	5.4%	8.1%	70.3%	16.2%
	4年	23	0	0	5	14	4
			0.0%	0.0%	21.7%	60.9%	17.4%
	6年	20	0	2	2	9	7
			0.0%	10.0%	10.0%	45.0%	35.0%

14. アルバイト時間

アルバイト時間はさまざま。

アルバイト時間については2時間未満から6時間以上までさまざまでしたが、時間についても昨年度より減少傾向です（3時間未満：29.8%→42.0%）。



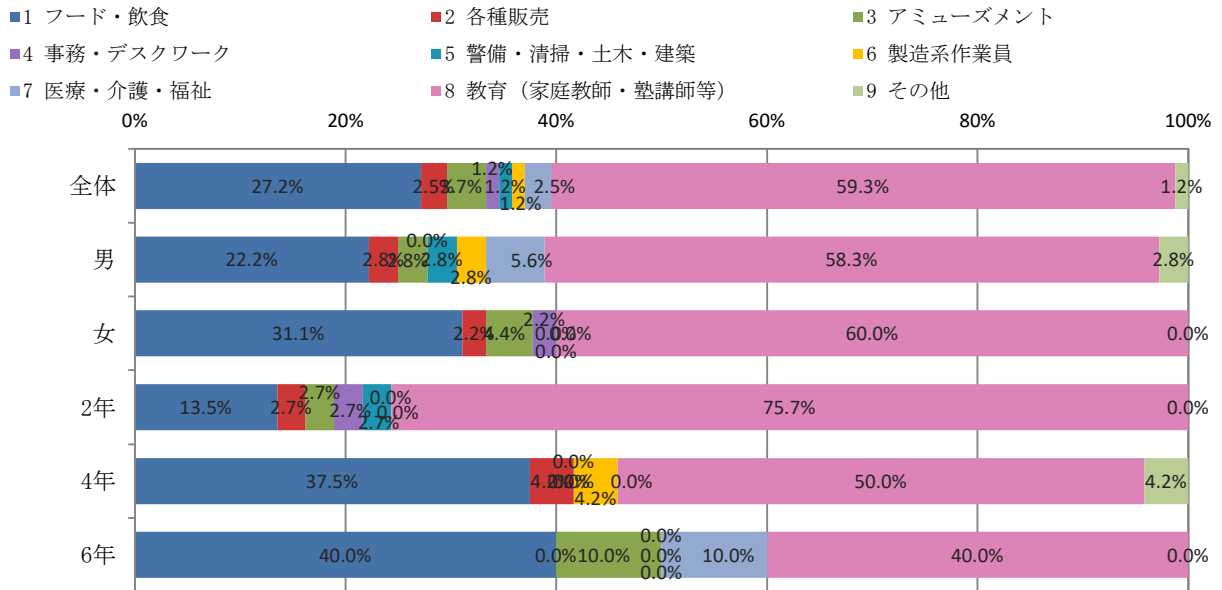
※アルバイトをしている人のみ回答

		有効回答者数	アルバイトは、主に一日あたり何時間していますか					
			2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4~5時間未満	5~6時間未満	6時間以上
全体		81	16	18	23	10	14	0
			19.8%	22.2%	28.4%	12.3%	17.3%	0.0%
性別	男	36	8	7	11	4	6	0
			22.2%	19.4%	30.6%	11.1%	16.7%	0.0%
	女	45	8	11	12	6	8	0
			17.8%	24.4%	26.7%	13.3%	17.8%	0.0%
学年別	2年	37	7	10	9	5	6	0
			18.9%	27.0%	24.3%	13.5%	16.2%	0.0%
	4年	24	4	3	10	4	3	0
			16.7%	12.5%	41.7%	16.7%	12.5%	0.0%
	6年	20	5	5	4	1	5	0
			25.0%	25.0%	20.0%	5.0%	25.0%	0.0%

15. アルバイト職種

アルバイト時間はさまざま。

アルバイト職種については全体の59.3%が教育となっていますが、学年が上がるにつれて他の職種の種類が増えています。



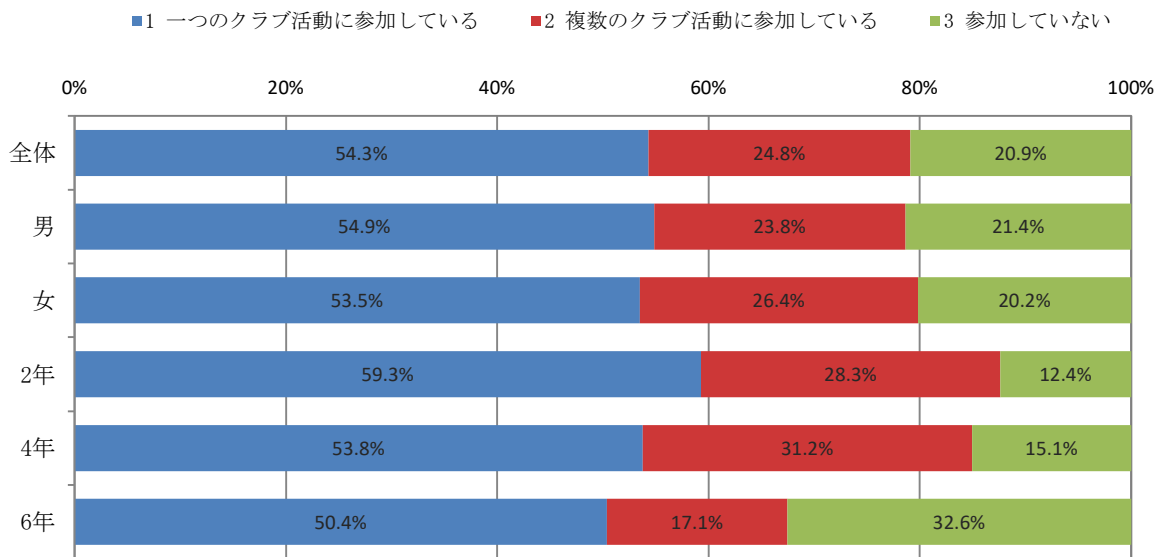
		有効回答者数	アルバイトの主な職種								
			フード・飲食	各種販売	アミューズメント	事務・デスクワーク	警備・清掃・土木・建築	製造系作業員	医療・介護・福祉	教育 (家庭教師・塾講師等)	その他
全体		81	22	2	3	1	1	1	2	48	1
			27.2%	2.5%	3.7%	1.2%	1.2%	1.2%	2.5%	59.3%	1.2%
性別	男	36	8	1	1	0	1	1	2	21	1
			22.2%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	2.8%	5.6%	58.3%	2.8%
性別	女	45	14	1	2	1	0	0	0	27	0
			31.1%	2.2%	4.4%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
学年別	2年	37	5	1	1	1	1	0	0	28	0
			13.5%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%	75.7%	0.0%
	4年	24	9	1	0	0	0	1	0	12	1
			37.5%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	50.0%	4.2%
学年別	6年	20	8	0	2	0	0	0	2	8	0
			40.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	0.0%

※アルバイトをしている人のみ回答

16. クラブ活動参加有無

全体の79.1%がクラブ活動に参加。

全体で79.1%が1つ以上のクラブ活動に参加していますが、参加していない率が昨年度より大きく増加しており（9.6%→20.9%）、特に6年で顕著です（11.4%→32.6%）。

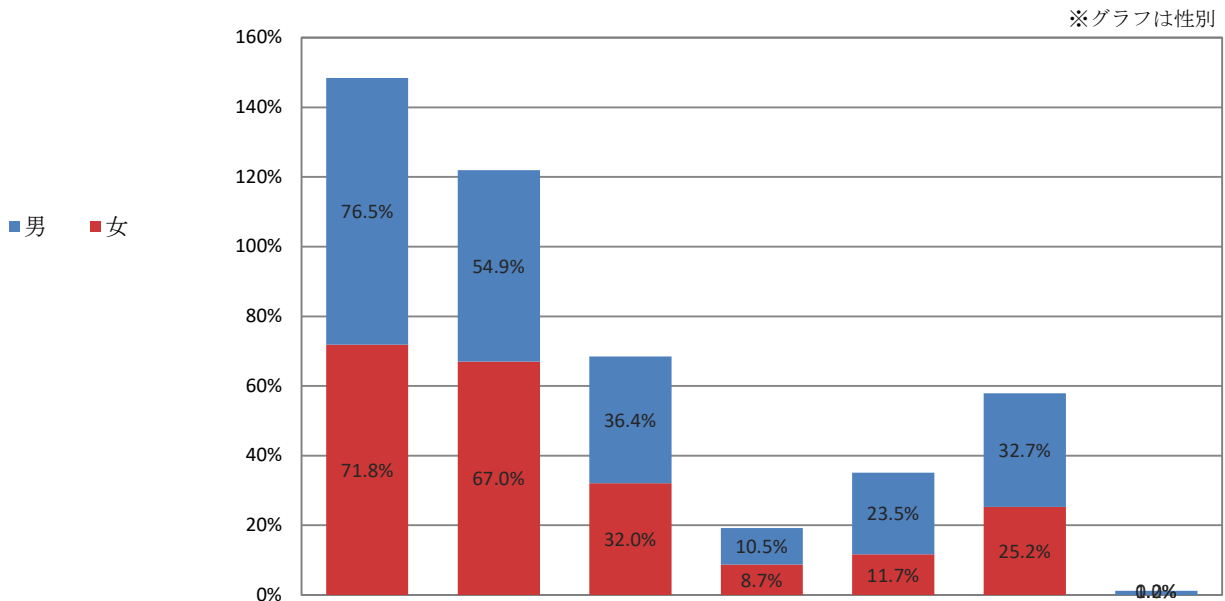


		有効回答者数	あなたはクラブ活動に参加していますか		
			加一つのクラブ活動に参加している	加複数のクラブ活動に参加している	参加していない
全体		335	182	83	70
			54.3%	24.8%	20.9%
性別	男	206	113	49	44
			54.9%	23.8%	21.4%
女		129	69	34	26
			53.5%	26.4%	20.2%
学年別	2年	113	67	32	14
			59.3%	28.3%	12.4%
	4年	93	50	29	14
			53.8%	31.2%	15.1%
6年		129	65	22	42
			50.4%	17.1%	32.6%

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 性別 -

クラブ活動参加のきっかけは「活動内容が好きまたは興味がある」が最多。

クラブ活動に参加したきっかけとしては59.1%が「活動内容が好きまたは興味がある」を、47.2%が「交友関係を広げるため」を挙げています。



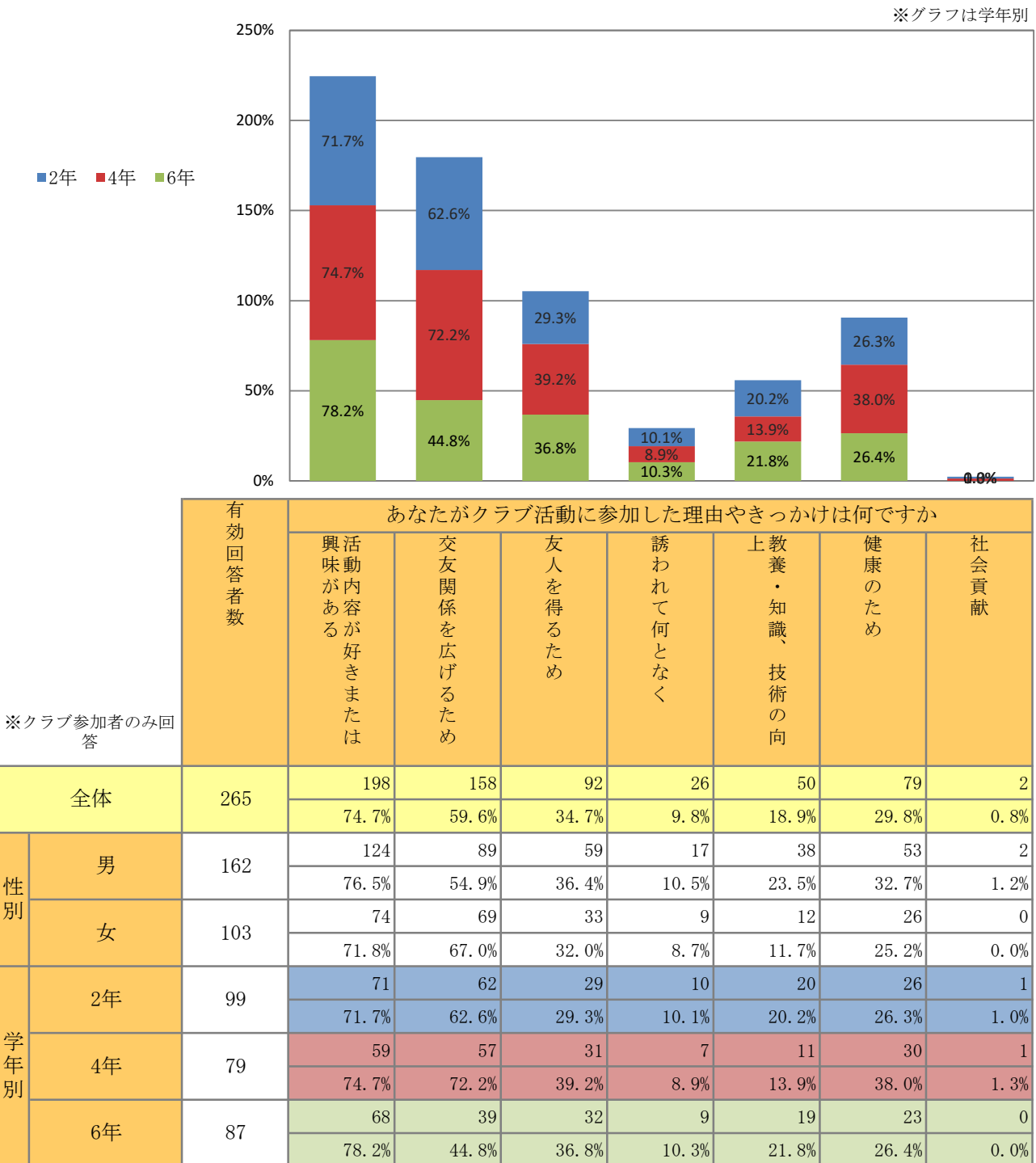
※クラブ参加者のみ回答

		有効回答者数	あなたがクラブ活動に参加した理由やきっかけは何ですか						
			活動内容が好きまたは興味がある	交友関係を広げるため	友人を得るため	誘われて何となく	上教養・知識、技術の向上	健康のため	社会貢献
全体		265	198	158	92	26	50	79	2
			74.7%	59.6%	34.7%	9.8%	18.9%	29.8%	0.8%
性別	男	162	124	89	59	17	38	53	2
			76.5%	54.9%	36.4%	10.5%	23.5%	32.7%	1.2%
	女	103	74	69	33	9	12	26	0
			71.8%	67.0%	32.0%	8.7%	11.7%	25.2%	0.0%
学年別	2年	99	71	62	29	10	20	26	1
			71.7%	62.6%	29.3%	10.1%	20.2%	26.3%	1.0%
	4年	79	59	57	31	7	11	30	1
			74.7%	72.2%	39.2%	8.9%	13.9%	38.0%	1.3%
	6年	87	68	39	32	9	19	23	0
			78.2%	44.8%	36.8%	10.3%	21.8%	26.4%	0.0%

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 学年別 -

クラブ活動参加の理由は学年により大きな差は見られない。

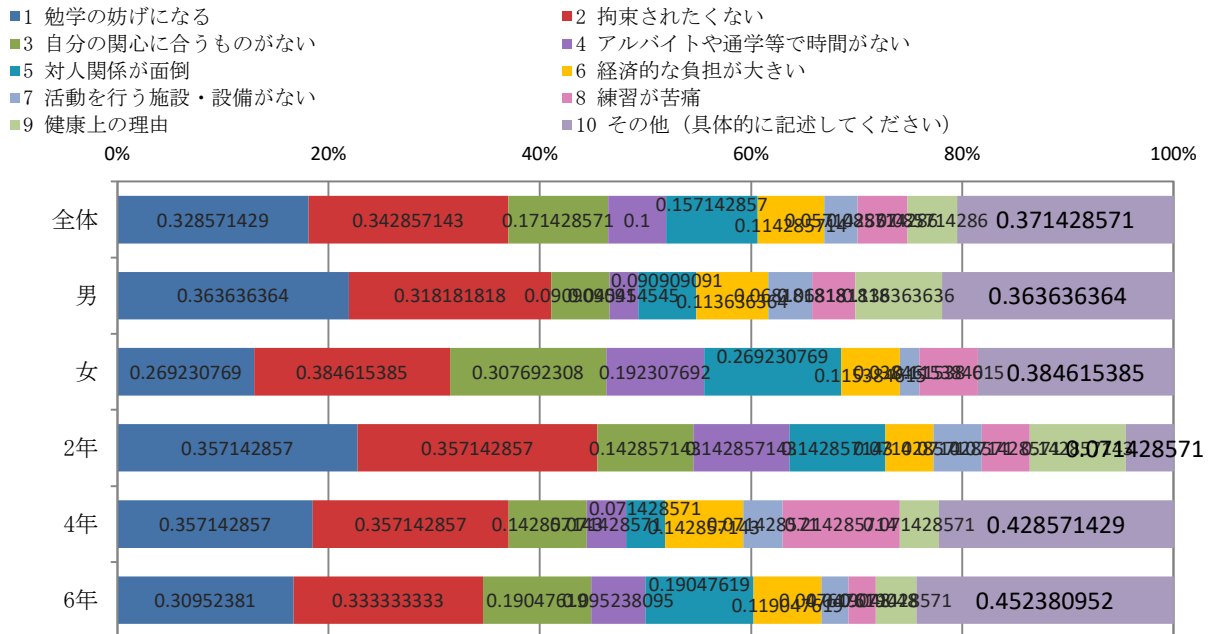
参加の理由は学年により大きな差はみられません。クラブ活動の実態がこの数年で大きく変化していないことを反映しているものと思われます。



18. クラブ活動参加しない理由

クラブ活動不参加の理由はさまざま。

クラブ活動不参加学生は昨年度調査での28名から127名に大きく増加しました。理由はさまざまですが、「拘束されたくない」（18.9%）「勉学の妨げになる」（18.1%）といった回答が目立ちます。



※クラブ不参加者のみ回答

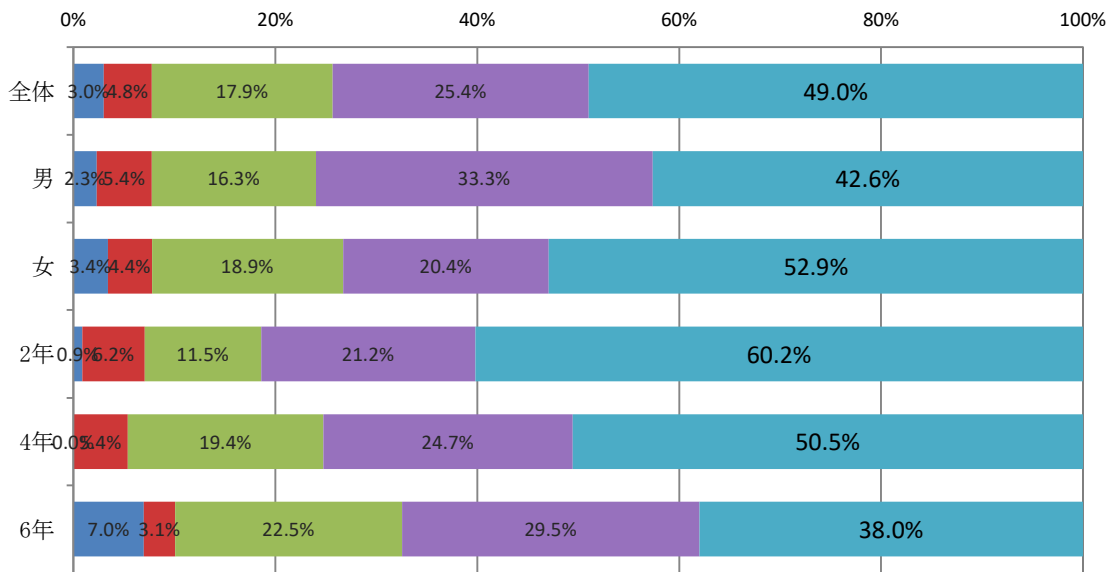
		有効回答者数	クラブ活動に参加しない主な理由									
			勉学の妨げになる	拘束されたくない	自分の関心に合うものがない	アルバイトや通学等で時間がない	対人関係が面倒	経済的な負担が大きい	活動を行う施設・設備がない	練習が苦痛	健康上の理由	その他（具体的に記述してください）
全体		70	23	24	12	7	11	8	4	6	6	26
			32.9%	34.3%	17.1%	10.0%	15.7%	11.4%	5.7%	8.6%	8.6%	37.1%
性別	男	44	16	14	4	2	4	5	3	3	6	16
			36.4%	31.8%	9.1%	4.5%	9.1%	11.4%	6.8%	6.8%	13.6%	36.4%
	女	26	7	10	8	5	7	3	1	3	0	10
			26.9%	38.5%	30.8%	19.2%	26.9%	11.5%	3.8%	11.5%	0.0%	38.5%
学年別	2年	14	5	5	2	2	2	1	1	1	2	1
			35.7%	35.7%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%
	4年	14	5	5	2	1	1	2	1	3	1	6
			35.7%	35.7%	14.3%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%	21.4%	7.1%	42.9%
	6年	42	13	14	8	4	8	5	2	2	3	19
			31.0%	33.3%	19.0%	9.5%	19.0%	11.9%	4.8%	4.8%	7.1%	45.2%

19. ボランティア活動参加有無

ボランティア活動の参加者は7.8%。

ボランティア活動を行っている学生は全体の7.8%で、参加経験のある学生まで含めても全体の25.7%にすぎません。一方で参加したいが時間や機会がないと回答した学生が25.4%おり、活動するチャンスと時間の提供、ボランティア精神の涵養が課題です。

- 1 定期的に参加している。
- 2 不定期（ときどき）だが、参加している。
- 3 以前は参加していたが、現在はしていない。
- 4 参加したいが、時間や機会がない。
- 5 参加したことがない。

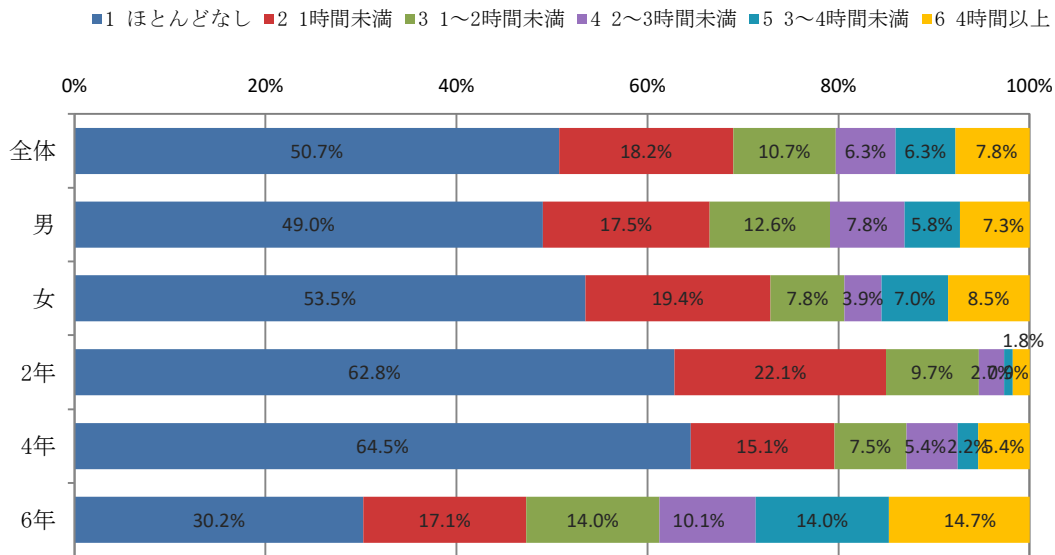


		有効回答者数	ボランティア活動をしたことがありますか				
			定期的に 参加してい る	が、不 定期（と きどき） だが	い。以 前は 現在 は参 加し てい ない	機 会が ない が、 時間 や	参 加し たこ とが ない。
全体		335	10	16	60	85	164
			3.0%	4.8%	17.9%	25.4%	49.0%
性別	男	206	7	9	39	42	109
	女	129	3	7	21	43	55
			2.3%	5.4%	16.3%	33.3%	42.6%
学年別	2年	113	1	7	13	24	68
	4年	93	0	5	18	23	47
	6年	129	9	4	29	38	49
			7.0%	3.1%	22.5%	29.5%	38.0%

20. 予習時間

4年生までは6割以上が予習時間はほとんどなし、6年生では急速に増加。

2年生では62.8%、4年生では64.5%が「ほとんどなし」となっていますが、昨年度調査では2年生で72.3%、4年生では70.0%で、予習時間は増加傾向にあります。6年生では急速に予習時間が増え、30.2%が4時間以上と回答しています。これは国家試験を見据えた自学自習の時間を「予習時間」と回答したものと思われます。

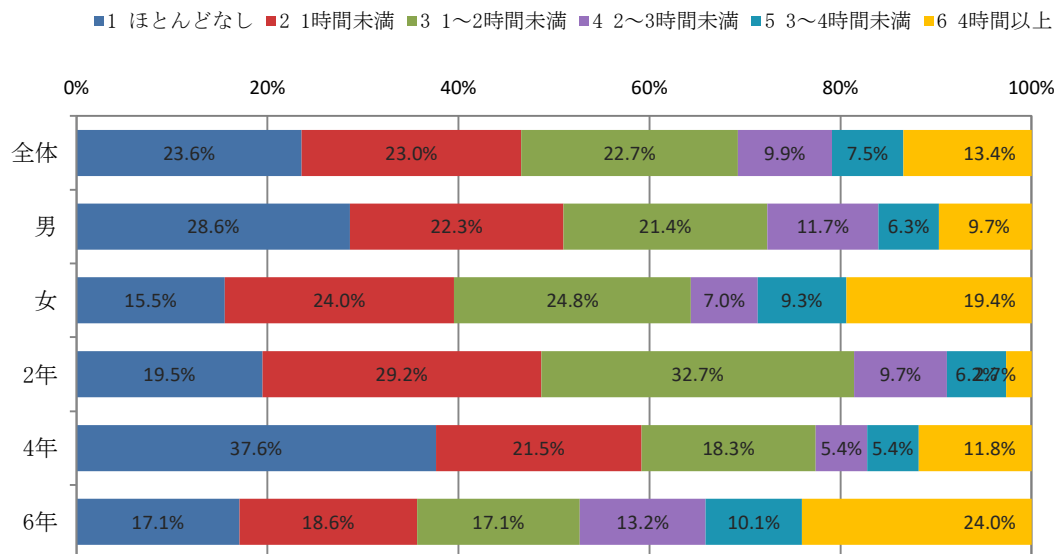


従属		有効回答者数	設問内容					
			ほとんどなし	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
全体		335	170	61	36	21	21	26
			50.7%	18.2%	10.7%	6.3%	6.3%	7.8%
性別	男	206	101	36	26	16	12	15
			49.0%	17.5%	12.6%	7.8%	5.8%	7.3%
	女	129	69	25	10	5	9	11
			53.5%	19.4%	7.8%	3.9%	7.0%	8.5%
学年別	2年	113	71	25	11	3	1	2
			62.8%	22.1%	9.7%	2.7%	0.9%	1.8%
	4年	93	60	14	7	5	2	5
			64.5%	15.1%	7.5%	5.4%	2.2%	5.4%
	6年	129	39	22	18	13	18	19
			30.2%	17.1%	14.0%	10.1%	14.0%	14.7%

21. 復習時間

予習時間よりも復習時間が長い。

復習時間については2年生、4年生で予習時間よりも長い時間をかけています。6年生での時間数増は予習時間と同様、国家試験を見据えた自学自習の時間を「復習時間」として回答したものであると思います。

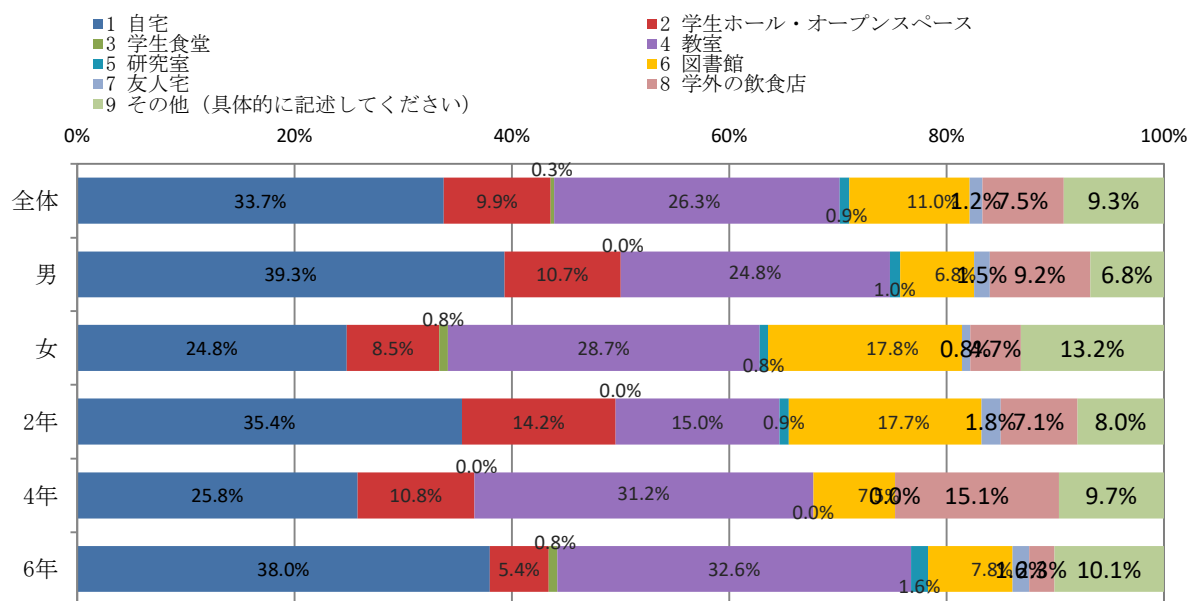


従属		有効回答者数	設問内容					
			ほとんどなし	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
全体		335	79	77	76	33	25	45
			23.6%	23.0%	22.7%	9.9%	7.5%	13.4%
性別	男	206	59	46	44	24	13	20
			28.6%	22.3%	21.4%	11.7%	6.3%	9.7%
	女	129	20	31	32	9	12	25
			15.5%	24.0%	24.8%	7.0%	9.3%	19.4%
学年別	2年	113	22	33	37	11	7	3
			19.5%	29.2%	32.7%	9.7%	6.2%	2.7%
	4年	93	35	20	17	5	5	11
			37.6%	21.5%	18.3%	5.4%	5.4%	11.8%
	6年	129	22	24	22	17	13	31
			17.1%	18.6%	17.1%	13.2%	10.1%	24.0%

22. 自主学修場所

48.4%の学生が学内で自主学修。

自主学修の場所として自宅と回答したのは全体の33.7%で、昨年度の22.8%よりも増加しています。学生ホール・オープンスペース・学生食堂・図書館を挙げた学生が全体の47.2%で、学年を問わず約半数の学生が学内を自主学修場所としています。

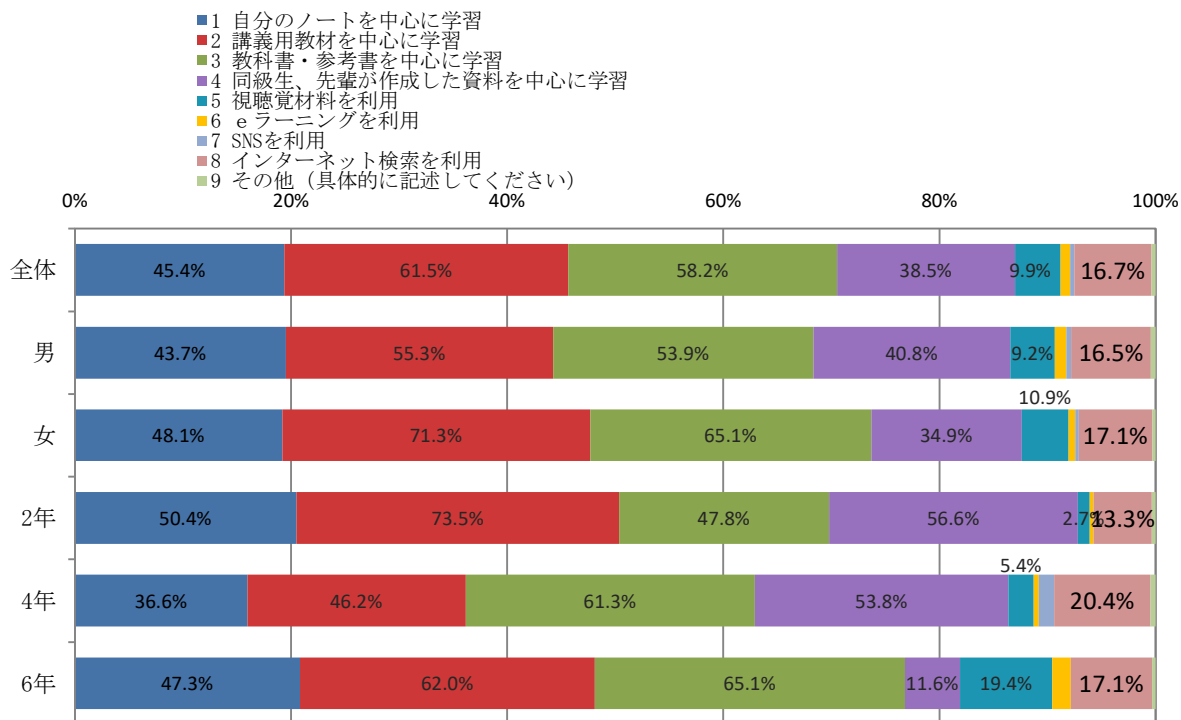


		有効回答者数	自主学修をする場所について学修することが最も多い場所はどこですか								
			自宅	学生ホール・オープン	学生食堂	教室	研究室	図書館	友人宅	学外の飲食店	その他(具体的に記述)
全体		335	113	33	1	88	3	37	4	25	31
			33.7%	9.9%	0.3%	26.3%	0.9%	11.0%	1.2%	7.5%	9.3%
性別	男	206	81	22	0	51	2	14	3	19	14
			39.3%	10.7%	0.0%	24.8%	1.0%	6.8%	1.5%	9.2%	6.8%
	女	129	32	11	1	37	1	23	1	6	17
			24.8%	8.5%	0.8%	28.7%	0.8%	17.8%	0.8%	4.7%	13.2%
学年別	2年	113	40	16	0	17	1	20	2	8	9
			35.4%	14.2%	0.0%	15.0%	0.9%	17.7%	1.8%	7.1%	8.0%
	4年	93	24	10	0	29	0	7	0	14	9
			25.8%	10.8%	0.0%	31.2%	0.0%	7.5%	0.0%	15.1%	9.7%
	6年	129	49	7	1	42	2	10	2	3	13
			38.0%	5.4%	0.8%	32.6%	1.6%	7.8%	1.6%	2.3%	10.1%

23. 自主学修方法

2年、4年では同級生・先輩の作成資料に依存する学生が半数以上。

2年では50.4%が自分のノート、73.5%が講義用教材を中心に学修すると回答する一方、同級生、先輩が作成した資料を中心に学修すると回答した学生も56.6%いました。4年でも53.8%がこう回答しており、同級生・先輩の作成資料に半数の学生が依存している様子がみてとれます。6年では11.6%に減少しており、自己学修

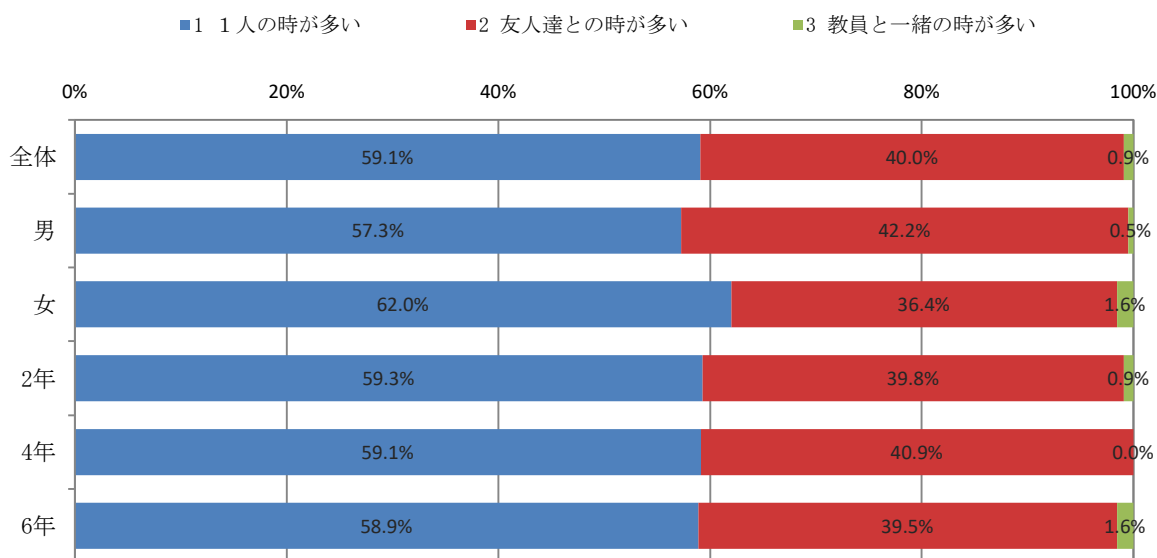


		自主学修の方法について最もよく行う学修方法は何ですか									
		有効回答者数	1 自分のノートを中心に学修	2 講義用教材を中心に学修	3 教科書・参考書を中心に学修	4 同級生・先輩が作成した資料を中心に学修	5 視聴覚材料を利用	6 eラーニングを利用	7 SNSを利用	8 インターネット検索を利用	9 その他（具体的に記述してください）
全体		335	152	206	195	129	33	7	3	56	3
			45.4%	61.5%	58.2%	38.5%	9.9%	2.1%	0.9%	16.7%	0.9%
性別	男	206	90	114	111	84	19	5	2	34	2
	女	129	62	92	84	45	14	2	1	22	1
学年別	2年	113	57	83	54	64	3	1	0	15	1
			50.4%	73.5%	47.8%	56.6%	2.7%	0.9%	0.0%	13.3%	0.9%
	4年	93	34	43	57	50	5	1	3	19	1
			36.6%	46.2%	61.3%	53.8%	5.4%	1.1%	3.2%	20.4%	1.1%
6年		129	61	80	84	15	25	5	0	22	1
			47.3%	62.0%	65.1%	11.6%	19.4%	3.9%	0.0%	17.1%	0.8%

24. 誰と自主学修

59.1%の学生がひとりで学修している。

主にひとりで学修する学生は全体の59.1%で、昨年度（67.8%）よりも減少し、友人たちと勉強する学生が増えている傾向にあります。

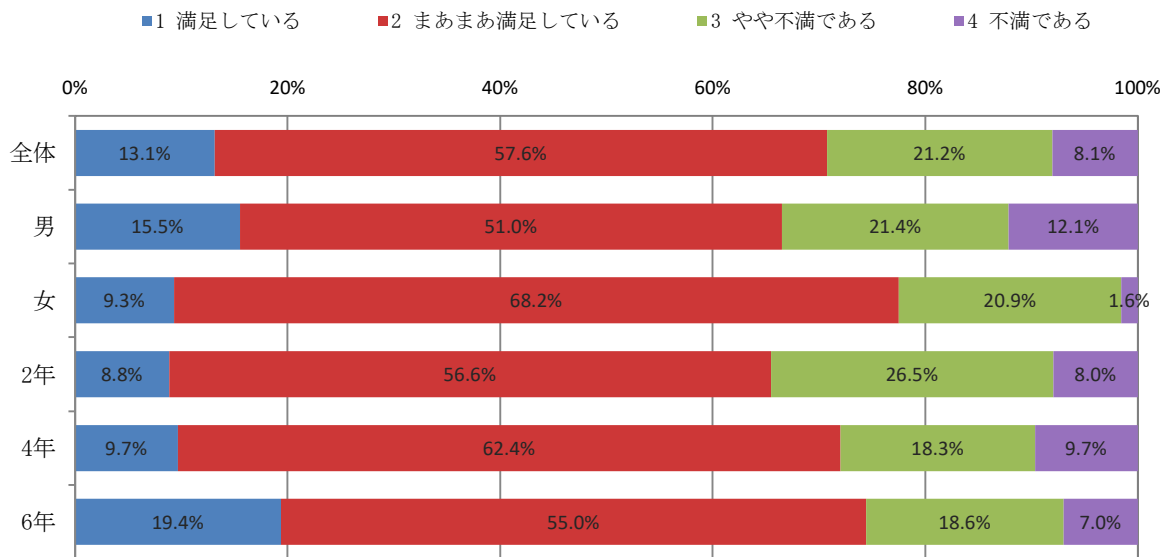


		有効回答者数	誰と一緒に学修していますか		
			1人の時が多い	友人達との時が多い	教員と一緒に時が多い
全体		335	198	134	3
			59.1%	40.0%	0.9%
性別	男	206	118	87	1
			57.3%	42.2%	0.5%
	女	129	80	47	2
			62.0%	36.4%	1.6%
学年別	2年	113	67	45	1
			59.3%	39.8%	0.9%
	4年	93	55	38	0
			59.1%	40.9%	0.0%
	6年	129	76	51	2
			58.9%	39.5%	1.6%

25. 講義実習満足度

70.7%の学生が講義・実習に満足。

全体、学年別のいずれでも講義・実習に満足している・まあまあ満足していると回答した学生が6割を超え、全体として満足度は向上していました（61.8%→70.7%）。一方、3割前後の学生はやや不満・不満との回答も調査しており、改善の余地はあるものと思われます。



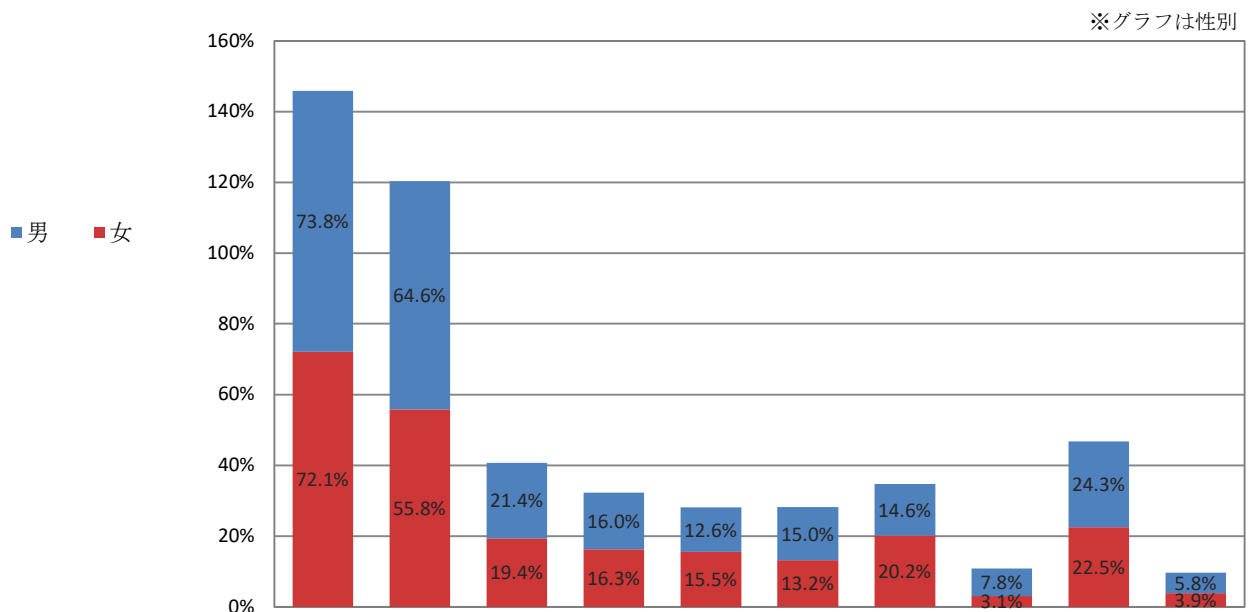
		有効回答者数	講義・実習には満足していますか			
			満足している	まあまあ満足している	やや不満である	不満である
全体		335	44	193	71	27
			13.1%	57.6%	21.2%	8.1%
性別	男	206	32	105	44	25
			15.5%	51.0%	21.4%	12.1%
	女	129	12	88	27	2
			9.3%	68.2%	20.9%	1.6%
学年別	2年	113	10	64	30	9
			8.8%	56.6%	26.5%	8.0%
	4年	93	9	58	17	9
			9.7%	62.4%	18.3%	9.7%
	6年	129	25	71	24	9
			19.4%	55.0%	18.6%	7.0%

26. 教育制度不十分点（複数回答3つ） - 性別 -

教育で不十分な点はカリキュラムと教務情報に回答が集中。

教育面・制度面で不十分と感じる点については、カリキュラムと教務情報に回答が集中していました。自由記載と合わせて解析すると、カリキュラムについては詰め込みすぎ・無駄が多い・試験が厳しい、という意見に集約されるものと考えられます。昨今の医学教育に求められる膨大で多様な内容を考えると致し方ないところですが、改善の余地がないか見直しが必要です。

一方教務情報については試験結果・成績の開示方法が挙がっており、検討が必要です。

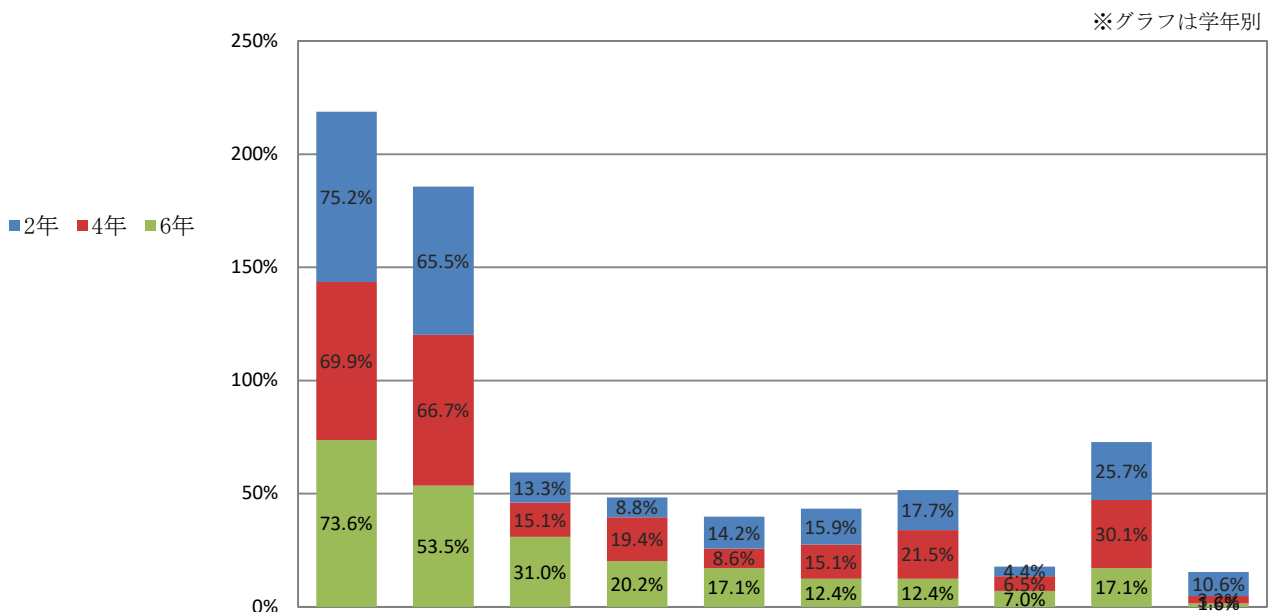


		有効回答者数	教育面や制度面で不十分であると感じることはどのようなことですか									
			カリキュラム	の授業・試験・成績などの教務情報	資格取得講座（対策授業）	就職支援・進路相談	奨学金制度の新設や増額	他学・海外との交流	留学制度・海外研修プログラム	学生会社自治活動（学友支援）	クラブ活動・ボランティア活動支援	その他（具体的に記述してください）
全体		335	245	205	69	54	46	48	56	20	79	17
			73.1%	61.2%	20.6%	16.1%	13.7%	14.3%	16.7%	6.0%	23.6%	5.1%
性別	男	206	152	133	44	33	26	31	30	16	50	12
			73.8%	64.6%	21.4%	16.0%	12.6%	15.0%	14.6%	7.8%	24.3%	5.8%
	女	129	93	72	25	21	20	17	26	4	29	5
			72.1%	55.8%	19.4%	16.3%	15.5%	13.2%	20.2%	3.1%	22.5%	3.9%
学年別	2年	113	85	74	15	10	16	18	20	5	29	12
			75.2%	65.5%	13.3%	8.8%	14.2%	15.9%	17.7%	4.4%	25.7%	10.6%
	4年	93	65	62	14	18	8	14	20	6	28	3
			69.9%	66.7%	15.1%	19.4%	8.6%	15.1%	21.5%	6.5%	30.1%	3.2%
6年	129	95	69	40	26	22	16	16	9	22	2	
		73.6%	53.5%	31.0%	20.2%	17.1%	12.4%	12.4%	7.0%	17.1%	1.6%	

26. 教育制度不十分点（複数回答3つ） - 学年別 -

学年によらずカリキュラムと教務情報に不十分な点があるとの回答。

教育制度の不十分な点としては、調査した各学年でカリキュラムと教務情報に回答が集中していました。

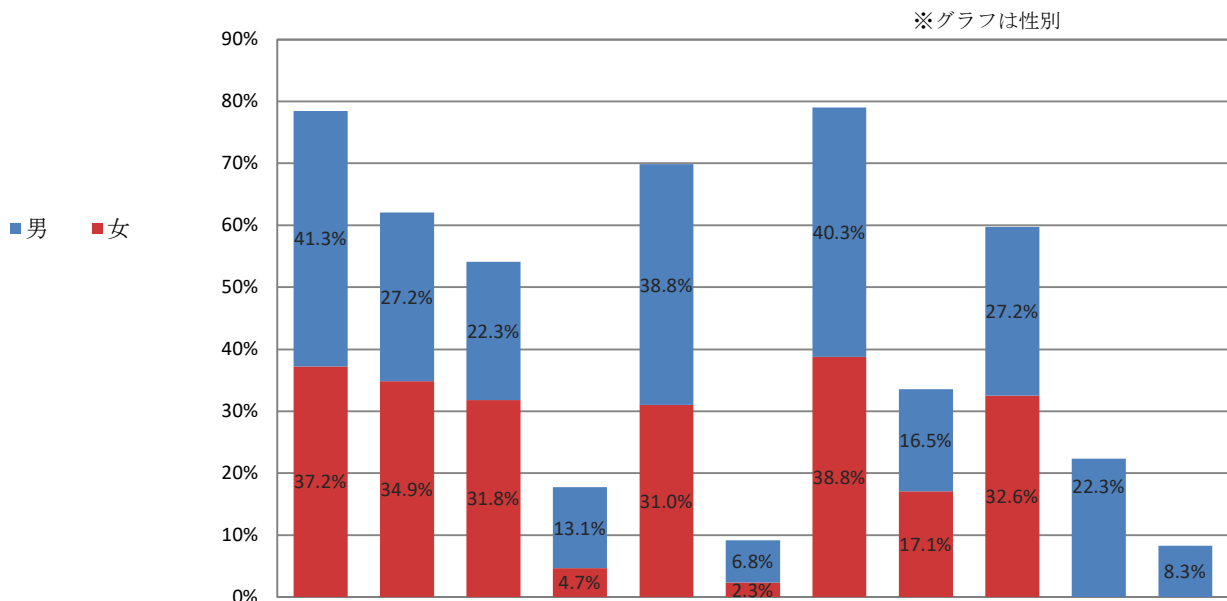


		有効回答者数	教育面や制度面で不十分であると感じることはどのようなことですか									
			カリキュラム	の授業・試験・成績などの教務情報	資格取得講座（対策授業）	就職支援・進路相談	奨学金制度の新設や増額	他学・海外との交流	留学制度・海外研修プログラム	学生会社	学生自治活動（学友会）	クラブ活動・ボランティア活動支援
全体		335	245	205	69	54	46	48	56	20	79	17
			73.1%	61.2%	20.6%	16.1%	13.7%	14.3%	16.7%	6.0%	23.6%	5.1%
性別	男	206	152	133	44	33	26	31	30	16	50	12
			73.8%	64.6%	21.4%	16.0%	12.6%	15.0%	14.6%	7.8%	24.3%	5.8%
性別	女	129	93	72	25	21	20	17	26	4	29	5
			72.1%	55.8%	19.4%	16.3%	15.5%	13.2%	20.2%	3.1%	22.5%	3.9%
学年別	2年	113	85	74	15	10	16	18	20	5	29	12
			75.2%	65.5%	13.3%	8.8%	14.2%	15.9%	17.7%	4.4%	25.7%	10.6%
	4年	93	65	62	14	18	8	14	20	6	28	3
			69.9%	66.7%	15.1%	19.4%	8.6%	15.1%	21.5%	6.5%	30.1%	3.2%
学年別	6年	129	95	69	40	26	22	16	16	9	22	2
			73.6%	53.5%	31.0%	20.2%	17.1%	12.4%	12.4%	7.0%	17.1%	1.6%

27. キャンパス設備改善要望点（複数回答3つ） - 性別 -

設備改善の要望では駐車場が最も多い。

設備の充実を求める点では、駐車場が最も多い結果でした。自由意見からは、学生駐車場が混んでいて止められないことがあるにもかかわらず職員が止めている、場所が遠い、整備がなされていない、などが大きな理由のようです。一方今年度特に目立ったのは情報系の環境で、プリンタ・コピー機が圧倒的に不足しているという意見でした。これはiPadの導入などにより配布物が減少したことも反映しているかもしれません。その他教室・図書館・学生ホール等があり、学修環境の整備・学生生活の改善の両面から対策が必要です。全学で対応すべき内容、医学部で対応すべき内容を分けて考える必要がありますが、詳細を精査した上で充実・改善が求められます。

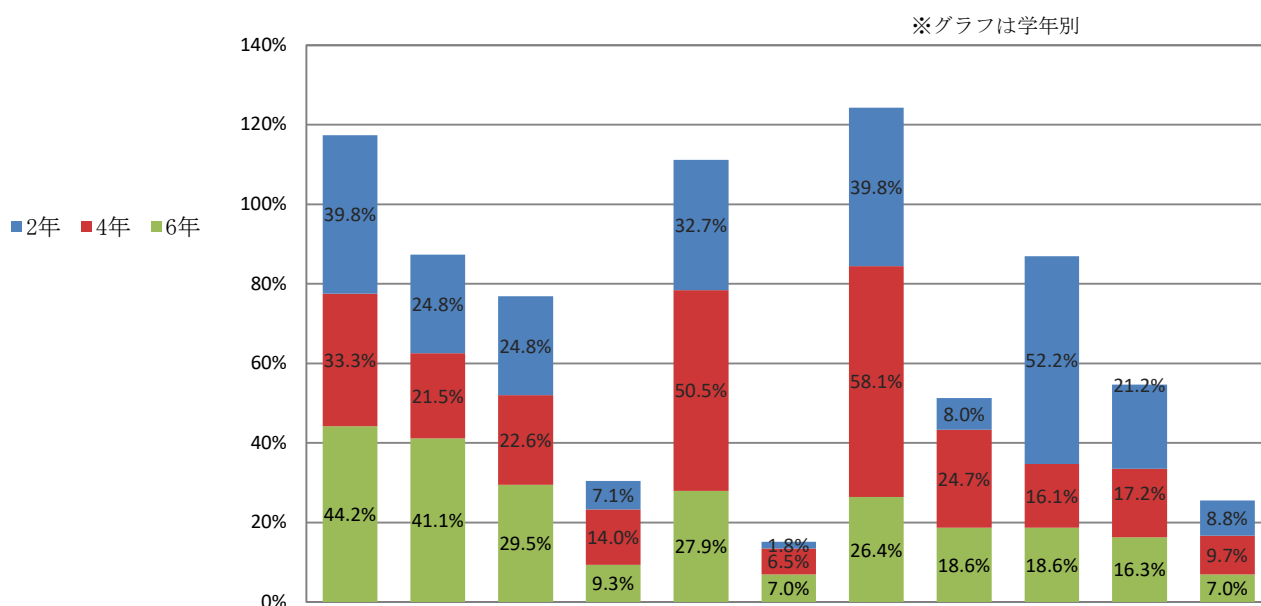


		有効回答者数	0										
			教室・実習室	図書館	室 P C 教室など情報系教	体育館等スポーツ施設	食堂	駐輪場	駐車場	学生ホール・ラウンジ	インターネット環境	設 クラブ活動の設備・施	そ 他 (具体的に記述
全体		335	133	101	87	33	120	17	133	56	98	61	28
			39.7%	30.1%	26.0%	9.9%	35.8%	5.1%	39.7%	16.7%	29.3%	18.2%	8.4%
性別	男	206	85	56	46	27	80	14	83	34	56	46	17
			41.3%	27.2%	22.3%	13.1%	38.8%	6.8%	40.3%	16.5%	27.2%	22.3%	8.3%
	女	129	48	45	41	6	40	3	50	22	42	15	11
			37.2%	34.9%	31.8%	4.7%	31.0%	2.3%	38.8%	17.1%	32.6%	11.6%	8.5%
学年別	2年	113	45	28	28	8	37	2	45	9	59	24	10
			39.8%	24.8%	24.8%	7.1%	32.7%	1.8%	39.8%	8.0%	52.2%	21.2%	8.8%
	4年	93	31	20	21	13	47	6	54	23	15	16	9
			33.3%	21.5%	22.6%	14.0%	50.5%	6.5%	58.1%	24.7%	16.1%	17.2%	9.7%
	6年	129	57	53	38	12	36	9	34	24	24	21	9
			44.2%	41.1%	29.5%	9.3%	27.9%	7.0%	26.4%	18.6%	18.6%	16.3%	7.0%

27. キャンパス設備改善要望点（複数回答3つ） - 学年別 -

設備改善の要望で学年の大きな差はみられない。

改善要望は学年による大きな差はみられず、学年によらない共通の項目であることが窺えます。

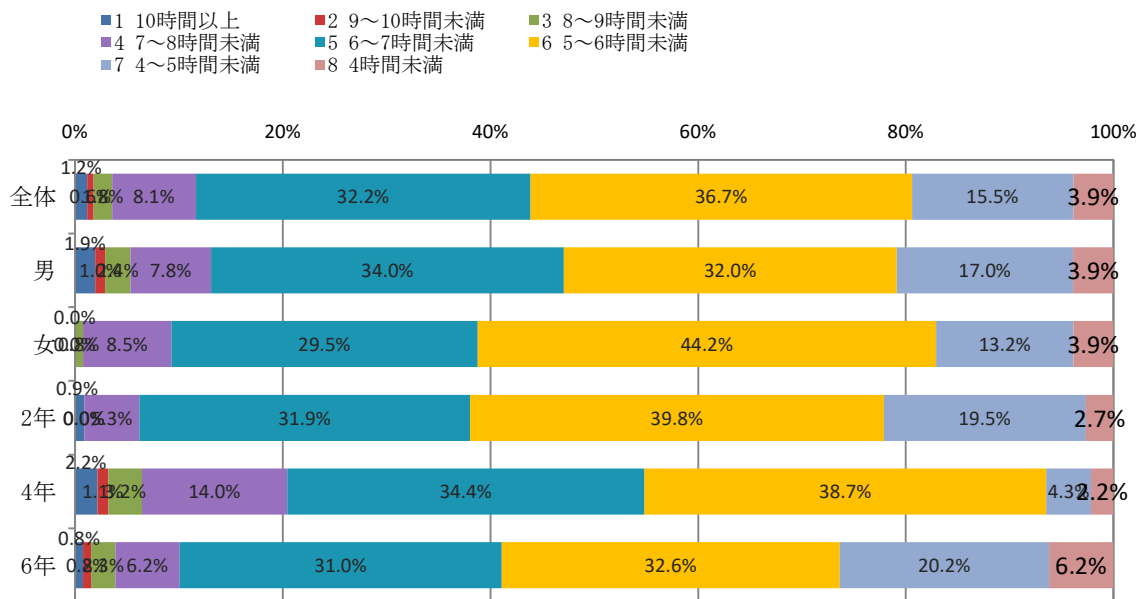


		有効回答者数	0										
			教室・実習室	図書館	PC教室など情報系教室	体育館等スポーツ施設	食堂	駐輪場	駐車場	学生ホール・ラウンジ	インターネット環境	クラブ活動の設備・施設	その他(具体的に記述してください)
全体		335	133	101	87	33	120	17	133	56	98	61	28
			39.7%	30.1%	26.0%	9.9%	35.8%	5.1%	39.7%	16.7%	29.3%	18.2%	8.4%
性別	男	206	85	56	46	27	80	14	83	34	56	46	17
			41.3%	27.2%	22.3%	13.1%	38.8%	6.8%	40.3%	16.5%	27.2%	22.3%	8.3%
	女	129	48	45	41	6	40	3	50	22	42	15	11
			37.2%	34.9%	31.8%	4.7%	31.0%	2.3%	38.8%	17.1%	32.6%	11.6%	8.5%
学年別	2年	113	45	28	28	8	37	2	45	9	59	24	10
			39.8%	24.8%	24.8%	7.1%	32.7%	1.8%	39.8%	8.0%	52.2%	21.2%	8.8%
	4年	93	31	20	21	13	47	6	54	23	15	16	9
			33.3%	21.5%	22.6%	14.0%	50.5%	6.5%	58.1%	24.7%	16.1%	17.2%	9.7%
	6年	129	57	53	38	12	36	9	34	24	24	21	9
			44.2%	41.1%	29.5%	9.3%	27.9%	7.0%	26.4%	18.6%	18.6%	16.3%	7.0%

29. 睡眠時間

睡眠時間は5～6時間が最多。

睡眠時間はどの学年でも5～6時間との回答が最多でした。一方10時間以上、もしくは4時間以下との回答も散見されました。何らかの睡眠障害をきたしているのかどうかについては不明です。今後学生指導の際に注意すべき一項目と考えられます。

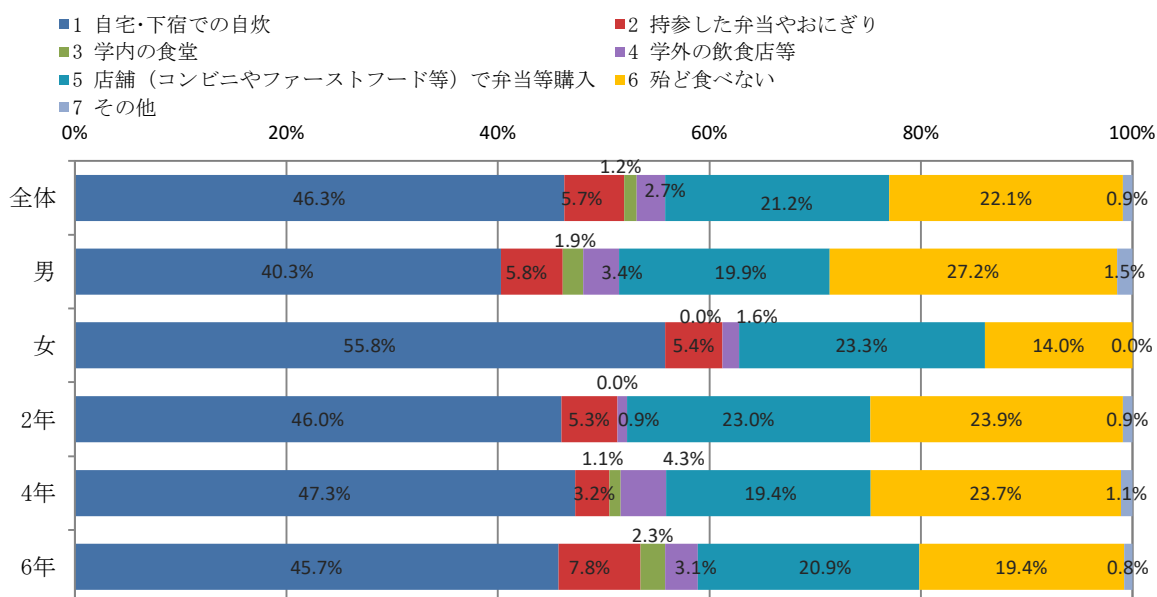


	有効回答者数	0								
		10時間以上	9～10時間未満	8～9時間未満	7～8時間未満	6～7時間未満	5～6時間未満	4～5時間未満	4時間未満	
全体	335	4	2	6	27	108	123	52	13	
		1.2%	0.6%	1.8%	8.1%	32.2%	36.7%	15.5%	3.9%	
性別	男	206	4	2	5	16	70	66	35	8
			1.9%	1.0%	2.4%	7.8%	34.0%	32.0%	17.0%	3.9%
	女	129	0	0	1	11	38	57	17	5
			0.0%	0.0%	0.8%	8.5%	29.5%	44.2%	13.2%	3.9%
学年別	2年	113	1	0	0	6	36	45	22	3
			0.9%	0.0%	0.0%	5.3%	31.9%	39.8%	19.5%	2.7%
	4年	93	2	1	3	13	32	36	4	2
			2.2%	1.1%	3.2%	14.0%	34.4%	38.7%	4.3%	2.2%
6年	129	1	1	3	8	40	42	26	8	
		0.8%	0.8%	2.3%	6.2%	31.0%	32.6%	20.2%	6.2%	

30. 食事について…朝食

朝食をとらない学生が全体の22.1%。

朝食については全体の46.3%が自宅・下宿での自炊と回答している一方、2割以上の学生が朝食を食べないと回答しています。

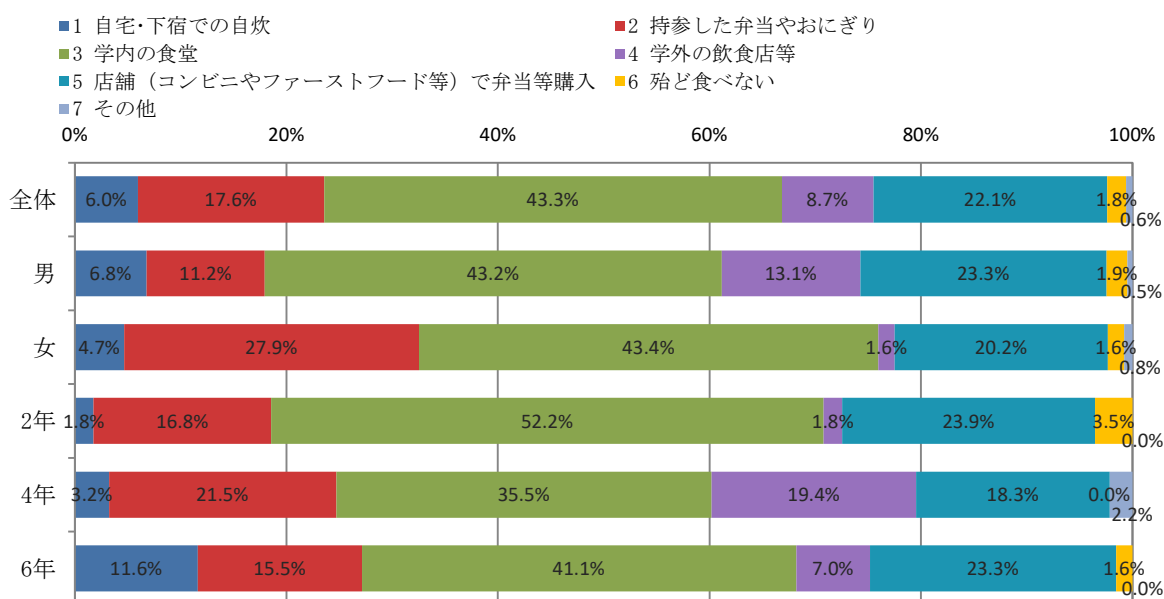


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…朝食						
			自宅・下宿での自炊	持参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗（コンビニやファーストフード等）で弁当等購入	殆ど食べない	その他
全体		335	155	19	4	9	71	74	3
			46.3%	5.7%	1.2%	2.7%	21.2%	22.1%	0.9%
性別	男	206	83	12	4	7	41	56	3
			40.3%	5.8%	1.9%	3.4%	19.9%	27.2%	1.5%
	女	129	72	7	0	2	30	18	0
			55.8%	5.4%	0.0%	1.6%	23.3%	14.0%	0.0%
学年別	2年	113	52	6	0	1	26	27	1
			46.0%	5.3%	0.0%	0.9%	23.0%	23.9%	0.9%
	4年	93	44	3	1	4	18	22	1
			47.3%	3.2%	1.1%	4.3%	19.4%	23.7%	1.1%
	6年	129	59	10	3	4	27	25	1
			45.7%	7.8%	2.3%	3.1%	20.9%	19.4%	0.8%

30. 食事について…昼食

学内の食堂での昼食をとる学生が43.3%。

全体の43.3%の学生が昼食を学内の食堂でとると回答しています。この比率は2年で高く、4年で低い傾向となり、4年では学外の飲食店利用が増えています。

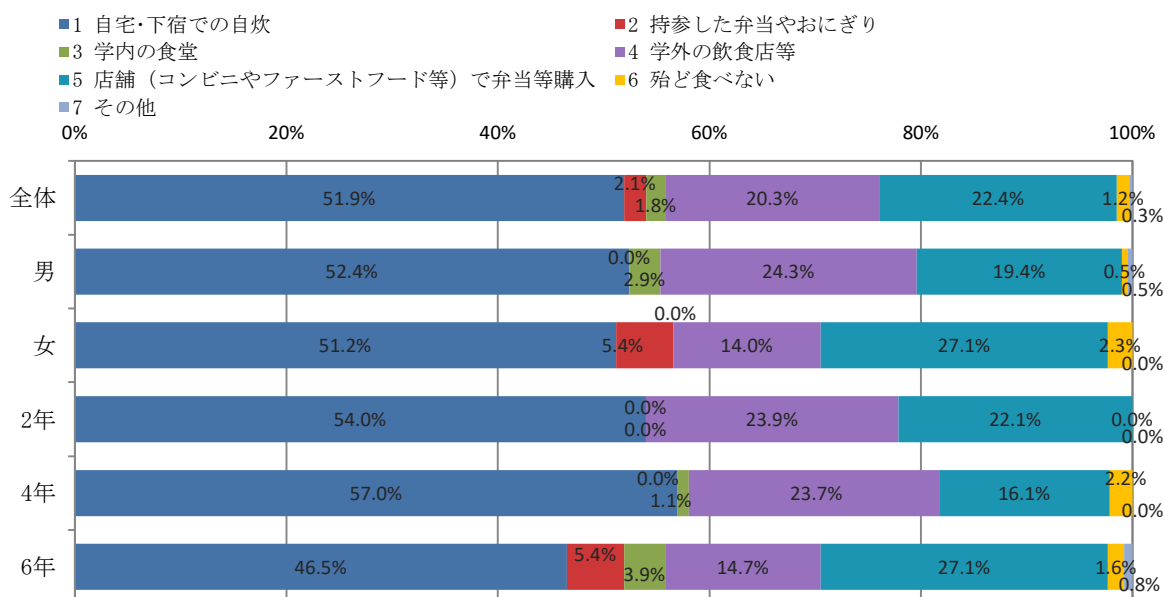


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…昼食						
			自宅・下宿での自炊	持参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗（コンビニやファーストフード等）で弁当等購入	殆ど食べない	その他
全体		335	20	59	145	29	74	6	2
			6.0%	17.6%	43.3%	8.7%	22.1%	1.8%	0.6%
性別	男	206	14	23	89	27	48	4	1
			6.8%	11.2%	43.2%	13.1%	23.3%	1.9%	0.5%
	女	129	6	36	56	2	26	2	1
			4.7%	27.9%	43.4%	1.6%	20.2%	1.6%	0.8%
学年別	2年	113	2	19	59	2	27	4	0
			1.8%	16.8%	52.2%	1.8%	23.9%	3.5%	0.0%
	4年	93	3	20	33	18	17	0	2
			3.2%	21.5%	35.5%	19.4%	18.3%	0.0%	2.2%
	6年	129	15	20	53	9	30	2	0
			11.6%	15.5%	41.1%	7.0%	23.3%	1.6%	0.0%

30. 食事について…夕食

外食・弁当中心の学生が42.7%。

夕食については自宅・下宿での自炊と回答した学生が全体の51.9%であった一方、外食や店舗での弁当を挙げる学生も42.7%います。自由意見では平日の昼食以外の食事を学内でとれるようにしてほしい、という意見が特に高学年を中心に目立ちました。良質な食生活は健康な学生生活を送るのに不可欠であり、他大学の事例も参考に改善が望まれます。

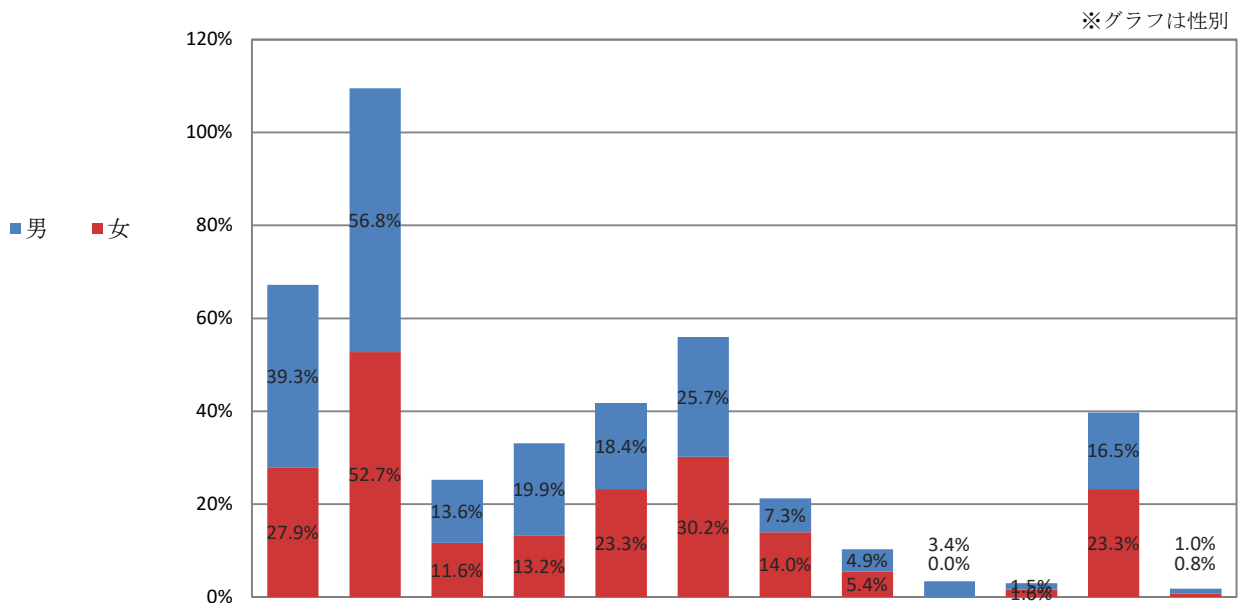


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…夕食						その他
			自宅・下宿での自炊	持参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗（コンビニやファーストフード等）で弁当等購入	殆ど食べない	
全体		335	174	7	6	68	75	4	1
			51.9%	2.1%	1.8%	20.3%	22.4%	1.2%	0.3%
性別	男	206	108	0	6	50	40	1	1
			52.4%	0.0%	2.9%	24.3%	19.4%	0.5%	0.5%
	女	129	66	7	0	18	35	3	0
			51.2%	5.4%	0.0%	14.0%	27.1%	2.3%	0.0%
学年別	2年	113	61	0	0	27	25	0	0
			54.0%	0.0%	0.0%	23.9%	22.1%	0.0%	0.0%
	4年	93	53	0	1	22	15	2	0
			57.0%	0.0%	1.1%	23.7%	16.1%	2.2%	0.0%
	6年	129	60	7	5	19	35	2	1
			46.5%	5.4%	3.9%	14.7%	27.1%	1.6%	0.8%

31. 悩み事（複数回答） - 性別 -

男女とも学修面の悩みが最多。

悩み事としては学修面が最多で全体の55.2%となっており、昨年度の39.1%から大幅に増加しました。次いで金銭面が34.9%でこちらも昨年度（25.8%）から増加しています。



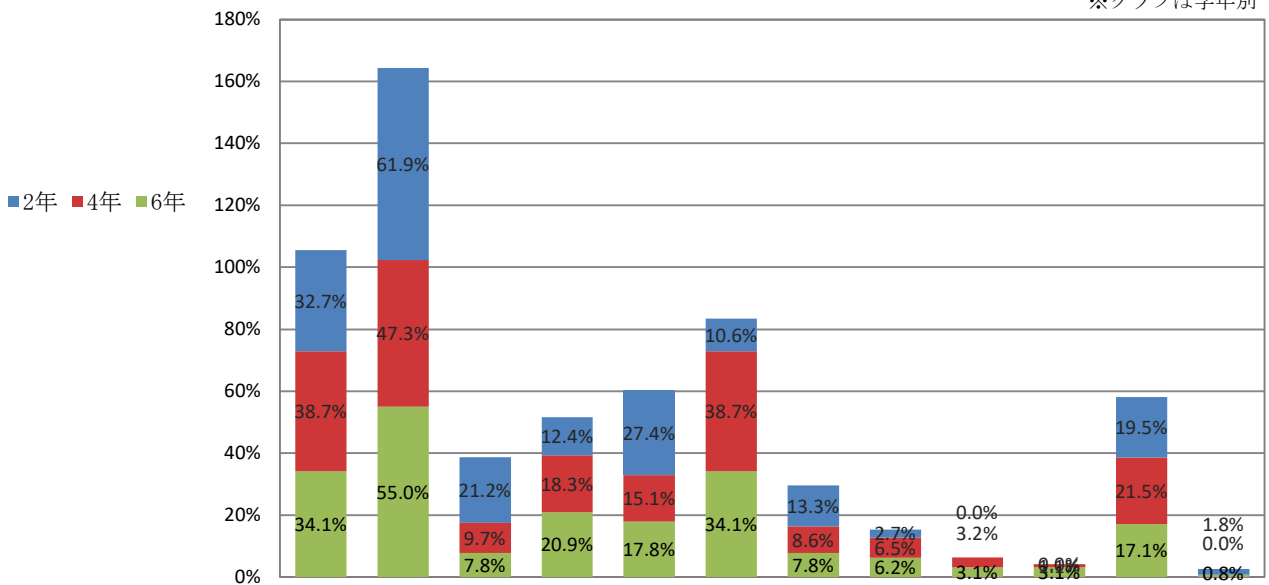
		現在何か悩みごとを持っていますか												
		有効回答者数	金銭面	学修面	クラブ関係	健康上の問題	性格や能力について	就職・将来の進路	友人関係	異性問題	性の問題	家庭の問題	特に悩んでいない	その他
全体		335	117	185	43	58	68	92	33	17	7	5	64	3
			34.9%	55.2%	12.8%	17.3%	20.3%	27.5%	9.9%	5.1%	2.1%	1.5%	19.1%	0.9%
性別	男	206	81	117	28	41	38	53	15	10	7	3	34	2
			39.3%	56.8%	13.6%	19.9%	18.4%	25.7%	7.3%	4.9%	3.4%	1.5%	16.5%	1.0%
	女	129	36	68	15	17	30	39	18	7	0	2	30	1
			27.9%	52.7%	11.6%	13.2%	23.3%	30.2%	14.0%	5.4%	0.0%	1.6%	23.3%	0.8%
学年別	2年	113	37	70	24	14	31	12	15	3	0	0	22	2
			32.7%	61.9%	21.2%	12.4%	27.4%	10.6%	13.3%	2.7%	0.0%	0.0%	19.5%	1.8%
	4年	93	36	44	9	17	14	36	8	6	3	1	20	0
			38.7%	47.3%	9.7%	18.3%	15.1%	38.7%	8.6%	6.5%	3.2%	1.1%	21.5%	0.0%
	6年	129	44	71	10	27	23	44	10	8	4	4	22	1
			34.1%	55.0%	7.8%	20.9%	17.8%	34.1%	7.8%	6.2%	3.1%	3.1%	17.1%	0.8%

31. 悩み事（複数回答） - 学年別 -

悩み事では学修面がトップ、今年度は就職・将来の進路の悩みが増加。

学年別に悩み事をみると、2年では61.9%が学修面、次いで32.7%が金銭面を挙げています。昨年度に比べると就職や将来の進路の悩みを挙げる学生が大きく増加しています（4年で16.2%→38.7%、6年で21.9%→34.1%）。学生指導、あるいは学生からの相談を受ける上で注意すべき項目と考えられます。

※グラフは学年別

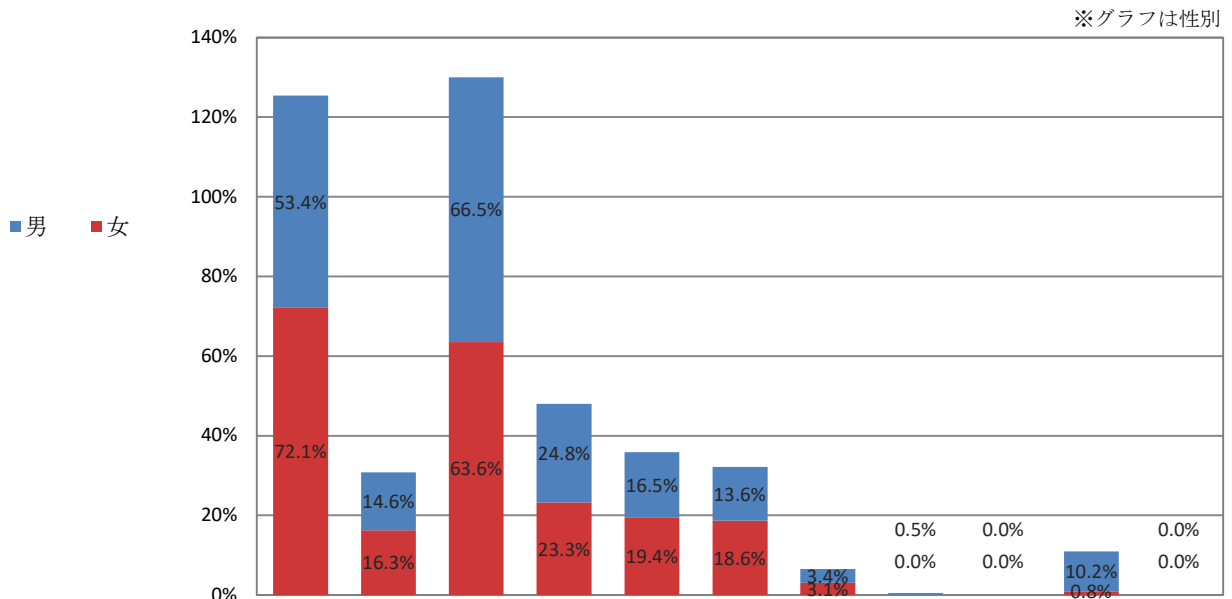


		有効回答者数	現在何か悩みごとを持っていますか											
			金銭面	学修面	クラブ関係	健康上の問題	性格や能力について	就職・将来の進路	友人関係	異性問題	性の問題	家庭の問題	特に悩んでいない	その他
全体		335	117	185	43	58	68	92	33	17	7	5	64	3
			34.9%	55.2%	12.8%	17.3%	20.3%	27.5%	9.9%	5.1%	2.1%	1.5%	19.1%	0.9%
性別	男	206	81	117	28	41	38	53	15	10	7	3	34	2
			39.3%	56.8%	13.6%	19.9%	18.4%	25.7%	7.3%	4.9%	3.4%	1.5%	16.5%	1.0%
	女	129	36	68	15	17	30	39	18	7	0	2	30	1
			27.9%	52.7%	11.6%	13.2%	23.3%	30.2%	14.0%	5.4%	0.0%	1.6%	23.3%	0.8%
学年別	2年	113	37	70	24	14	31	12	15	3	0	0	22	2
			32.7%	61.9%	21.2%	12.4%	27.4%	10.6%	13.3%	2.7%	0.0%	0.0%	19.5%	1.8%
	4年	93	36	44	9	17	14	36	8	6	3	1	20	0
			38.7%	47.3%	9.7%	18.3%	15.1%	38.7%	8.6%	6.5%	3.2%	1.1%	21.5%	0.0%
	6年	129	44	71	10	27	23	44	10	8	4	4	22	1
			34.1%	55.0%	7.8%	20.9%	17.8%	34.1%	7.8%	6.2%	3.1%	3.1%	17.1%	0.8%

32. 相談相手（複数回答） - 性別 -

相談相手は男性では同級生が最多、女性では親が最多。

相談しやすい相手としては男性では同級生が最多、女性では親が最多となっており、教職員・保健室を挙げた学生は極めて少なくなっています。悩み事の内容として学修面が最多であったことを考慮すると、大学側の関与の仕方に改善の余地があるものと推測されます。

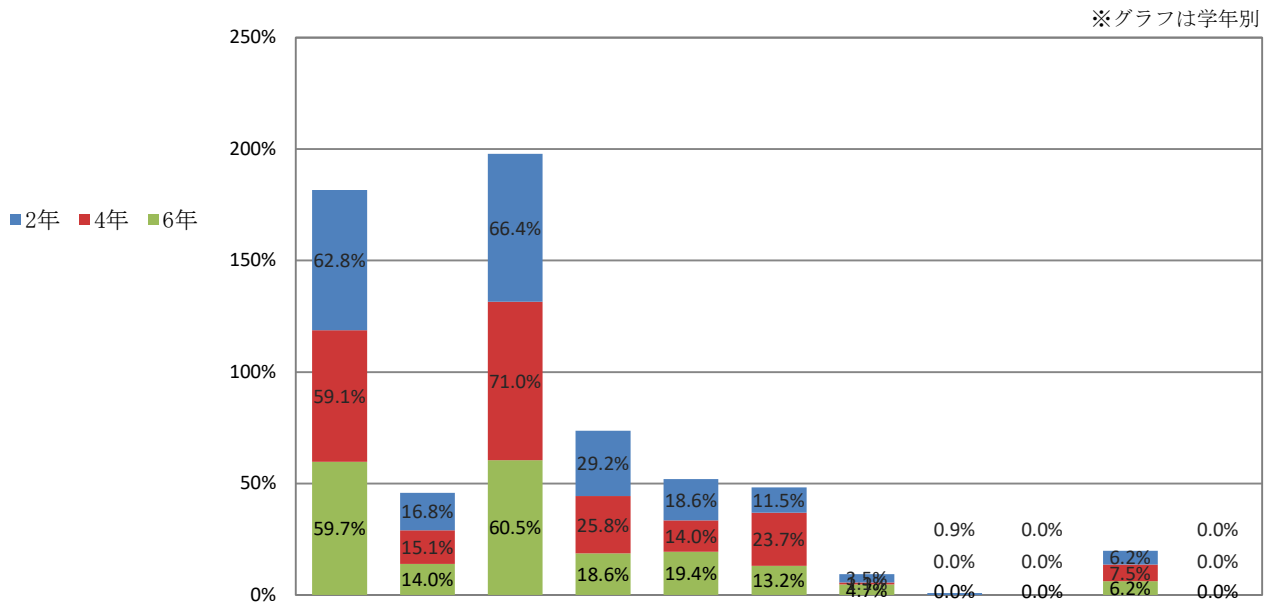


		学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談し易いのはどなたですか											
		有効回答者数	親	兄弟	同級生	先輩・後輩	学外の友人	恋人	教員	職員	含む保健室（カウンセラー）	特に相談相手がない	その他
全体		335	203	51	219	81	59	52	11	1	0	22	0
			60.6%	15.2%	65.4%	24.2%	17.6%	15.5%	3.3%	0.3%	0.0%	6.6%	0.0%
性別	男	206	110	30	137	51	34	28	7	1	0	21	0
			53.4%	14.6%	66.5%	24.8%	16.5%	13.6%	3.4%	0.5%	0.0%	10.2%	0.0%
	女	129	93	21	82	30	25	24	4	0	0	1	0
			72.1%	16.3%	63.6%	23.3%	19.4%	18.6%	3.1%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
学年別	2年	113	71	19	75	33	21	13	4	1	0	7	0
			62.8%	16.8%	66.4%	29.2%	18.6%	11.5%	3.5%	0.9%	0.0%	6.2%	0.0%
	4年	93	55	14	66	24	13	22	1	0	0	7	0
			59.1%	15.1%	71.0%	25.8%	14.0%	23.7%	1.1%	0.0%	0.0%	7.5%	0.0%
	6年	129	77	18	78	24	25	17	6	0	0	8	0
			59.7%	14.0%	60.5%	18.6%	19.4%	13.2%	4.7%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%

32. 相談相手（複数回答） - 学年別 -

相談相手で学年ごとに大きな差はみられない。

学年別に相談しやすい相手をみると、学年ごとに大きな差は認められません。



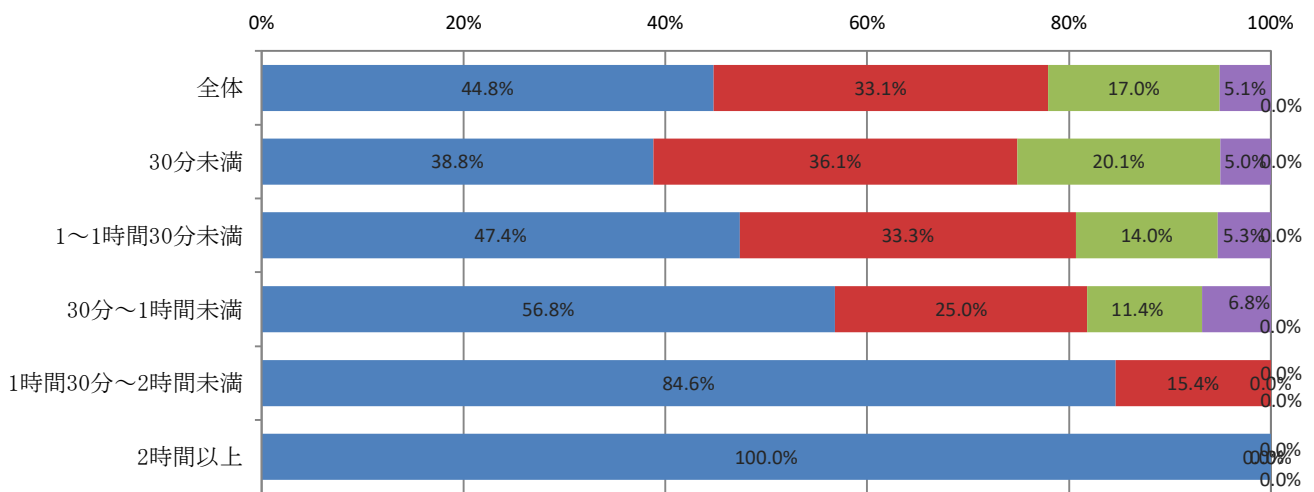
		学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談しやすいのはどなたですか											
		有効回答者数	親	兄弟	同級生	先輩・後輩	学外の友人	恋人	教員	職員	含む保健室（カウンセラー）	特に相談相手がいない	その他
全体		335	203	51	219	81	59	52	11	1	0	22	0
			60.6%	15.2%	65.4%	24.2%	17.6%	15.5%	3.3%	0.3%	0.0%	6.6%	0.0%
性別	男	206	110	30	137	51	34	28	7	1	0	21	0
			53.4%	14.6%	66.5%	24.8%	16.5%	13.6%	3.4%	0.5%	0.0%	10.2%	0.0%
性別	女	129	93	21	82	30	25	24	4	0	0	1	0
			72.1%	16.3%	63.6%	23.3%	19.4%	18.6%	3.1%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
学年別	2年	113	71	19	75	33	21	13	4	1	0	7	0
			62.8%	16.8%	66.4%	29.2%	18.6%	11.5%	3.5%	0.9%	0.0%	6.2%	0.0%
	4年	93	55	14	66	24	13	22	1	0	0	7	0
			59.1%	15.1%	71.0%	25.8%	14.0%	23.7%	1.1%	0.0%	0.0%	7.5%	0.0%
学年別	6年	129	77	18	78	24	25	17	6	0	0	8	0
			59.7%	14.0%	60.5%	18.6%	19.4%	13.2%	4.7%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%

3. 授業出席率 × 9. 通学時間別

通学時間が短いほど出席率が悪い傾向。

通学時間別に出席率をみると、通学時間が長い学生のほうが出席率がよい傾向がみられました。下宿生の一部の出席状況が芳しくないものと考えられます。

- 1 よく出席する (出席率98%以上)
- 2 出席する方である (出席率90%以上)
- 3 どちらともいえない (出席率80%程度)
- 4 あまり出席しない (出席率70%程度)
- 5 ほとんど出席しない (無資格科目が散見)

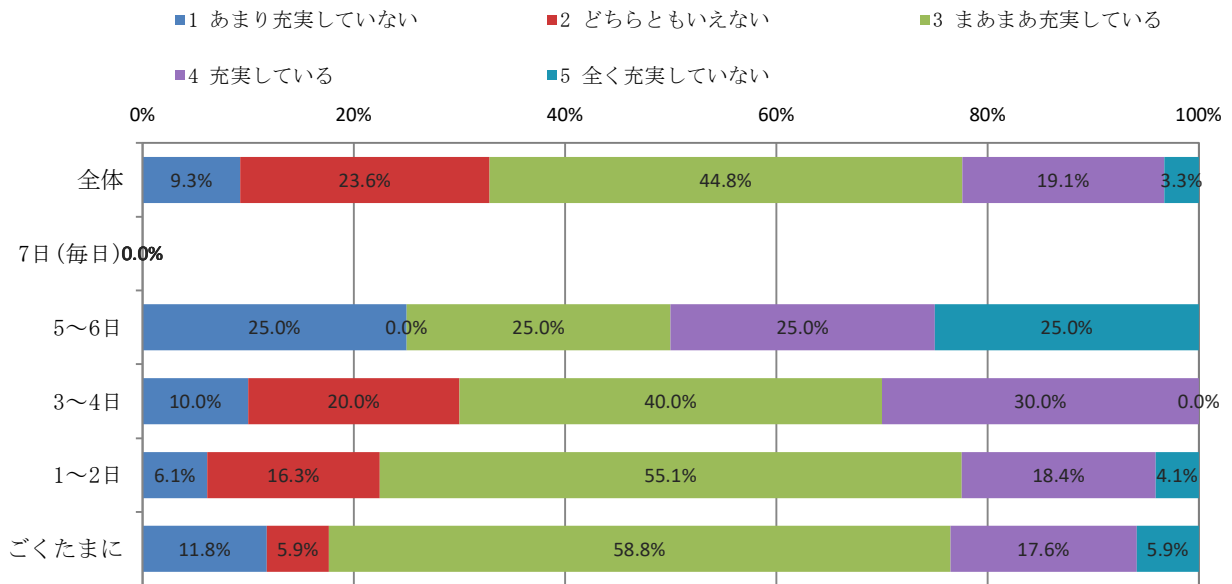


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 98%以上)	(出席する方である 90%以上)	(どちらともいえない 80%程度)	(あまり出席しない 70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
全体		335	150	111	57	17	0
			44.8%	33.1%	17.0%	5.1%	0.0%
通学時間別	30分未満	219	85	79	44	11	0
			38.8%	36.1%	20.1%	5.0%	0.0%
	1～1時間30分未満	57	27	19	8	3	0
			47.4%	33.3%	14.0%	5.3%	0.0%
	30分～1時間未満	44	25	11	5	3	0
			56.8%	25.0%	11.4%	6.8%	0.0%
	1時間30分～2時間未満	13	11	2	0	0	0
		84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
2時間以上	2	2	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

3. 授業出席率 × 13. アルバイト日数別

アルバイト日数は出席率に大きな影響はない。

今年度調査では週のアルバイト日数は出席率に大きな影響はなく、むしろアルバイトをしている学生のほうが若干出席率がよい傾向がみられました。



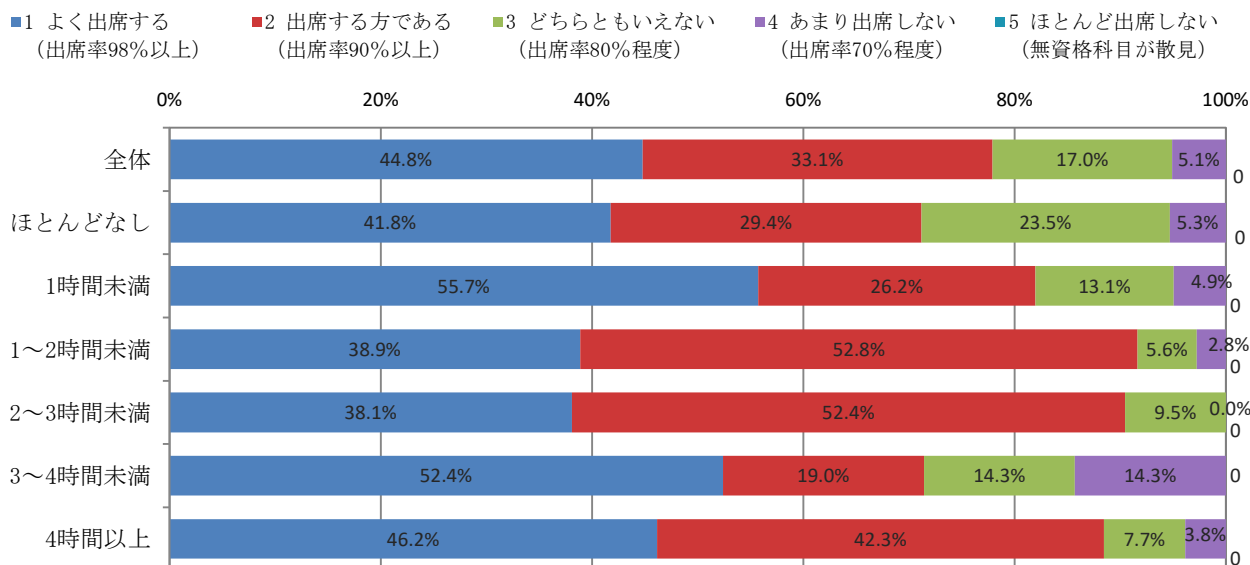
		有効回答者数	授業出席率				
			あまり充実していない	どちらともいえない	まあまあ充実している	充実している	全く充実していない
全体		80	43	20	14	3	1
			53.8%	25.0%	17.5%	3.8%	1.3%
アルバイト日数別	7日	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5～6日	4	3	0	1	0	0
			75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	3～4日	10	5	4	0	1	0
			50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%
1～2日	49	28	11	8	2	0	
		57.1%	22.4%	16.3%	4.1%	0.0%	
ごくたまに	17	7	5	5	0	0	
		41.2%	29.4%	29.4%	0.0%	0.0%	

※アルバイトをしている人のみ回答

3. 授業出席率 × 20. 予習時間別

授業出席率と予習時間の長さの間に明確な相関はない。

昨年度調査では予習時間の長い学生の出席率が減少傾向にありましたが、今年度は明確な傾向はみられませんでした。

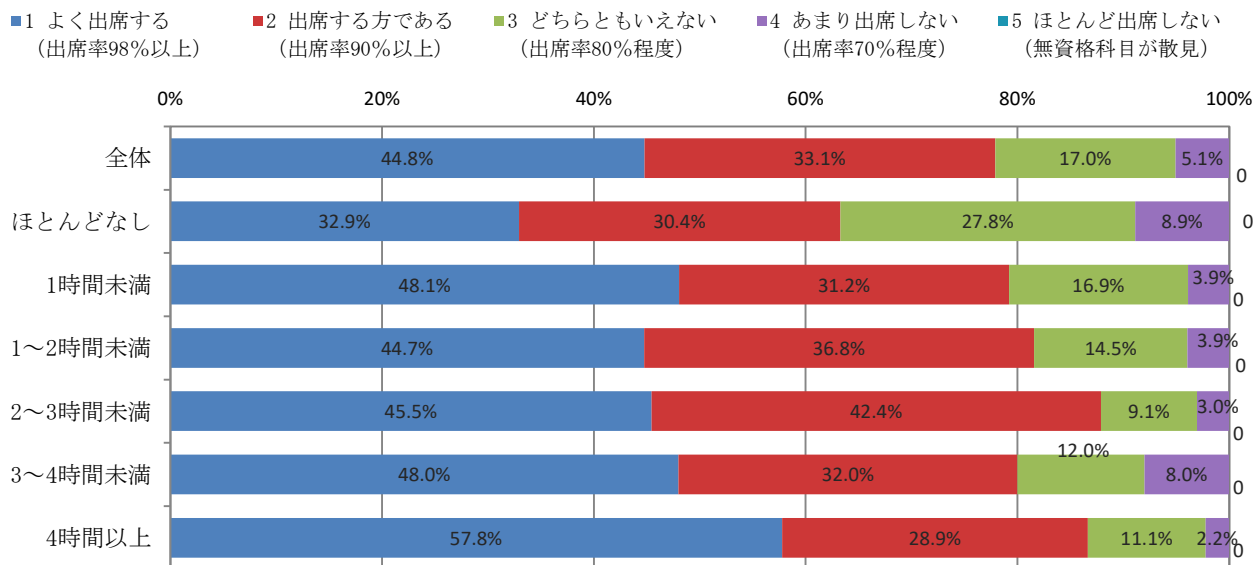


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 98%以上)	(出席する方である 90%以上)	(どちらともいえない 80%程度)	(あまり出席しない 70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
予習時間別	全体	335	150	111	57	17	0
			44.8%	33.1%	17.0%	5.1%	0.0%
	ほとんどなし	170	71	50	40	9	0
			41.8%	29.4%	23.5%	5.3%	0.0%
	1時間未満	61	34	16	8	3	0
			55.7%	26.2%	13.1%	4.9%	0.0%
	1~2時間未満	36	14	19	2	1	0
			38.9%	52.8%	5.6%	2.8%	0.0%
2~3時間未満	21	8	11	2	0	0	
		38.1%	52.4%	9.5%	0.0%	0.0%	
3~4時間未満	21	11	4	3	3	0	
		52.4%	19.0%	14.3%	14.3%	0.0%	
4時間以上	26	12	11	2	1	0	
		46.2%	42.3%	7.7%	3.8%	0.0%	

3. 授業出席率 × 21. 復習時間別

復習時間が長いほうが出席率がやや高い傾向。

復習時間が長い学生のほうが出席率がやや高い傾向が認められました。

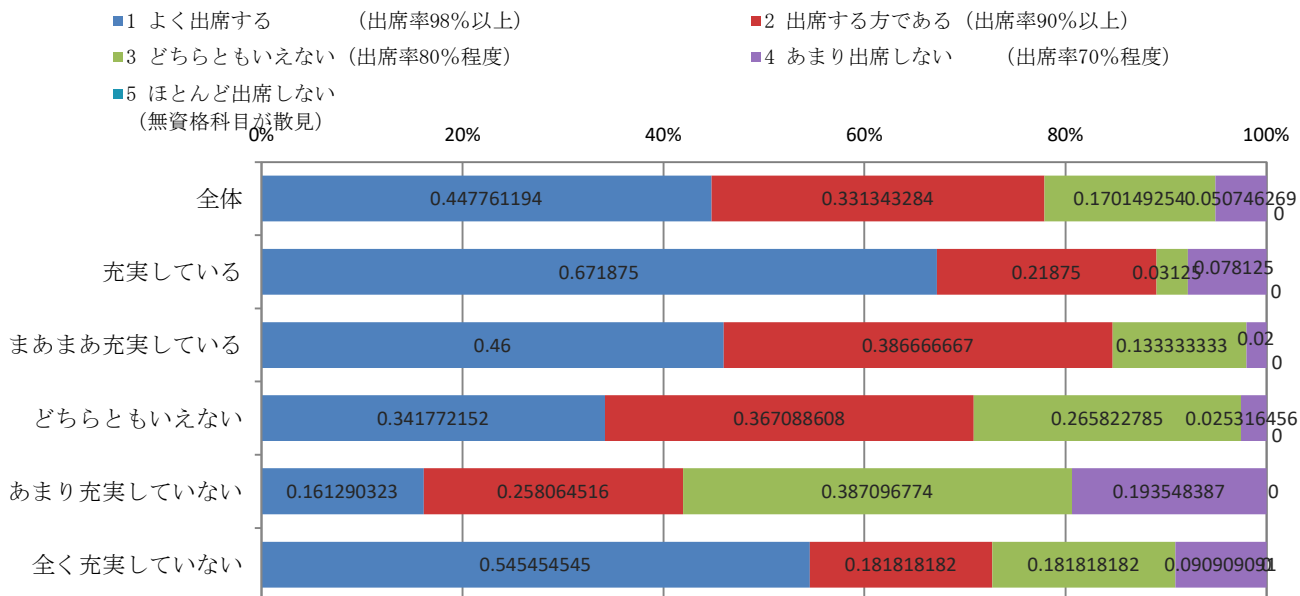


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 98%以上)	(出席する方である 90%以上)	(どちらともいえない 80%程度)	(あまり出席しない 70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
復習時間別	全体	335	150	111	57	17	0
			44.8%	33.1%	17.0%	5.1%	0.0%
	ほとんどなし	79	26	24	22	7	0
			32.9%	30.4%	27.8%	8.9%	0.0%
	1時間未満	77	37	24	13	3	0
			48.1%	31.2%	16.9%	3.9%	0.0%
	1～2時間未満	76	34	28	11	3	0
			44.7%	36.8%	14.5%	3.9%	0.0%
2～3時間未満	33	15	14	3	1	0	
		45.5%	42.4%	9.1%	3.0%	0.0%	
3～4時間未満	25	12	8	3	2	0	
		48.0%	32.0%	12.0%	8.0%	0.0%	
4時間以上	45	26	13	5	1	0	
		57.8%	28.9%	11.1%	2.2%	0.0%	

3. 授業出席率 × 4. 学修面での充実度別

学修面で充実している学生のほうが出席率が高い傾向。

学修面で充実している学生のほうが出席率が高い傾向が認められます。



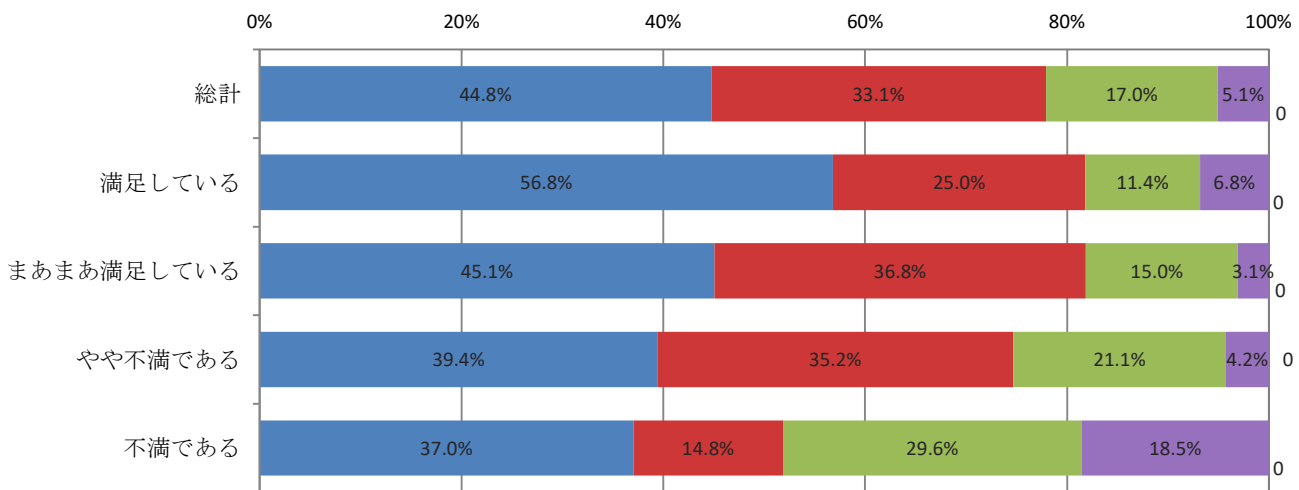
		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	(どちらともいえない 出席率80%程度)	(あまり出席しない 出席率70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
全体		335	150	111	57	17	0
			33.1%	44.8%	17.0%	5.1%	0.0%
学修面での充実度別	充実している	64	43	14	2	5	0
			21.9%	67.2%	3.1%	7.8%	0.0%
	まあまあ充実している	150	69	58	20	3	0
			38.7%	46.0%	13.3%	2.0%	0.0%
	どちらともいえない	79	27	29	21	2	0
		36.7%	34.2%	26.6%	2.5%	0.0%	
あまり充実していない	31	5	8	12	6	0	
		25.8%	16.1%	38.7%	19.4%	0.0%	
全く充実していない	11	6	2	2	1	0	
		18.2%	54.5%	18.2%	9.1%	0.0%	

3. 授業出席率 × 25. 講義実習満足度別

講義実習に満足している学生の出席率が高い傾向。

講義・実習に満足していると回答した学生で出席率が高い傾向にあります。自由記載では全体的なカリキュラムに余裕がない点を挙げる回答が多く、余裕がないことが出席率低下につながっていることも窺えます。カリキュラムに余裕を持たせるほうが満足度・出席率ともに上昇して学修効果が挙がる可能性があり、今後詳細な分析と検討が必要な項目です。

- 1 よく出席する
(出席率98%以上)
- 2 出席する方である
(出席率90%以上)
- 3 どちらともいえない
(出席率80%程度)
- 4 あまり出席しない
(出席率70%程度)
- 5 ほとんど出席しない
(無資格科目が散見)

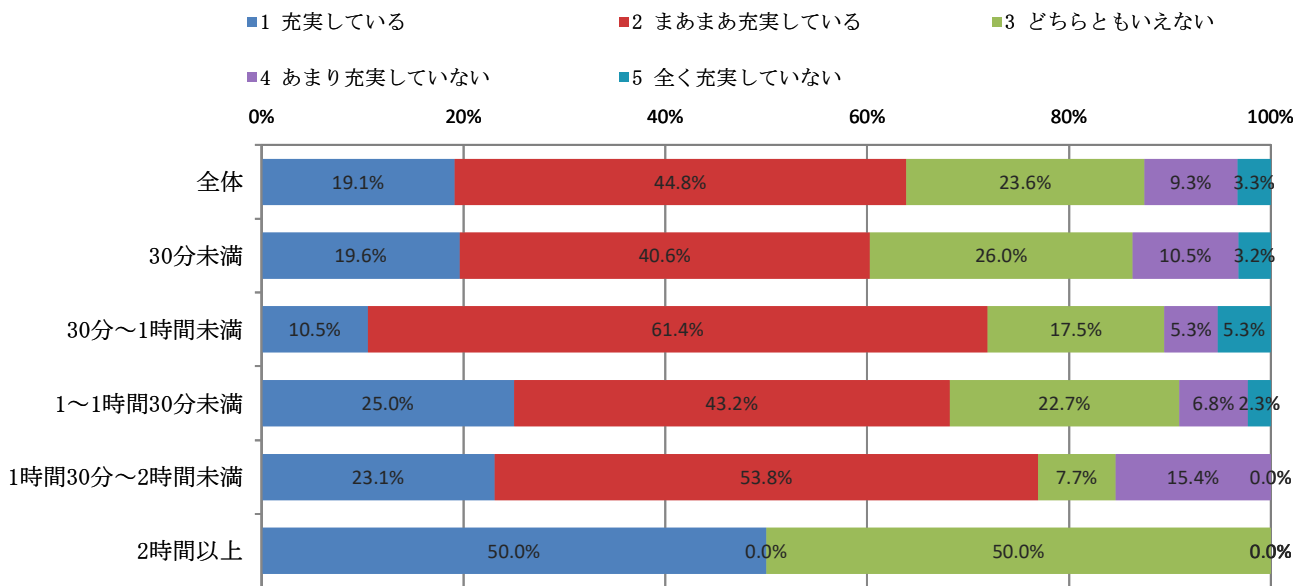


		有効回答者数	授業出席率				
			(よく出席する 98%以上)	(出席する方である 90%以上)	(どちらともいえない 80%程度)	(あまり出席しない 70%程度)	(ほとんど出席しない 無資格科目が散見)
総計		335	150	111	57	17	0
			44.8%	33.1%	17.0%	5.1%	0.0%
講義実習満足度別	満足している	44	25	11	5	3	0
			56.8%	25.0%	11.4%	6.8%	0.0%
	まあまあ満足している	193	87	71	29	6	0
			45.1%	36.8%	15.0%	3.1%	0.0%
	やや不満である	71	28	25	15	3	0
		39.4%	35.2%	21.1%	4.2%	0.0%	
	不満である	27	10	4	8	5	0
			37.0%	14.8%	29.6%	18.5%	0.0%

4. 学修面での充実度 × 9. 通学時間別

通学時間は学修充実度に大きな影響はない。

通学時間と学修充実度との間に明確な相関は認められません。

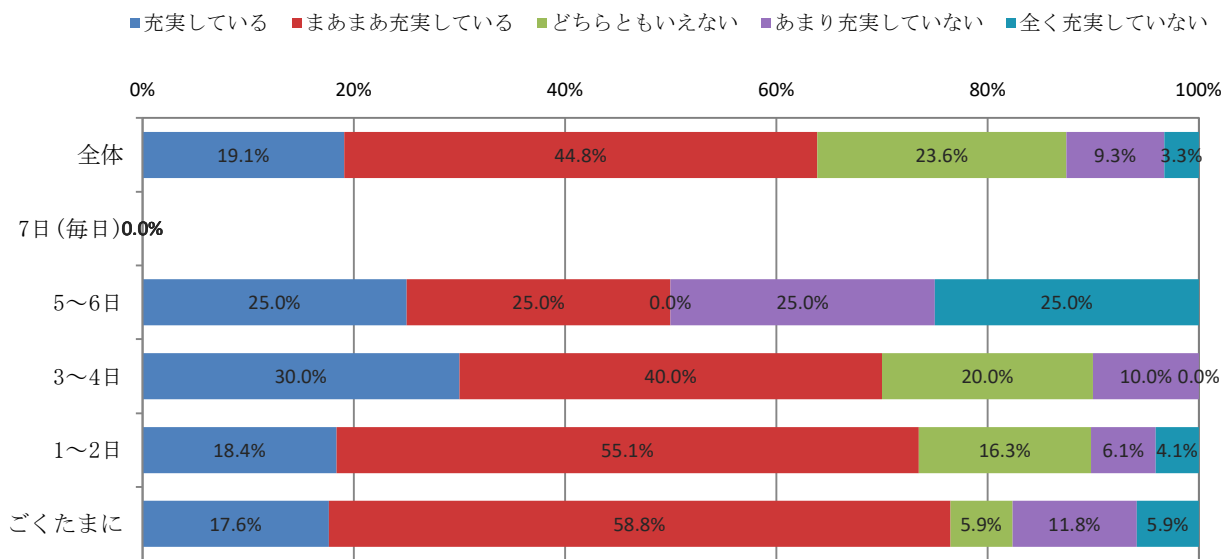


		有効回答者数	学修面での充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	64 19.1%	150 44.8%	79 23.6%	31 9.3%	11 3.3%
通学時間別	30分未満	219	43 19.6%	89 40.6%	57 26.0%	23 10.5%	7 3.2%
	30分～1時間未満	57	6 10.5%	35 61.4%	10 17.5%	3 5.3%	3 5.3%
	1～1時間30分未満	44	11 25.0%	19 43.2%	10 22.7%	3 6.8%	1 2.3%
	1時間30分～2時間未満	13	3 23.1%	7 53.8%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%
	2時間以上	2	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

4. 学修面での充実度 × 13. アルバイト日数別

アルバイトは学修充実度に大きな影響はない。

アルバイトをしているかどうか、あるいはアルバイトの日数と学修充実度との間に明確な相関は認められませんでした。



		有効回答者数	学修面での充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	64	79	150	64	11
			19.1%	44.8%	23.6%	9.3%	3.3%
アルバイト日数別	7日	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5～6日	4	1	1	0	1	1
			25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	3～4日	10	3	4	2	1	0
			30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%
1～2日	49	9	27	8	3	2	
		18.4%	55.1%	16.3%	6.1%	4.1%	
ごくたまに	17	3	10	1	2	1	
		17.6%	58.8%	5.9%	11.8%	5.9%	

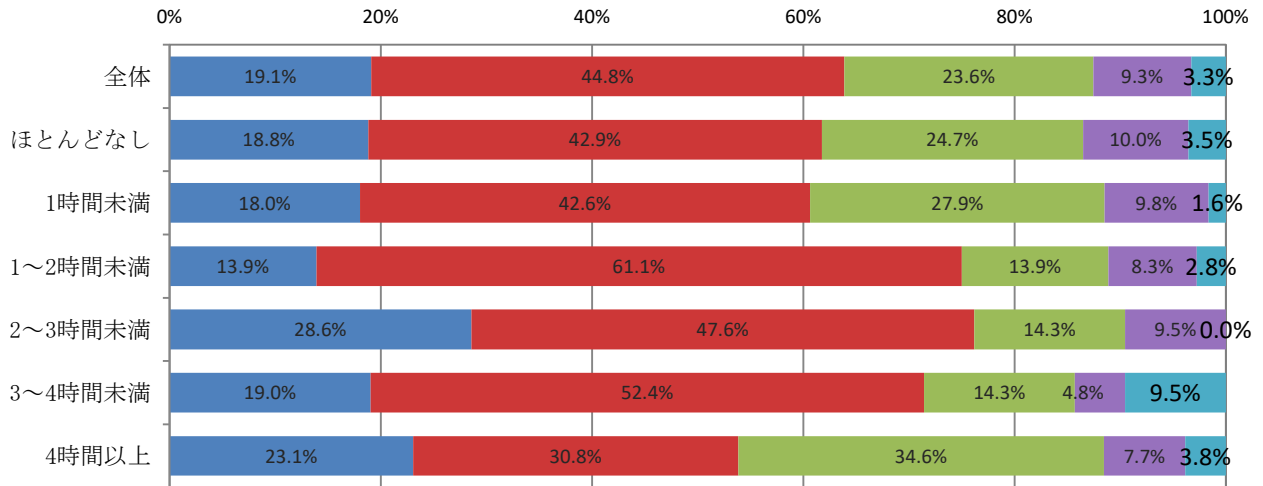
※アルバイトをしている人のみ回答

4. 学修面での充実度 × 20. 予習時間別

予習時間2～3時間の学生の学修充実度が高い。

学修面での充実度について、充実しているとした学生は予習時間2～3時間の学生で最も高くなっていました。

■1 充実している ■2 まあまあ充実している ■3 どちらともいえない ■4 あまり充実していない ■5 全く充実していない

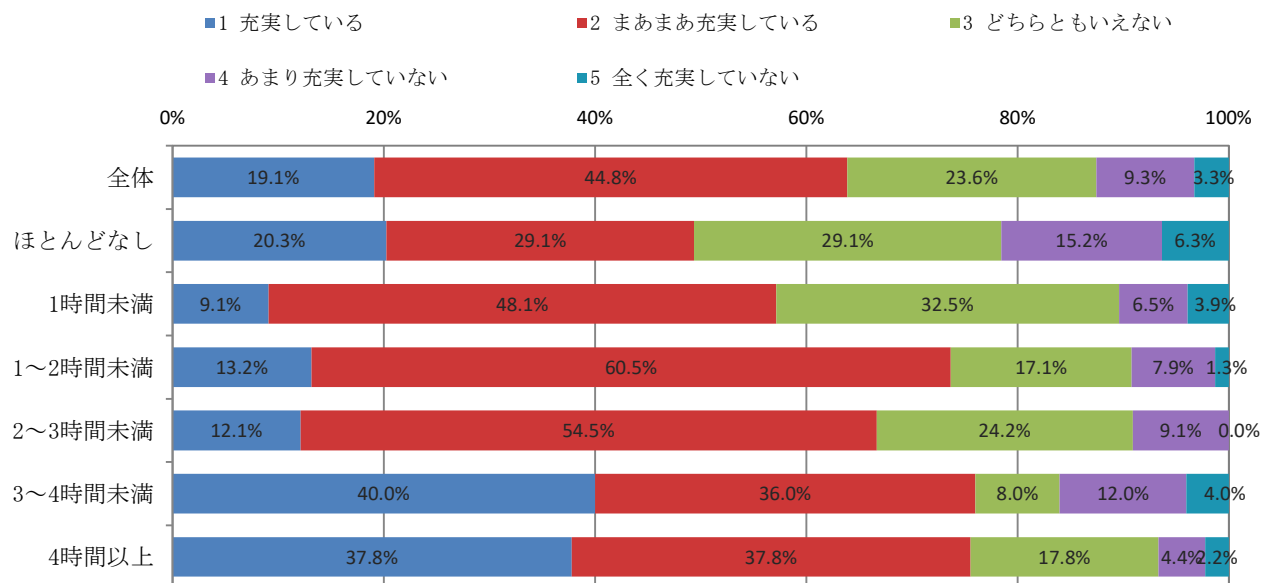


		有効回答者数	学修面での充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	64	150	79	31	11
			19.1%	44.8%	23.6%	9.3%	3.3%
予習時間別	ほとんどなし	170	32	73	42	17	6
			18.8%	42.9%	24.7%	10.0%	3.5%
	1時間未満	61	11	26	17	6	1
			18.0%	42.6%	27.9%	9.8%	1.6%
	1～2時間未満	36	5	22	5	3	1
			13.9%	61.1%	13.9%	8.3%	2.8%
	2～3時間未満	21	6	10	3	2	0
		28.6%	47.6%	14.3%	9.5%	0.0%	
3～4時間未満	21	4	11	3	1	2	
		19.0%	52.4%	14.3%	4.8%	9.5%	
4時間以上	26	6	8	9	2	1	
		23.1%	30.8%	34.6%	7.7%	3.8%	

4. 学修面での充実度 × 21. 復習時間別

復習時間2～3時間の学生の学修充実度が高い。

学修面での充実度について、大変充実しているとした学生は復習時間2～3時間の学生で最も高くなっていました。

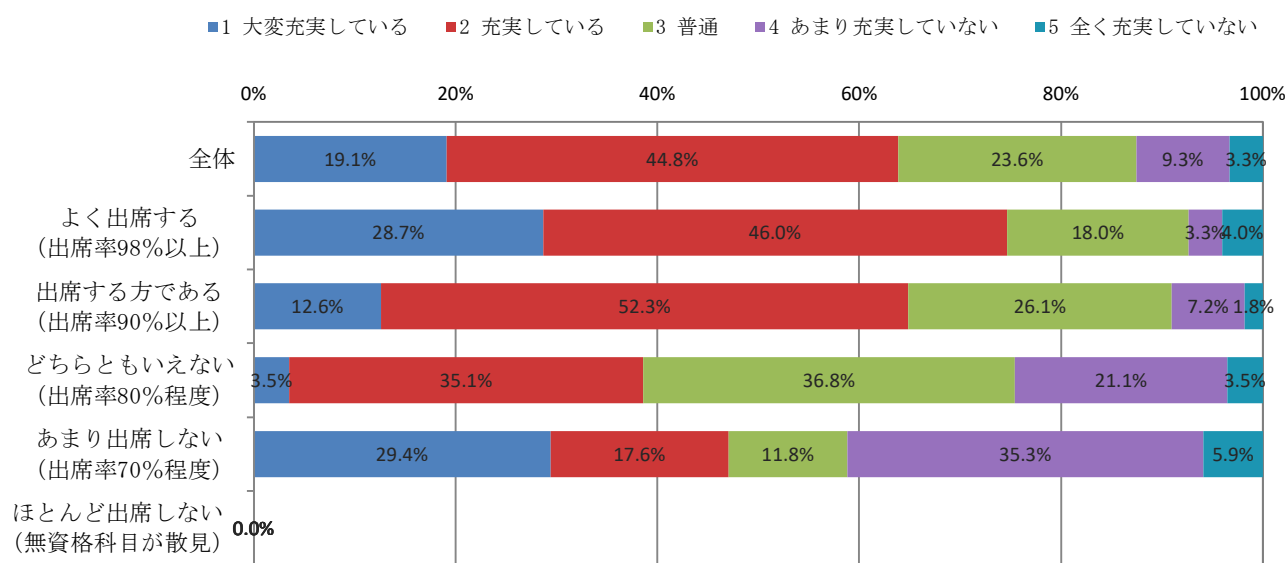


		有効回答者数	学修面での充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
復習時間別	全体	335	64	150	79	31	11
			19.1%	44.8%	23.6%	9.3%	3.3%
	ほとんどなし	79	16	23	23	12	5
			20.3%	29.1%	29.1%	15.2%	6.3%
	1時間未満	77	7	37	25	5	3
			9.1%	48.1%	32.5%	6.5%	3.9%
	1～2時間未満	76	10	46	13	6	1
			13.2%	60.5%	17.1%	7.9%	1.3%
2～3時間未満	33	4	18	8	3	0	
		12.1%	54.5%	24.2%	9.1%	0.0%	
3～4時間未満	25	10	9	2	3	1	
		40.0%	36.0%	8.0%	12.0%	4.0%	
4時間以上	45	17	17	8	2	1	
		37.8%	37.8%	17.8%	4.4%	2.2%	

4. 学修面での充実度 × 3. 授業出席率別

よく出席する学生のほうが学修充実度は高い。

よく出席する学生のほうが学修充実度が高い傾向が認められました。



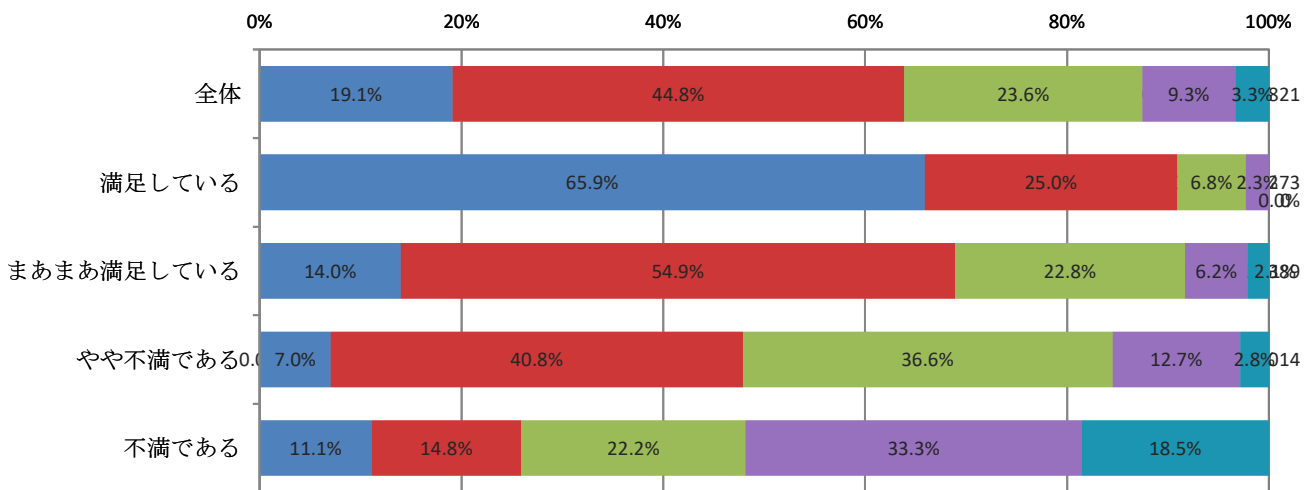
		有効回答者数	学修面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	64	150	79	31	11
			19.1%	44.8%	23.6%	9.3%	3.3%
授業出席率別	よく出席する (出席率98%以上)	150	43	69	27	5	6
			28.7%	46.0%	18.0%	3.3%	4.0%
	出席する方である (出席率90%以上)	111	14	58	29	8	2
			12.6%	52.3%	26.1%	7.2%	1.8%
	どちらともいえない (出席率80%程度)	57	2	20	21	12	2
			3.5%	35.1%	36.8%	21.1%	3.5%
あまり出席しない (出席率70%程度)	17	5	3	2	6	1	
		29.4%	17.6%	11.8%	35.3%	5.9%	
ほとんど出席しない (無資格科目が散見)	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

4. 学修面での充実度 × 25. 講義・実習満足度

講義実習に満足している学生のほうが学修充実度は高い。

講義実習に満足している学生では学修充実度が高く、不満がある学生では学修充実度がはっきりと低い傾向が認められました。

■1 大変充実している ■2 充実している ■3 普通 ■4 あまり充実していない ■5 全く充実していない

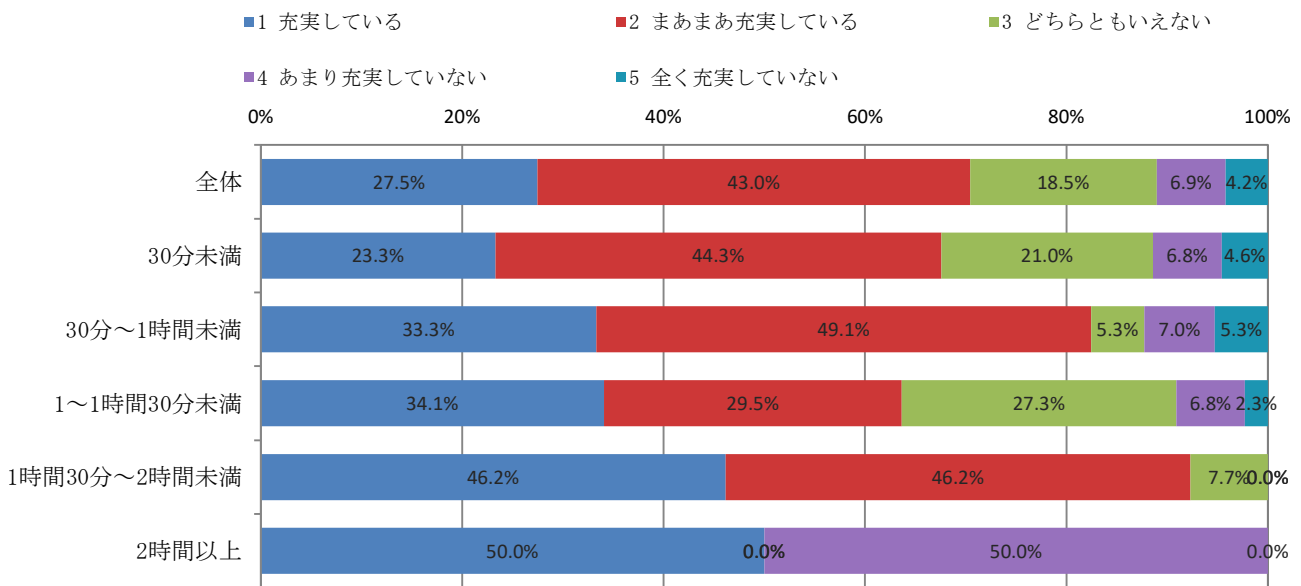


		有効回答者数	学修面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	64	150	79	31	11
			19.1%	44.8%	23.6%	9.3%	3.3%
講義・実習満足度	満足している	44	29	11	3	1	0
			65.9%	25.0%	6.8%	2.3%	0.0%
	まあまあ満足している	193	27	106	44	12	4
			14.0%	54.9%	22.8%	6.2%	2.1%
	やや不満である	71	5	29	26	9	2
		7.0%	40.8%	36.6%	12.7%	2.8%	
不満である	27	3	4	6	9	5	
		11.1%	14.8%	22.2%	33.3%	18.5%	

5. クラブ学外充実度 × 9. 通学時間別

通学時間が長い学生のほうがクラブ活動・学外活動の充実度が高い傾向。

通学時間が長い学生のほうがクラブ活動・学外活動の充実度が高い傾向が認められます。

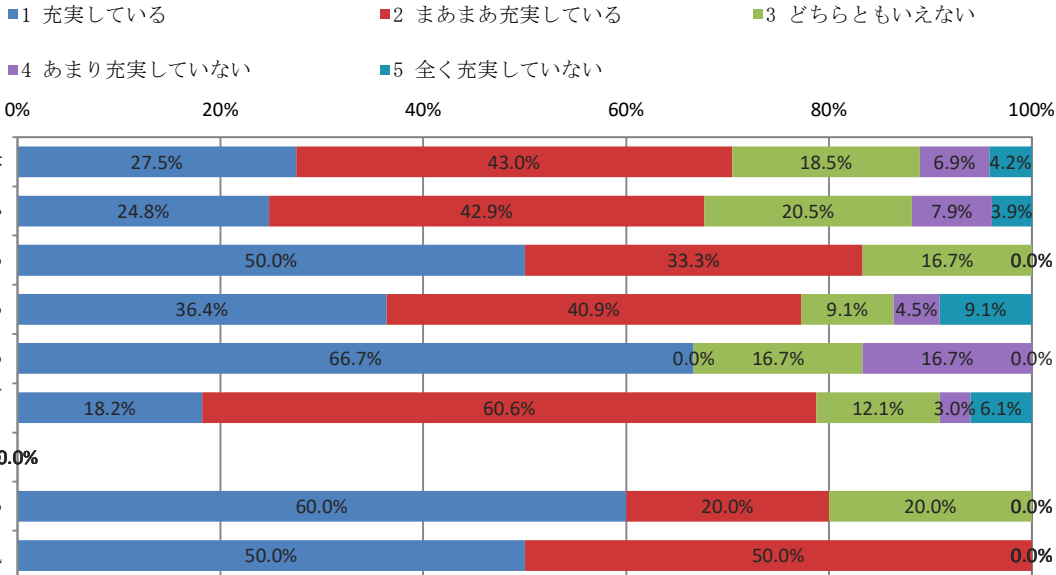


		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	92	144	62	23	14
			27.5%	43.0%	18.5%	6.9%	4.2%
通学時間別	30分未満	219	51	97	46	15	10
			23.3%	44.3%	21.0%	6.8%	4.6%
	30分～1時間未満	57	19	28	3	4	3
			33.3%	49.1%	5.3%	7.0%	5.3%
	1～1時間30分未満	44	15	13	12	3	1
			34.1%	29.5%	27.3%	6.8%	2.3%
1時間30分～2時間未満	13	6	6	1	0	0	
		46.2%	46.2%	7.7%	0.0%	0.0%	
2時間以上	2	1	0	0	1	0	
		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

5. クラブ学外充実度 × 12. アルバイト有無目的別

クラブ活動費目的でアルバイトをする学生のクラブ・学外活動充実度が高い

クラブ活動費用捻出を目的としてアルバイトをしている学生では、クラブ・学外活動充実度が高い傾向が認められました。

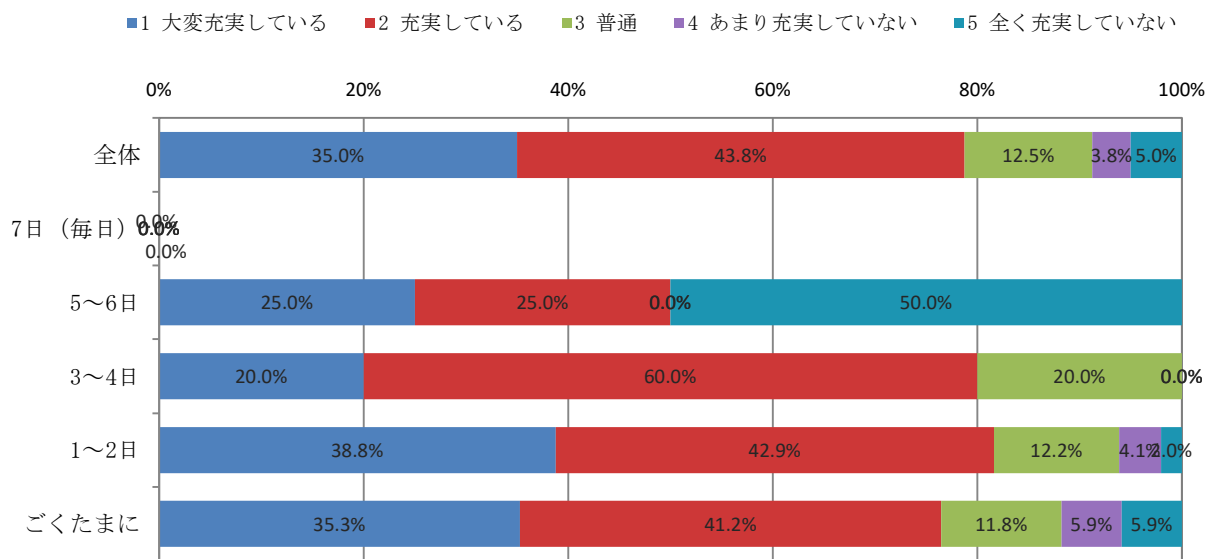


		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	92	144	62	23	14
			27.5%	43.0%	18.5%	6.9%	4.2%
アルバイト有無目的別	していない	254	63	109	52	20	10
			24.8%	42.9%	20.5%	7.9%	3.9%
	学費を得るため	6	3	2	1	0	0
			50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	生活費・教養費を得るため	22	8	9	2	1	2
			36.4%	40.9%	9.1%	4.5%	9.1%
	クラブ活動費を得るため	6	4	0	1	1	0
			66.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため	33	6	20	4	1	2
			18.2%	60.6%	12.1%	3.0%	6.1%
耐久消費財を購入するため	0						
貯金をするため	10	6	2	2	0	0	
		60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
その他	4	2	2	0	0	0	
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

5. クラブ学外充実度 × 13. アルバイト日数別

週に1～2日アルバイトをしている学生でクラブ・学外活動の充実度が高い。

週に1～2日アルバイトをしている学生でクラブ・学外活動の充実度が最も高い結果となりました。



		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		80	28	35	10	3	4
			35.0%	43.8%	12.5%	3.8%	5.0%
アルバイト日数別	7日 (毎日)	0					
	5～6日	4	1	1	0	0	2
			25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	3～4日	10	2	6	2	0	0
			20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
1～2日	49	19	21	6	2	1	
		38.8%	42.9%	12.2%	4.1%	2.0%	
ごくたまに	17	6	7	2	1	1	
		35.3%	41.2%	11.8%	5.9%	5.9%	

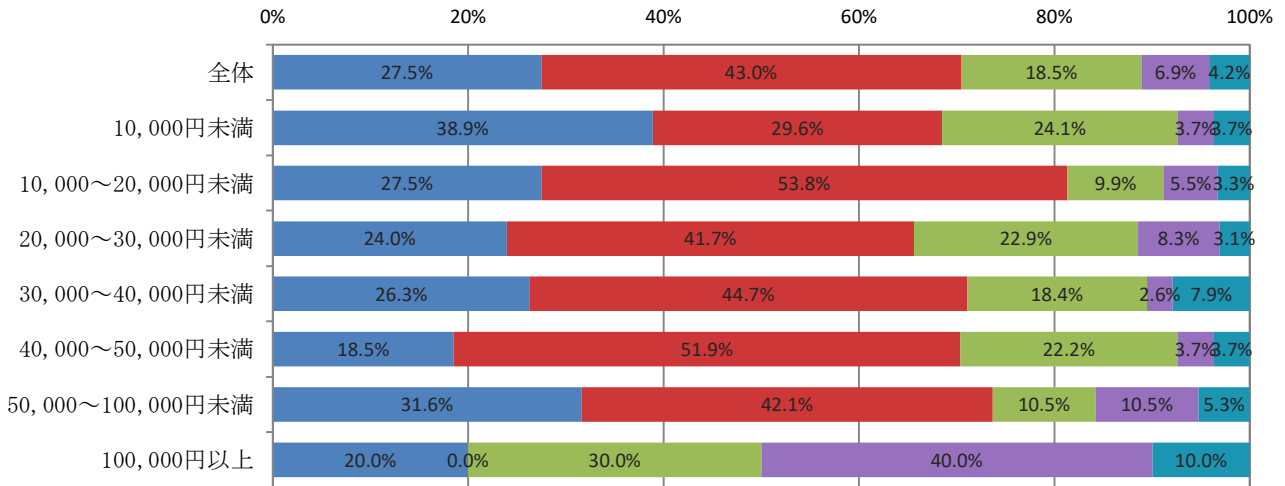
※アルバイトをしている人のみ回答

5. クラブ学外充実度 × 10. お小遣い額別

クラブ学外活動充実度とお小遣いの金額との間の関連性は認められない。

クラブ学外活動充実度とお小遣いの金額との間の関連性ははっきりとしません。金銭面がクラブや学外活動にどの程度影響するかはその活動内容によっても様相が異なると考えられます。

■1 大変充実している ■2 充実している ■3 普通 ■4 あまり充実していない ■5 全く充実していない



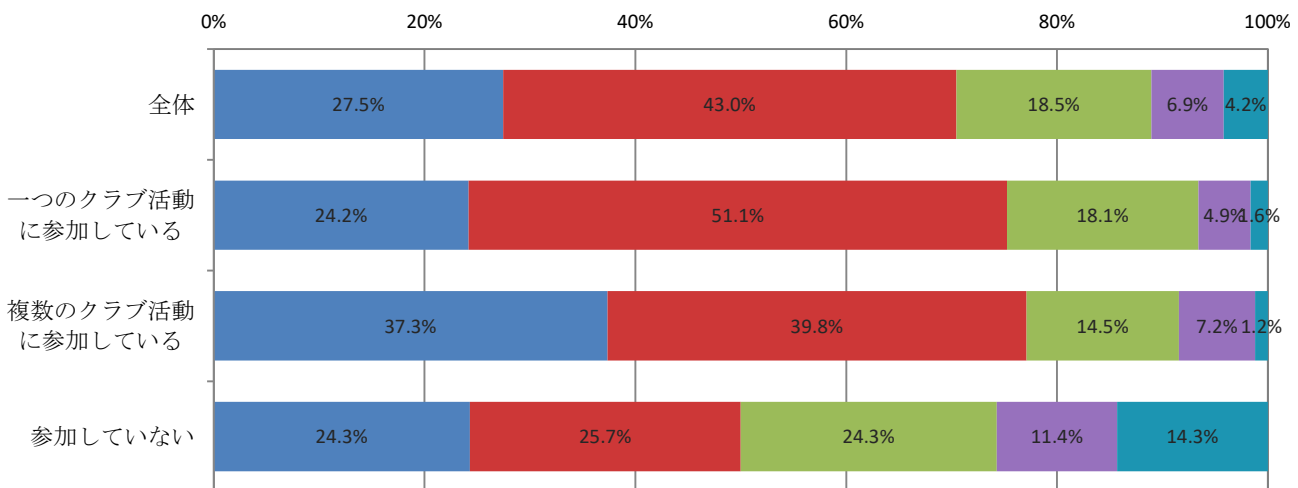
		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	92	144	62	23	14
			27.5%	43.0%	18.5%	6.9%	4.2%
お小遣い額別	10,000円未満	54	21	16	13	2	2
			38.9%	29.6%	24.1%	3.7%	3.7%
	10,000～20,000円未満	91	25	49	9	5	3
			27.5%	53.8%	9.9%	5.5%	3.3%
	20,000～30,000円未満	96	23	40	22	8	3
			24.0%	41.7%	22.9%	8.3%	3.1%
	30,000～40,000円未満	38	10	17	7	1	3
			26.3%	44.7%	18.4%	2.6%	7.9%
40,000～50,000円未満	27	5	14	6	1	1	
		18.5%	51.9%	22.2%	3.7%	3.7%	
50,000～100,000円未満	19	6	8	2	2	1	
		31.6%	42.1%	10.5%	10.5%	5.3%	
100,000円以上	10	2	0	3	4	1	
		20.0%	0.0%	30.0%	40.0%	10.0%	

5. クラブ学外充実度 × 16. クラブ活動参加有無別

参加しているクラブ活動数が1つか複数かは充実度に大きな影響はない。

参加しているクラブ活動数が複数の学生は1つの学生に比べて「大変充実している」と回答した数が多くなっていますが、「充実している」を含めればほぼ同数で、活動の充実度に大きな影響はないと考えられます。一方クラブ活動に参加していないとした学生でも24.3%が大変充実、25.7%が充実しているとしており、学内のクラブ活動以外の学内外の活動が充実していることが窺えます。

■ 1 大変充実している ■ 2 充実している ■ 3 普通 ■ 4 あまり充実していない ■ 5 全く充実していない

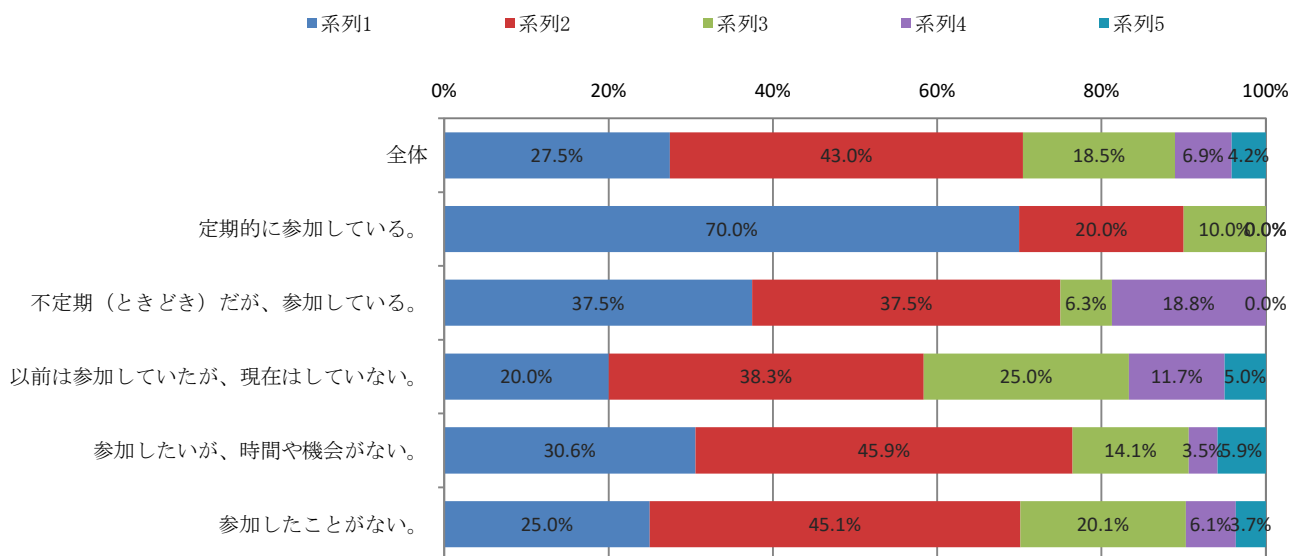


		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		335	92	144	62	23	14
			27.5%	43.0%	18.5%	6.9%	4.2%
クラブ活動参加有無別	一つのクラブ活動に参加している	182	44	93	33	9	3
			24.2%	51.1%	18.1%	4.9%	1.6%
	複数のクラブ活動に参加している	83	31	33	12	6	1
			37.3%	39.8%	14.5%	7.2%	1.2%
参加していない		70	17	18	17	8	10
			24.3%	25.7%	24.3%	11.4%	14.3%

5. クラブ学外充実度 × 19. ボランティア活動参加有無

ボランティアに参加している学生のクラブ・学外活動充実度は高い。

ボランティアを定期的に行っていると回答した学生26名、全体の7.8%と少数ですが、そうした学生ではクラブ・学外活動の充実度が高い結果となりました。

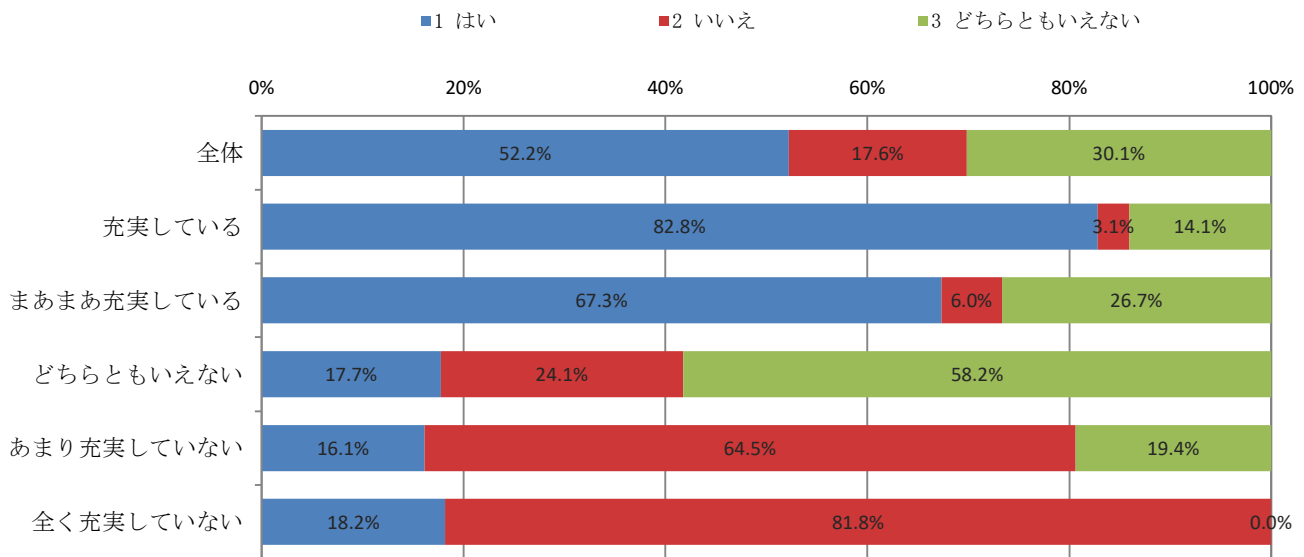


	有効回答者数	クラブ学外充実度					
		大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない	
全体	335	92	144	62	23	14	
		27.5%	43.0%	18.5%	6.9%	4.2%	
ボランティア活動参加有無	定期的に参加している。	10	7	2	1	0	
			70.0%	20.0%	10.0%	0.0%	
	不定期（ときどき）だが、参加している。	16	6	6	1	3	
			37.5%	37.5%	6.3%	18.8%	0.0%
	以前は参加していたが、現在はしていない。	60	12	23	15	7	3
			20.0%	38.3%	25.0%	11.7%	5.0%
参加したいが、時間や機会がない。	85	26	39	12	3	5	
		30.6%	45.9%	14.1%	3.5%	5.9%	
以前は参加していたが、現在はしていない。	164	41	74	33	10	6	
		25.0%	45.1%	20.1%	6.1%	3.7%	

6. 総合満足度 × 4. 学修面での充実度別

学修面での充実度と総合満足度は高い関連性がある。

昨年度調査の際と同様、学修面での充実度と総合満足度はかなり高い関連性が認められました。学生生活の満足度向上には学修面での充実が欠かせないことが読み取れます。

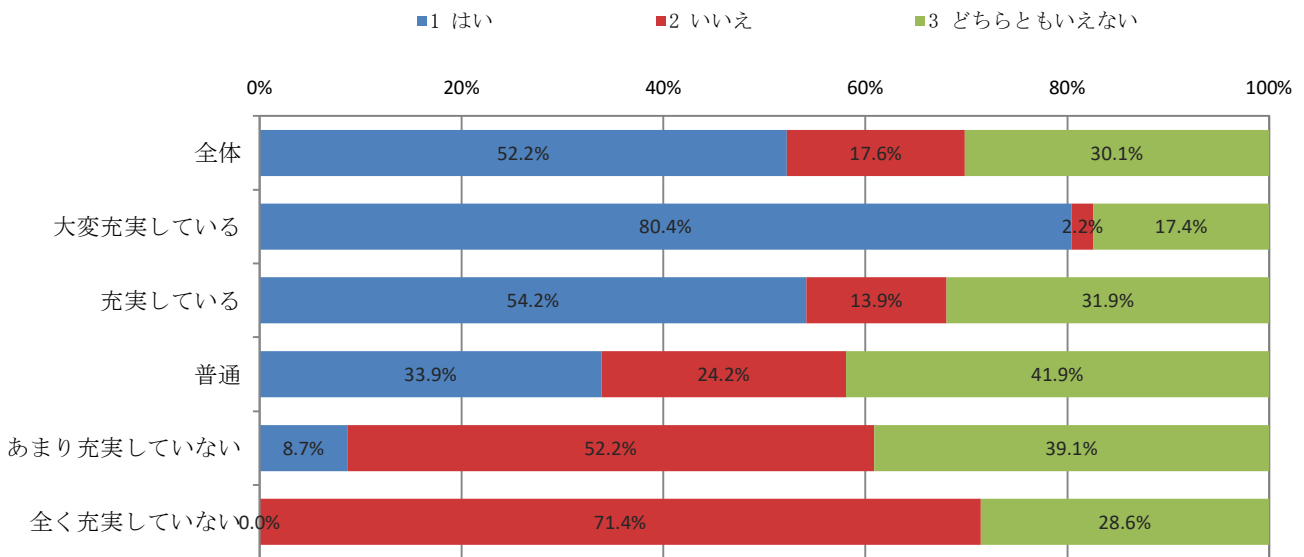


		有効回答者数	総合満足度		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		335	175 52.2%	59 17.6%	101 30.1%
学修面での充実度別	充実している	64	53 82.8%	2 3.1%	9 14.1%
	まあまあ充実している	150	101 67.3%	9 6.0%	40 26.7%
	どちらともいえない	79	14 17.7%	19 24.1%	46 58.2%
	あまり充実していない	31	5 16.1%	20 64.5%	6 19.4%
	全く充実していない	11	2 18.2%	9 81.8%	0 0.0%

6. 総合満足度 × 5. クラブ等での充実度別

クラブ等での充実度と総合満足度は高い関係性がある。

クラブ等での充実度と総合満足度についてもかなり高い関係性が認められ、学生生活の満足度向上にはクラブ等での充実も欠かせないことが読み取れます。



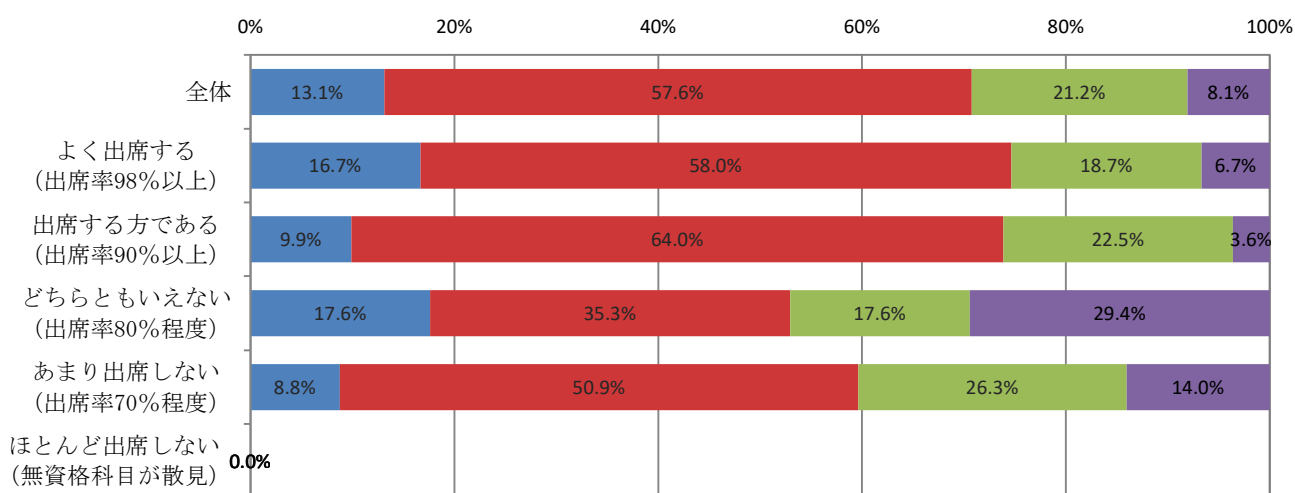
		有効回答者数	総合満足度		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		335	175 52.2%	59 17.6%	101 30.1%
クラブ等での充実度別	大変充実している	92	74 80.4%	2 2.2%	16 17.4%
	充実している	144	78 54.2%	20 13.9%	46 31.9%
	普通	62	21 33.9%	15 24.2%	26 41.9%
	あまり充実していない	23	2 8.7%	12 52.2%	9 39.1%
	全く充実していない	14	0 0.0%	10 71.4%	4 28.6%

25. 講義実習満足度 × 3. 授業出席率別

出席率の低い学生でも半数以上は講義実習に満足している。

授業出席率の低い学生では講義実習満足度が低い傾向がありますが、それでもその半数以上は満足している・満足しているものが多いと回答しています。必ずしも講義実習への不満が低出席率につながるわけではないことを読み取ることができます。

■1 全般的に満足している ■2 満足しているものが多い ■3 不満であるものが多い ■4 全般的に不満



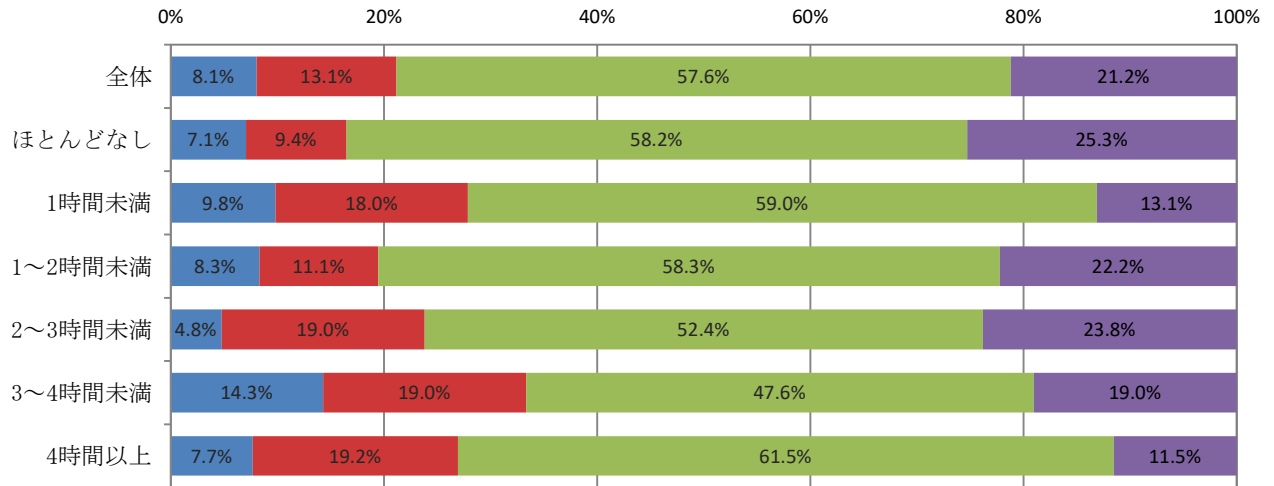
		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		335	44	193	71	27
			13.1%	57.6%	21.2%	8.1%
授業出席率別	よく出席する (出席率98%以上)	150	25	87	28	10
			16.7%	58.0%	18.7%	6.7%
	出席する方である (出席率90%以上)	111	11	71	25	4
			9.9%	64.0%	22.5%	3.6%
	どちらともいえない (出席率80%程度)	17	3	6	3	5
			17.6%	35.3%	17.6%	29.4%
あまり出席しない (出席率70%程度)	57	5	29	15	8	
		8.8%	50.9%	26.3%	14.0%	
ほとんど出席しない (無資格科目が散見)	0					

25. 講義実習満足度 × 20. 予習時間別

講義実習満足度と予習時間との間に明確な関連性は認められない。

講義実習満足度と予習時間との間にはっきりとした関連性は認められません。

■1 全般的に満足している ■2 満足しているものが多い ■3 不満であるものが多い ■4 全般的に不満



		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
予習時間別	全体	335	27	44	193	71
			8.1%	13.1%	57.6%	21.2%
	ほとんどなし	170	12	16	99	43
			7.1%	9.4%	58.2%	25.3%
	1時間未満	61	6	11	36	8
			9.8%	18.0%	59.0%	13.1%
	1~2時間未満	36	3	4	21	8
			8.3%	11.1%	58.3%	22.2%
2~3時間未満	21	1	4	11	5	
		4.8%	19.0%	52.4%	23.8%	
3~4時間未満	21	3	4	10	4	
		14.3%	19.0%	47.6%	19.0%	
4時間以上	26	2	5	16	3	
		7.7%	19.2%	61.5%	11.5%	

25. 講義実習満足度 × 21. 復習時間別

講義実習満足度と復習時間との間に明確な関連性は認められない。

講義実習満足度と復習時間との間にはっきりとした関連性は認められません。

■ 1 全般的に満足している ■ 2 満足しているものが多い ■ 3 不満であるものが多い ■ 4 全般的に不満



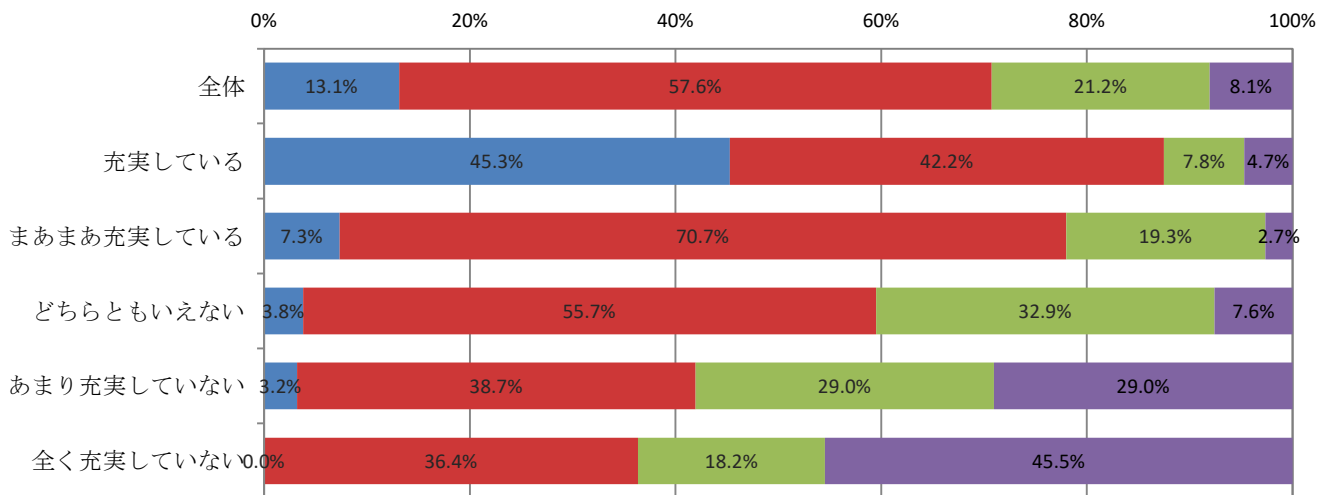
		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
復習時間別	全体	335	44	193	71	27
			13.1%	57.6%	21.2%	8.1%
	ほとんどなし	79	12	39	18	10
			15.2%	49.4%	22.8%	12.7%
	1時間未満	77	9	45	18	5
			11.7%	58.4%	23.4%	6.5%
	1~2時間未満	76	12	48	15	1
			15.8%	63.2%	19.7%	1.3%
2~3時間未満	33	2	22	5	4	
		6.1%	66.7%	15.2%	12.1%	
3~4時間未満	25	3	14	3	5	
		12.0%	56.0%	12.0%	20.0%	
4時間以上	45	6	25	12	2	
		13.3%	55.6%	26.7%	4.4%	

25. 講義実習満足度 × 4. 学修面での充実度別

講義実習満足度と学修面での充実度には高い相関がある。

学修面での充実度が高いほど講義実習満足度が高い傾向にあり、かなり高い相関を示しました。ただし、講義実習が満足いくものであるから学修面で充実するのか、主体的に学修する姿勢により学修が充実し、講義実習に満足するのか、その因果関係は不明です。

■1 全般的に満足している ■2 満足しているものが多い ■3 不満であるものが多い ■4 全般的に不満



		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		335	44	193	71	27
			13.1%	57.6%	21.2%	8.1%
学修面での充実度別	充実している	64	29	27	5	3
			45.3%	42.2%	7.8%	4.7%
	まあまあ充実している	150	11	106	29	4
			7.3%	70.7%	19.3%	2.7%
	どちらともいえない	79	3	44	26	6
			3.8%	55.7%	32.9%	7.6%
あまり充実していない	31	1	12	9	9	
		3.2%	38.7%	29.0%	29.0%	
全く充実していない	11	0	4	2	5	
		0.0%	36.4%	18.2%	45.5%	

平成 30 年度 学生生活実態調査 自由記載部分のまとめ

平成 30 年 11 月 12 日
IR 推進センター医学部分室

- ・ コピー機・プリンタ・情報関連 (37 件)

コピー機やプリンタが故障し使用できない時期が続いたためか、学内コピー機・プリンタの整備に意見が集中していた。wifi 環境の改善の要望もあった。

- ・ 自習室・勉強場所 (9 件)

日曜日を含めた教室の開放の要望など、勉強する場所の要望が多い。

- ・ 食堂・外食施設等 (24 件)

学生食堂の充実、朝夕に食事ができる場所、電子レンジ・給湯・自販機の導入などの要望があった。

- ・ グラウンド・運動施設 (10 件)

プールの設置・グラウンドや体育館の設備整備・部室設置の要望があった。

- ・ 駐車場・駐輪場 (14 件)

学生駐車場が遠く、混雑していて駐車に時間がかかるという指摘が多い。自転車置き場とバイク置き場の分離の要望もあった。

- ・ 設備・交通手段 (14 件)

朝のエレベータの混雑改善と講義室の低層階への移動を求める声があった。1 号館・図書館の老朽化、バス混雑の改善を求める意見もあった。図書館でハウスダストアレルギー症状を出している人が多い、との指摘もあった。

- ・ カリキュラム (47 件)

カリキュラムが授業が多すぎる、厳しく余裕がほしい、自習時間が足りないなど、配当科目と講義時間数の見直しを求める声が圧倒的に多い。試験については日程や可否基準の再考、採点基準の公開を求める声が多かった。

- ・ 講義内容 (15 件)

講義・レジュメがわかりにくい、映像講義に切り替えてほしい、無理に難しい教科書が選定されている選定基準を見直してほしい、などの意見があった。また時間割変更が直前・

頻回に行われることにも改善要望があった。

- ・ 出席（4件）

出席の取り方の見直しを求める声があった。講義態度の悪い学生を無理に出席させているため講義に支障をきたしているとの指摘もある。数は少ないが真摯に講義に取り組む学生からの意見であることが推察され、対応が必要である。

- ・ その他

成績票の本人への直接開示、事務対応時間、迅速な事務連絡、メンタルケア、トイレの手指消毒・水圧不備、シラバス紙媒体での配布等の指摘・改善を求める意見があった。